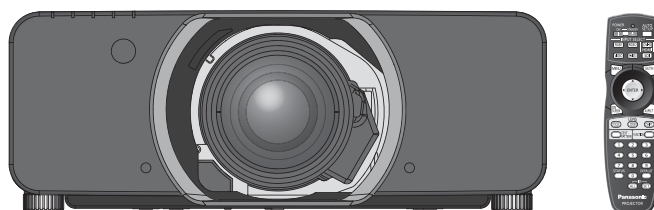


取扱説明書 詳細編


DLP™ 方式プロジェクター 業務用

品番 PT-DZ8700
PT-DS8500
PT-DW8300



投写レンズは別売です。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書（基本ガイド・詳細編）をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に『安全上のご注意』（ 6～9 ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

高輝度化

従来機種とほぼ同一サイズで、
約 1.5 倍高輝度化しました。

7 000 lm : PT-D7700
(ランプ 2 灯 ランプ出力 : 「高」 設定時)



10 600 lm : PT-DZ8700
(ランプ 2 灯 ランプ出力 : 「高」 設定時)

ランプ交換サイクルの長時間化

従来機種より、ランプ交換サイクルを
長時間化しました。(☞ 104 ページ)

約 1 500 時間 : PT-D7700
(ランプ 2 灯 ランプ出力 : 「高」 設定時)



約 3 000 時間 : PT-DZ8700
(ランプ 2 灯 ランプ出力 : 「高」 設定時)

待機電力削減

従来機種より、待機電力を
大幅に低減しました。

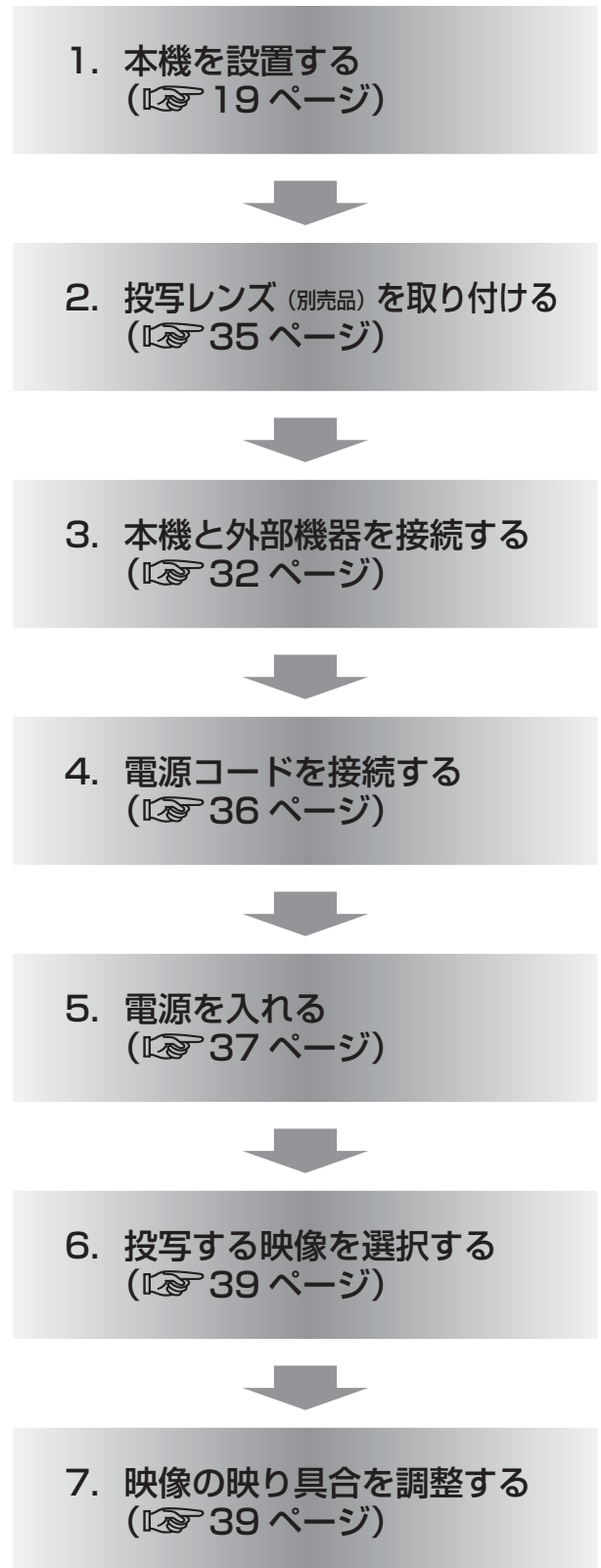
約 13 W : PT-D7700



約 0.2 W : PT-DZ8700
(スタンバイモード : 「エコ」 設定時)

■ 投写するまでの手順

詳しくは各ページをご覧ください。



安全上のご注意

安全上のご注意 6

はじめに

ご使用になる前に 10

運搬上の留意点 10
設置に関する留意点 10
セキュリティに関するお願い 12
使用上の留意点 13
廃棄について 13
お手入れ 14
付属品の確認 14

各部の名称とはたらき 15

リモコン 15
本体 16

リモコンの使い方 18

リモコンのIDナンバーを指定する 18
ケーブルで本体と接続して使う 18

準備

設置する 19

投写方式 19
投写関係 20
アジャスター脚の調整 31

接続する 32

接続の前に 32
映像機器との接続 (例) 33
コンピューターとの接続 (例) 34

投写レンズ (別売品) の
取り付け / 取り外し方 35

投写レンズの取り付け方 35
投写レンズの取り外し方 35

基本的な使い方

電源を入れる / 切る 36

電源コードを接続する 36
電源を入れる 37
調整・選択をする 37

電源を切る 38

ダイレクトパワーオフ機能 38

投写する 39

投写する映像を選択する 39

フォーカス調整、ズーム調整、
シフト調整のしかた 39

レンズ位置移動による (光学シフト) 調整範囲 40

レンズ位置のホームポジションへの移動方法 41

フォーカスアンバランス時の
レンズマウンター調整方法 41

リモコンで操作する 44

シャッター機能を使う 44

オンスクリーン表示機能を使う 44

入力信号を切り換える 44

ステータス機能を使う 44

オートセットアップ機能を使う 45

ファンクションボタンを使う 45

内蔵テストパターンを表示する 45

映像の縦横比を切り換える 46

調整と設定

オンスクリーンメニューについて 47

メニュー画面の操作方法 47

メインメニュー 48

サブメニュー 48

「映像」について 50

映像モード 50

ピクチャー 50

黒レベル 51

色の濃さ 51

色あい 51

色温度設定 51

ガンマ選択 52

システムデイライトビュー 53

シャープネス 53

ノイズリダクション 53

ダイナミックアイリス 53

システムセレクター 54

sRGB に準拠した映像にするには 55

もくじ (つづき)

安全上のご注意	「位置調整」について.....56	ランプリレー.....72
	シフト.....56	ランプ出力.....73
	アスペクト.....56	輝度コントロール.....73
	ズーム.....57	スタンバイモード.....76
	クロックフェーズ.....58	スケジュール.....77
	幾何学歪補正 (PT-DZ8700、PT-DS8500のみ).....58	RS-232C.....77
	台形補正 (PT-DW8300のみ).....59	ステータス.....78
はじめに	「アドバンスドメニュー」について.....60	無信号自動オフ.....79
	デジタルシネマリアリティー.....60	REMOTE2 端子モード.....79
	ブランキング.....60	ファンクションボタン.....79
	入力解像度.....61	日付と時刻.....80
	クランプ位置.....61	レンズキャリブレーション.....80
	エッジブレンディング.....61	フィルター残量リセット.....80
	フレーム遅延.....63	全ユーザーデータ保存.....81
	ラスターポジション.....63	全ユーザーデータロード.....81
準備	「表示言語 (LANGUAGE)」について.....64	初期化.....81
	表示言語を切り換える.....64	サービスパスワード.....81
	「表示オプション」について.....65	「PIN P」について.....82
	カラーマッチング.....65	PIN P 機能を使用する.....82
	大画面色補正.....66	PIN P 機能を設定する.....82
	スクリーン設定 (PT-DZ8700、PT-DS8500のみ).....66	「テストパターン」について.....83
	波形モニター (PT-DZ8700のみ).....66	テストパターン.....83
	入力自動セットアップ.....67	「登録信号一覧」について.....84
	自動調整.....67	新規登録.....84
	RGB IN (RGB 信号入力時のみ対応).....68	登録信号の名前の変更.....84
	DVI-D IN.....68	登録した信号を削除する.....84
	HDMI IN.....69	サブメモリーについて.....85
	SDI IN (PT-DZ8700、PT-DS8500のみ).....69	「セキュリティ」について.....86
	オンスクリーン表示.....69	セキュリティパスワード.....86
	バックカラー.....70	セキュリティパスワード変更.....86
	スタートアップロゴ.....70	表示設定.....86
	フリーズ.....70	テキスト変更.....87
	「プロジェクターセットアップ」について.....71	メニューロック.....87
	プロジェクター ID.....71	メニューロックパスワード.....87
	設置設定.....71	操作設定.....87
	高地モード.....71	「ネットワーク」について.....88
	ファン制御.....72	ネットワーク設定.....88
	ランプ選択.....72	ネットワークコントロール.....88
		ネットワークステータス.....88
		ネットワーク接続.....89

Web ブラウザからのアクセスのしかた.....90

点検と部品交換

ランプ / 温度 / フィルターモニター..... 101
 モニターが点灯したら 101
部品交換..... **103**
 部品交換の前に..... 103
 部品交換 103
故障かな !?..... **106**

その他

付録..... **108**
 PLink プロトコルを使用する 108
 LAN 経由の制御コマンドについて..... 109
 シリアル端子について 111
 リモート端子について 114
 2 画面表示組み合わせ一覧..... 115
 メニューロックパスワードについて 115
 対応信号リスト..... 116
仕様..... **118**
商標について..... **120**
保証とアフターサービス..... **121**
天つり金具取り付け時の注意事項..... **122**
 取り付け手順..... 122
さくいん..... **123**
外形寸法図..... **裏表紙**

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気を付けていただく内容です。



警告

電源について

異常・故障時には直ちに使用を中止する

■ 異常があったときは、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき。
- 落下などで外装ケースが破損したとき。
- 煙や異臭、異音が発生したとき。

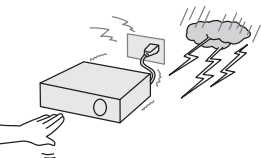
そのまま使用を続けると、火災・感電の原因になります。

- ▶ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- ▶ 異常の際、電源プラグをすぐに抜けるように、コンセントを本機の近くに取り付けるか、配線用遮断装置を容易に手が届く位置に設置してください。
- ▶ 使用を中止し、電源プラグを抜いたあと、販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグに触れない



接触禁止

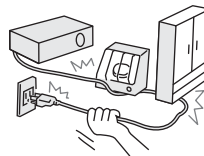


感電の原因になります。

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない



禁止



- 加工したり、傷つけたりしない。
- 引っ張ったり、ねじったり、無理に曲げたり、束ねたりしない。
- 熱器具に近づけたり、重いものを載せたりしない。

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- ▶ コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ 付属の電源コード以外は使用しない



禁止

付属の電源コードを使い、コンセント側でアースを取らないと感電の原因になります。

■ 電源プラグのほこり等は定期的にとる



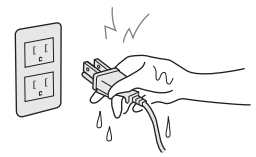
電源プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ▶ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- ▶ 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

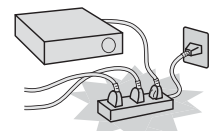


ぬれ手禁止



感電の原因になります。

■ 定格 15 A・交流 100 V のコンセントを単独で使う



他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。延長コードも定格 15 A のものを単独でお使いください。

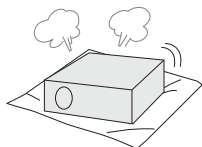
警告

ご使用・設置について

■放熱を妨げない



禁止



- 布や紙などの上に置かない。(吸気孔に吸着する場合があります。)
- 押し入れ、本棚など風通しが悪く狭い所に押し込まない。

内部が高温になり、火災の原因になることがあります。

- ▶ 吸排気を妨げないよう、周辺の壁やものから50 cm以上離して設置してください。

■排気孔には手やものを近づけない



禁止

- 手や顔を近づけない。
- 熱に弱いものを近くに置かない。
- 指を入れるとけがの原因になります。

排気孔からは熱風がでているため、やけどや変形の原因になります。

■カーペットやスポンジマットなどのやわらかい面の上で本機を使用しない



禁止

内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。

■水などの液体をかけたり、ぬらしたりしない



禁止



- 機器の上に、水などの液体の入った容器を置かない。

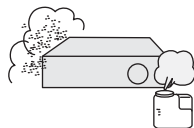
ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- ▶ 水などの液体が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。
- ▶ 特にお子様にはご注意ください。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない



禁止

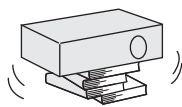


火災・感電の原因になることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置の場合に落下するおそれがあります。

■荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない



禁止



落下などによる本機の破損・変形や、大きな事故・けがの原因になります。

■使用中は投写レンズ(別売品)をのぞかない



禁止

投写レンズからは強い光がでます。中を直接のぞくと、目を痛める原因になります。

- ▶ 使用中に本機から離れる場合は主電源を切ってください。
- ▶ 特にお子様にはご注意ください。

■異物を入れない



禁止



- 内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。

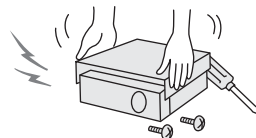
ショートによる火災・感電の原因になります。

- ▶ 特にお子様にはご注意ください。

■分解したり、改造したりしない



分解禁止



内部には電圧の高い部分があるため、火災・感電の原因になります。

警告	
高圧注意	
	サービスマン以外の方はケースをあけないでください。 内部には高電圧部分が数多くあり万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

- ▶ 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■レンズカバーを取り付けたまま投写しない



禁止

火災の原因になることがあります。

■ランプ交換時、ファンには指やそれ以外の身体の部分で触れない



禁止

けがの原因になります。

■天井取り付け(天つり)などの設置工事は、専門の技術者または販売店に依頼する



工事の不備があると、事故の原因になります。

■当社で指定した天つり金具を使用する




天つり金具に不備があると、事故の原因になります。

- ▶ 付属のワイヤーで落下防止の処置を行ってください。


警告

付属品・消耗品について


- ランプユニット交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く

 電源プラグを抜かずに交換作業を行うと、感電や破裂の原因になります。
電源プラグを抜く

- ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1時間以上待ってから）行う

 カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。

- ランプユニットを分解しない

 ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。
禁止

- 電池は誤った使い方をしない



禁止



- 指定された電池以外は使用しない。
- 乾電池は充電しない。
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない。
- +と-を針金などで接続しない。
- +と-を逆に入れない。
- ネックレスやヘアピンなど、金属が使用されているものと一緒に保管しない。
- 新・旧の電池や違う種類の電池を混ぜて使わない。
- マンガン乾電池を使用する。
- 被覆のはがれた電池は使わない。(電池には安全のために被覆がかぶせてあります。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。)

液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。

- 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す



そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因になります。

- 電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない



禁止



- 液が目に入ったら目をこすらない。

失明のおそれや、液が身体や衣服に付着した場合、皮膚の炎症やけがの原因になります。

- ▶ すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

- 付属の電源コードは、本機以外の機器では使用しない



禁止

付属の電源コードを本機以外の機器で使用すると、ショートや発熱により、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

- 付属のねじや平ワッシャーは、乳幼児の手の届く所に置かない



禁止


誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- ▶ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

注意

電源について

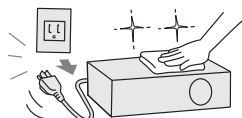
- 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

 電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。
電源プラグを抜く

- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く

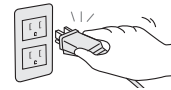


電源プラグを抜く



感電の原因になることがあります。

- 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ、電源コネクタを持って抜く



コードを引っ張るとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

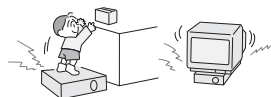
⚠ 注意

ご使用・設置について

- 本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない



禁止

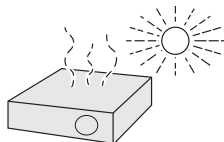


バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。また、本機の破損や変形の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなる所に置かない



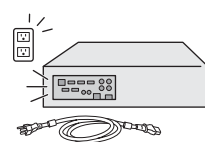
禁止



外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- ▶ 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くには、設置・保管をしないでください。

- 移動させる場合は、必ず接続線を外す



コードの破損などにより、火災・感電の原因になることがあります。

- レンズシフト動作中は、レンズ周辺の開口部に手を入れない



指に注意

手をはさみ、けがの原因になることがあります。

付属品・消耗品について

- 長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出す



電池の液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- ランプが破裂したときは、さわったり、顔を近づけたりしない



禁止

散乱したガラス片で、けがをしたり、破裂により発生したガスを吸い込んでしまったりするおそれがあります。

- ▶ 直ちに換気を行ってください。
- ▶ 万が一吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ▶ 破裂により発生したガスは、蛍光灯程度の水銀を含有しています。
- ▶ 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。

- 古いランプユニットは使用しない



禁止

- 使用時間を越えたランプユニットは使用しない。

そのまま使用を続けると、破裂する場合があります。

- ▶ ランプユニットは消耗部品です。

お手入れについて

- 1年に1度は、内部の清掃を販売店に依頼する



本機の内部にほこりがたまったままで使用を続けると、火災の原因になることがあります。

- ▶ 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。
- ▶ 内部清掃費用については販売店にご相談ください。

ご使用になる前に

運搬上の留意点

- 投写レンズ（別売品）は、振動や衝撃に対して影響を受けやすい部品です。運搬時は必ずレンズを取り外してください。
- 運搬の際は、本機の底面を持つようにし、過度の振動や衝撃を加えないようにお取り扱いください。内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- アジャスター脚を伸ばした状態で運搬しないでください。アジャスター脚が破損するおそれがあります。

設置に関する留意点


■ 投写レンズ（別売品）を取り外したあとは、本体に付属していた防塵スポンジを取り付けてください

内部にほこりがたまり、故障の原因になります。

■ 屋外に設置しないでください

本機は室内でご使用ください。

■ 以下の場所には設置しないでください

- 車両・船舶など、振動や衝撃が加わる場所：内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- エアコンの吹き出し口や照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなど、温度変化が激しい場所（『使用環境条件』 119 ページ）：ランプの寿命などに影響を及ぼすおそれや、熱により本体が変形し、故障の原因になることがあります。
- 高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。
- 高出力のレーザー機器がある場所：レーザー光がレンズ面に入ると DMD 素子の故障の原因になります。

■ レンズフォーカスに関して

高輝度プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響で、電源を入れた直後はフォーカスが安定しません。レンズフォーカスの調整は、映像を映した状態で 30 分以上待ってから行ってください。

■ 海拔 1 400 m 以上～2 700 m 未満でご使用の際は、「高地モード」を必ず「オン」に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 海拔 1 400 m 未満でご使用の際は、「高地モード」を必ず「オフ」に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 海拔 2 700 m 以上の場所に設置しないでください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 左右に傾けて使用しないでください

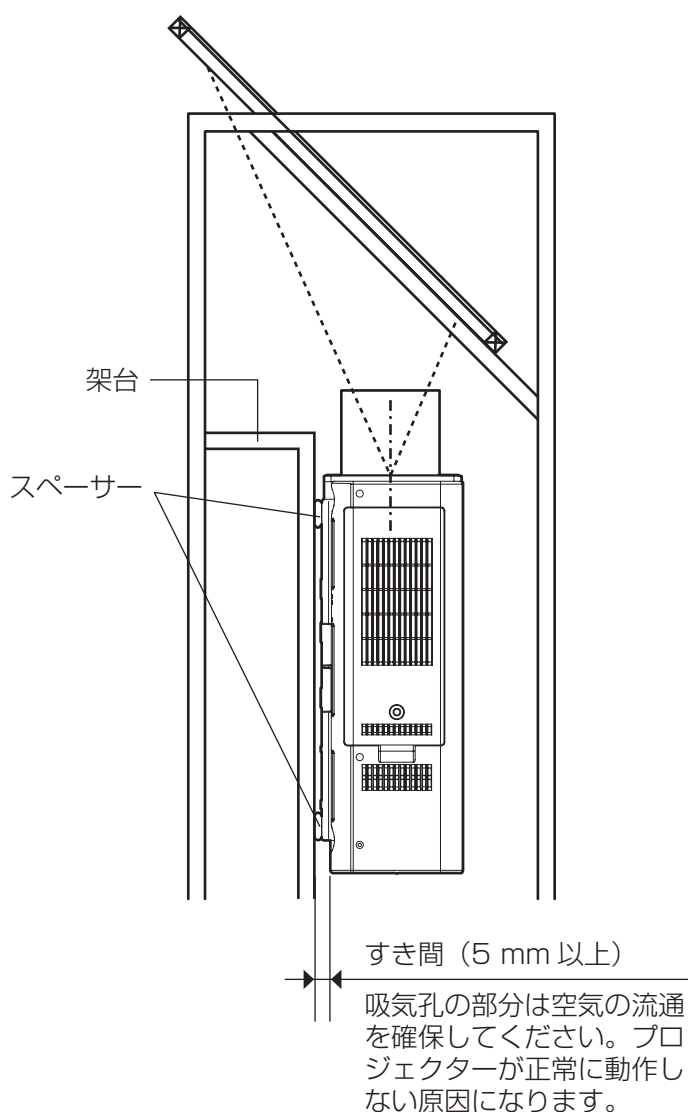
水平から垂直方向に 15° を超える角度に傾けた状態で使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 垂直方向に 30° を超える角度に傾けて本機を設置して使用する場合は、「ファン制御」を設定してください

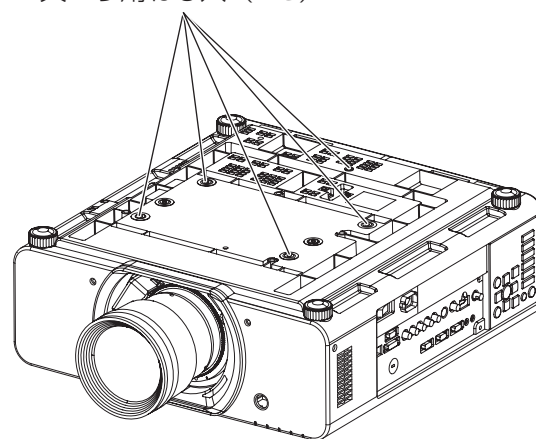
未設定のまま使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 設置上のご注意 1

- プロジェクターをアジャスター脚による床置き設置以外の方法で設置して使用する場合は、プロジェクターの固定を天つり用ねじ穴 (図示) の 5 か所を使用して行ってください。
(ねじ径: M6、セット内部ねじ穴深さ: 8 mm)
- プロジェクターと設置面との間にスペーサー (金属製) をはさむ等の方法により、プロジェクター底面と設置面との間に 5 mm 以上のすき間を空けてください。
- 設置上不要であればアジャスター脚は取り外すことができますが、取り外したねじ穴をプロジェクターの固定に使用しないでください。
また、アジャスター脚を取り外したねじ穴には、他のねじ等を取り付けしないでください。
セットが破損するおそれがあります。
なお、外したアジャスター脚を取り付ける場合は、前後で長さが異なりますのでご注意ください。
ねじの長い方が前脚用です。(前脚用のねじの長さ: 65 mm、後脚用のねじの長さ: 23 mm)
- 床置き以外の設置ではアジャスター脚を角度調整に使用しないでください。セットが破損するおそれがあります。



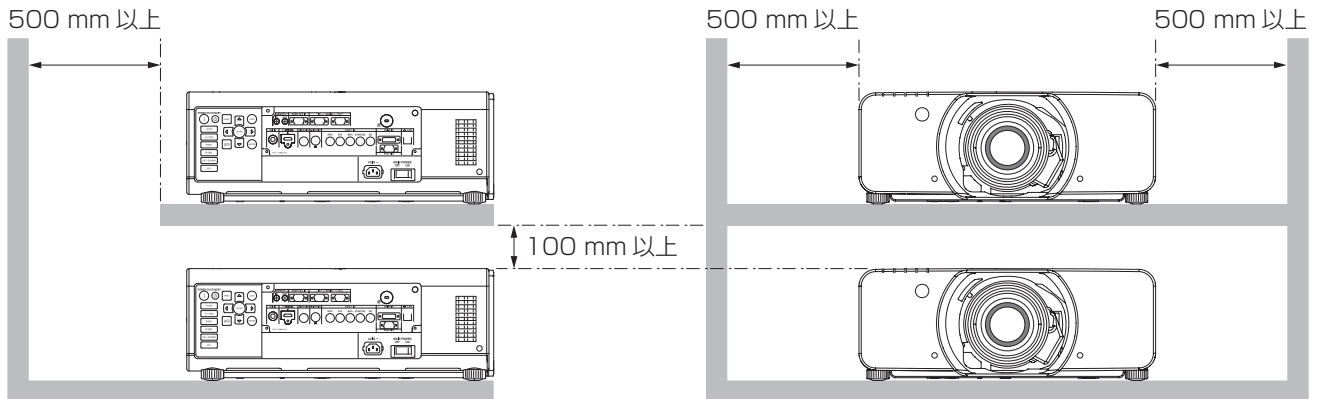
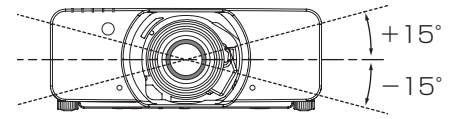
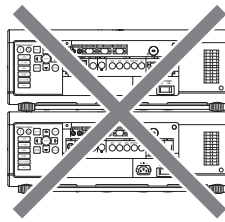
天つり用ねじ穴 (M6)



ご使用になる前に (つづき)

■ 設置上のご注意 2

- 本機を積み重ねて使用しないでください。
- 水平から垂直方向に± 15° を超える角度に傾けた状態で使用しないでください。
- 本機の吸気孔・排気孔をふさがないでください。
- 空調の冷風や温風が、本機の吸気孔・排気孔に直接当たらないように設置をしてください。



- 本機を囲われた空間で設置しないでください。
囲われた空間で設置が必要な場合は、別途空調設備、換気設備を入れてください。換気が不十分な場合、排気熱が滞留することで、本機の保護回路が働いたり、ACFユニットの交換時期が早くなったりすることがあります。
- プロジェクターと設置面との間にスペーサー（金属製）をはさむ等の方法により、プロジェクター底面と設置面との間に 5 mm 以上のすき間を空けてください。

セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。(👁️ 86 ページ)

- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどにより、安全性の確保されたネットワークでご使用ください。
- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。

使用上の留意点

■美しい映像をご覧いただくために

- スクリーン面に外光や照明などの光が入らないよう、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの環境を整えていただくと、より高いコントラストで美しい映像をご覧いただけます。
- 使用環境によっては排気孔からの熱せられた空気の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。セットの前面に自機、あるいは他機の排気が回り込むような設置がないように注意してください。
- 高輝度プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響で、電源を入れた直後はフォーカスが安定しません。映像を映した状態で 30 分以上経過すると、フォーカスが安定します。

■投写レンズ面は素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れが付着すると、それらが拡大されてスクリーンに映り、美しい映像をご覧いただくための妨げとなります。また、本機を使用しないときは、必ずレンズカバーを取り付けておいてください。

■DLP チップについて

DLP チップは、非常に精密度の高い技術で製造されていますが、まれに画素の欠けや、常時点灯する画素が発生する場合があります。これらの現象は故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。レーザー光がレンズ面に入ると DMD 素子の故障の原因になりますので注意してください。

■動作中に移動させたり、振動や衝撃を与えたりしないでください

内蔵されているモーターの寿命を早めるおそれがあります。

■ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。

高圧水銀ランプには下記の特性があります。

- 使用時間にとまない、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃や傷、使用時間による劣化などにより大きな音を出して破裂したり、寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなばらつきがあります。特に 22 時間以上の連続使用や、頻繁な電源の「切」/「入」の繰り返しは、寿命に大きく影響します。
- ごくまれに、投写開始後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を超えると破裂の可能性が高くなります。
(『■ランプユニットの交換時期』 104 ページ、『■ランプユニットの交換手順』 105 ページ)
- 破裂すると、内部のガスが噴出し、煙のように見えることがあります。
- 万が一に備え、あらかじめ交換用ランプをご用意ください。
- 22 時間以上の連続使用はランプの劣化を早めます。ランプリレー機能を使用することで、連続使用による劣化を軽減することができます。

注意

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

注意

コンピューターや外部機器に接続する際、各々の機器に付属の電源コードとシールドされた市販のケーブルを使用してください。

廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

ご使用になる前に (つづき)

お手入れ

〈必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください〉

●外装ケース

外装ケースの汚れやほこりはやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- ・汚れがひどいときは、水またはぬるま湯にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ・お手入れの際に、ベンジン、シンナー、アルコール等の溶剤、または台所用洗剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。使用すると外装ケースが変質したり、塗装がはげたりするおそれがあります。

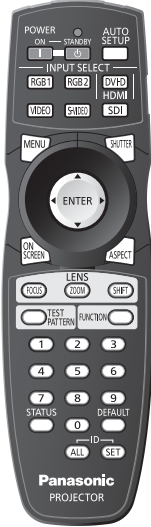
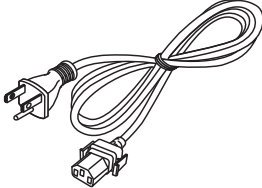
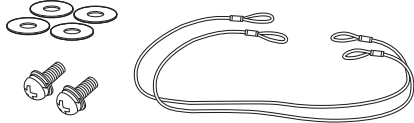
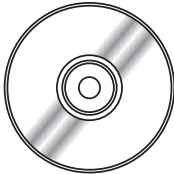
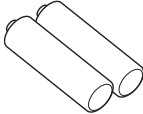

●レンズのガラス部分

レンズのガラス部分に付着したごみやほこりは、清潔なやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- ・毛羽立った布、油分・水分を含んだ布、ほこりの付いた布でふかないでください。
- ・ガラス部分は傷つきやすい素材のため、強くこすらないでください。

付属品の確認

以下の付属品が入っていることを確認してください。〈 〉は個数です。

リモコン 〈1〉 (N2QAYB000550)	電源コード 〈1〉 (TXFSX02VKN2)	天井用落下防止具 (TTRA0238) 〈2〉	
		 (ワイヤーロープ 〈2〉 平ワッシャー 〈4〉 ワイヤーロープ固定ねじ 〈2〉)	
	CD-ROM 〈1〉 (TXFQB02VKN)	リモコン用 単 3 形乾電池 〈2〉	レンズ落下防止ねじ 〈1〉 (XYN4+J18FJ)
			

お願い

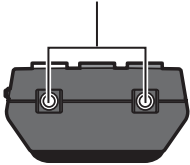
- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。
- 付属品や別売り部品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- 小物部品については乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。

各部の名称とはたらき

リモコン

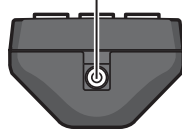
■ 天面

リモコン発信部



■ 底面

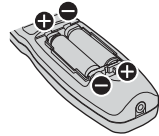
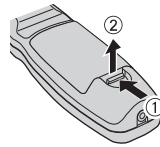
リモコンワイヤード端子
(☞ 18 ページ)



リモコンの電池の入れ方・取り出し方

ふたを開ける

電池を入れ、ふたを閉じる
(●側から先に入れます)



電池を取り出す場合は、逆の手順で行います

■ 正面

リモコン操作表示ランプ
リモコンボタンを押すと
点滅します

本体の主電源〈MAIN POWER〉
スイッチが“|”側でスタンバイ状態
のとき、本機を投写状態にします

投写する入力信号を切り換えます
(☞ 44 ページ)

メニュー画面操作に使用します
(☞ 47 ページ)

オンスクリーン表示機能の表示 (オン) /
非表示 (オフ) を切り換えます
(☞ 44 ページ)

テストパターンを表示します
(☞ 45 ページ)

本体を複数台使用するシステム時に
使用します
ID 番号の入力やパスワードの入力に
使用します

本体の情報を表示します

本体を複数台使用するシステム時、
1 つのリモコンで同時制御する場
合に使用します
(☞ 18 ページ)

本体の主電源〈MAIN POWER〉
スイッチが“|”側で投写状態のとき、
本機をスタンバイ状態にします

映像を投写中に、画面表示位置を自動
調整します
自動調整中は画面に「実行中」と表示
します
(☞ 45 ページ)

映像を一時的に消したい場合に
使用します
(☞ 44 ページ)

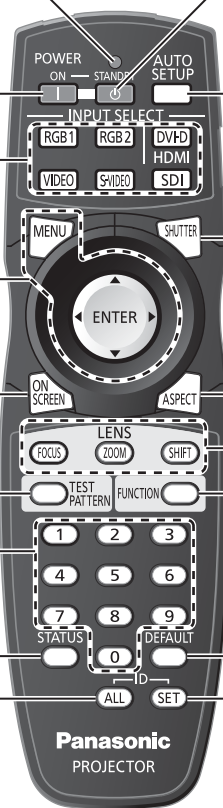
映像のアスペクト比を切り換えます
(☞ 46 ページ)

投写レンズを調整します
(☞ 37、39 ページ)

よく使う操作を割り当て、ショッ
トカットボタンとして使用します
(☞ 45 ページ)

サブメニューの設定内容を
工場出荷状態に戻します
(☞ 47 ページ)

本体を複数台使用するシステム時、リモ
コンの ID を設定する場合に使用します
(☞ 18 ページ)



お願い

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを分解・修理しないでください。
- リモコン受信部に蛍光灯などの強い光が当たると、操作できなくなる場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

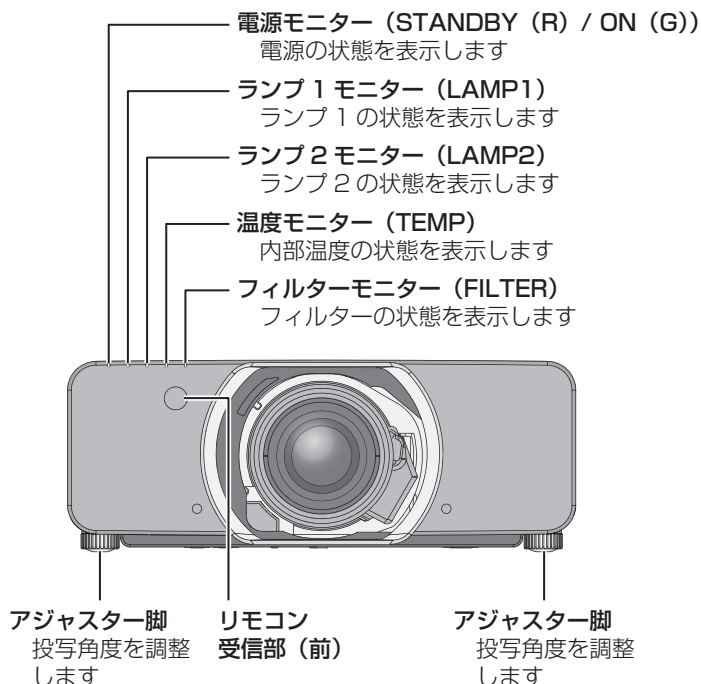
お知らせ

- リモコンを直接本機のリモコン受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信部正面より約 30 m 以内で操作してください。また、上下に ± 15 度と左右に ± 30 度まで操作可能ですが、操作可能距離が短くなる場合があります。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。リモコンからの信号をスクリーンに反射させて本機を操作することができますが、スクリーン特性による光反射ロスにより、操作有効範囲が制限される場合があります。
- 本体がリモコンの信号を受信すると〈電源モニター〉が点滅します。

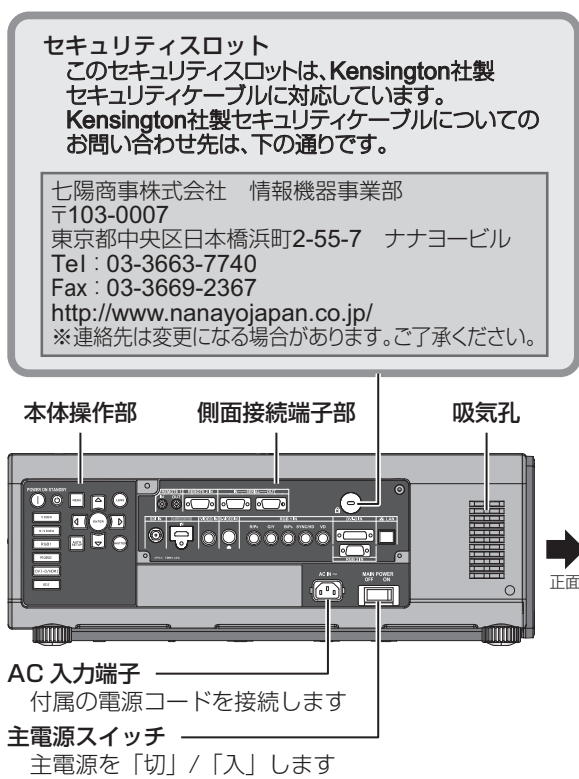
各部の名称とはたらき (つづき)

本体

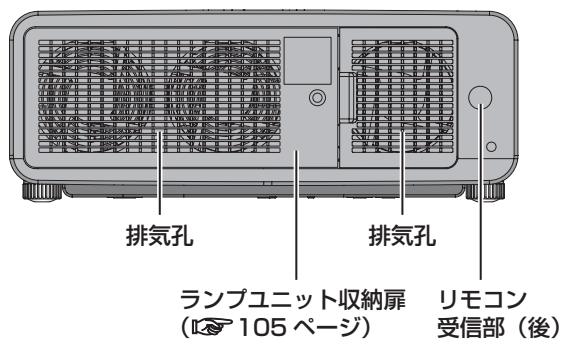
■ 前面



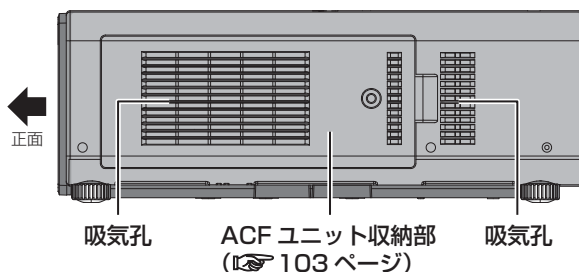
■ 側面



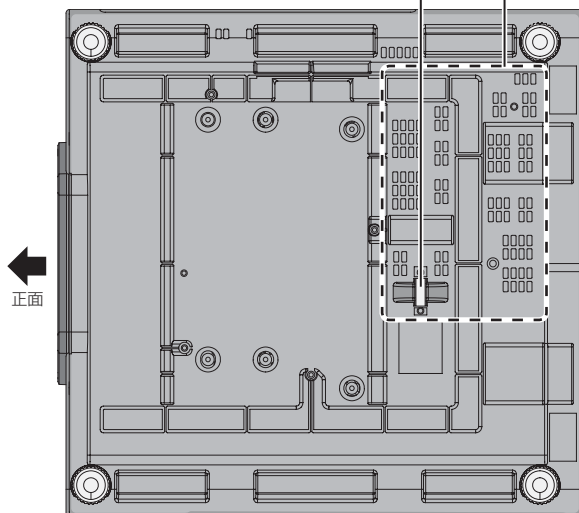
■ 後面



■ 側面



■ 底面



*: 盗難防止用にワイヤーなどを取り付けることができます。

はじめに

警告

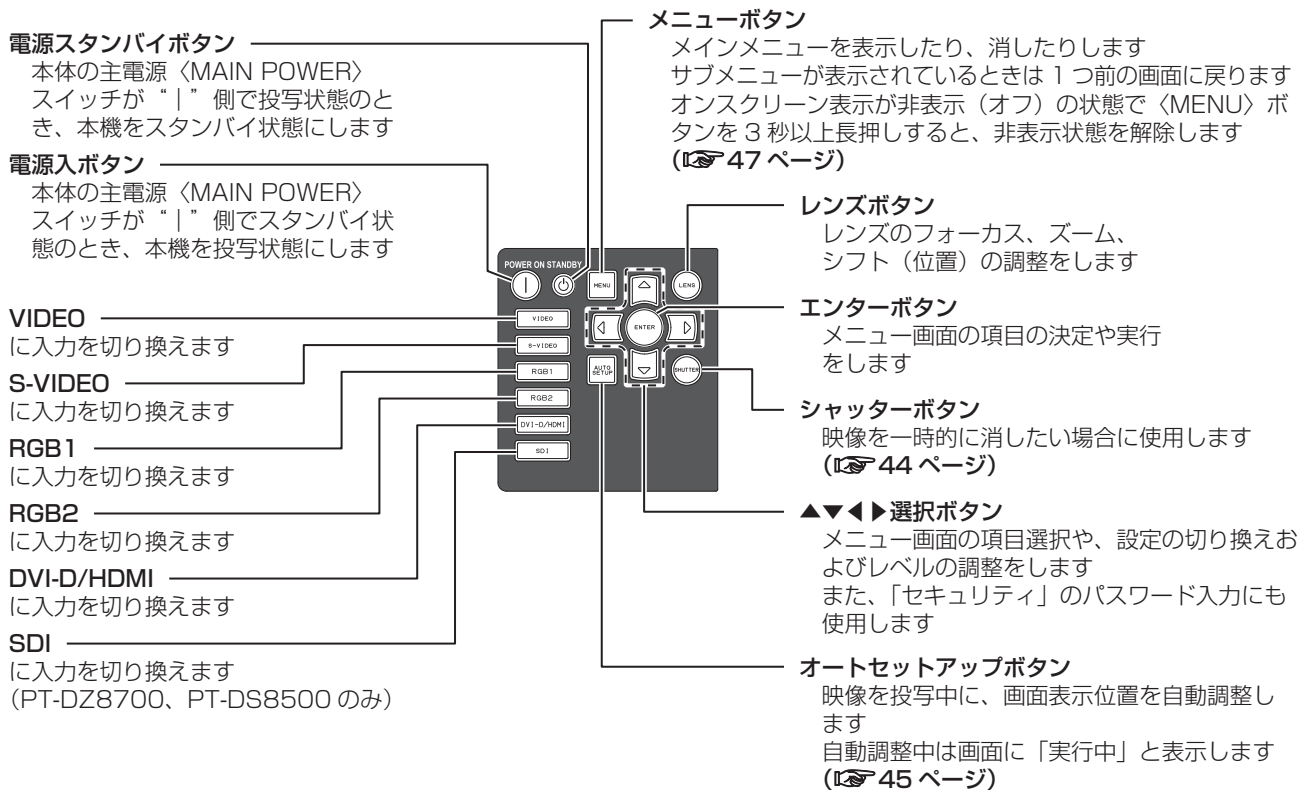
■ 排気孔には手やものを近づけない



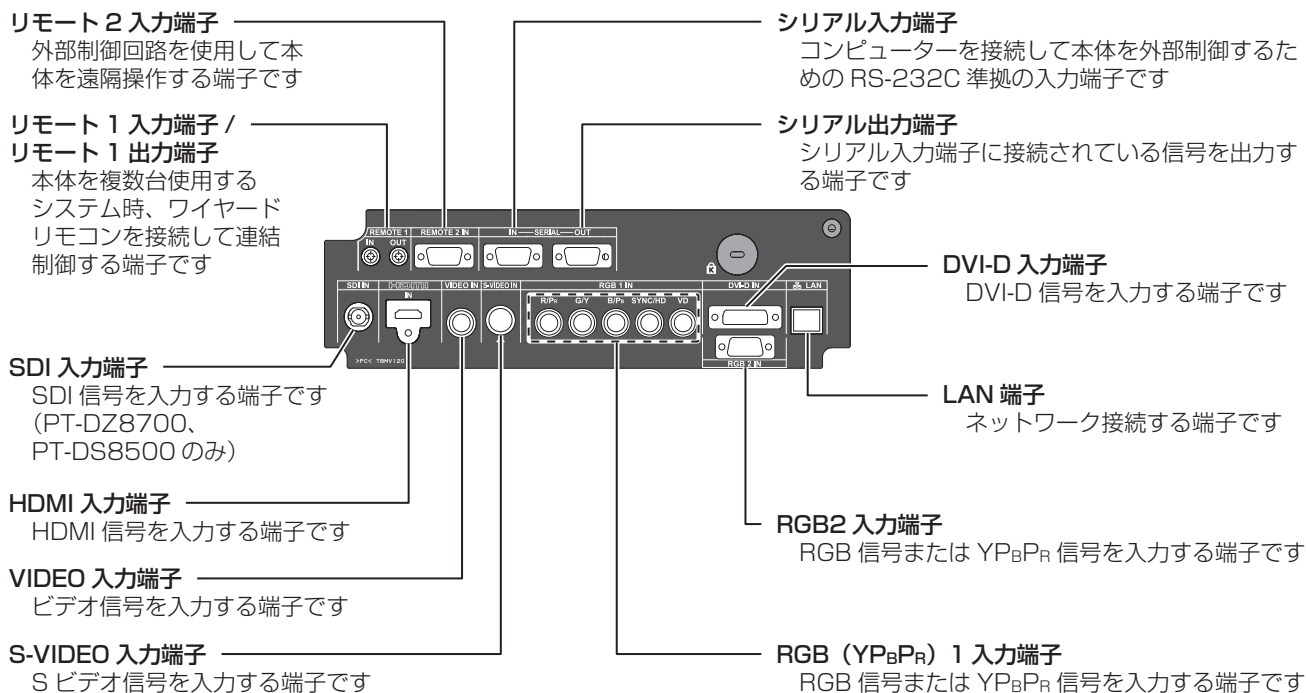
- 手や顔を近づけない。
- 熱に弱いものを近くに置かない。
- 指を入れるとけがの原因になります。

排気孔からは熱風がでているため、やけどや変形の原因になります。

■ 本体操作部



■ 側面接続端子部



お願い

- LAN端子は、静電気を帯びた手(体)で触れると故障の原因になります。LAN端子およびLANケーブルの金属部に触れないようにしてください。
- LANは屋内の機器に接続してください。

リモコンの使い方

リモコンの ID ナンバーを指定する

本機を複数台並べて使用する場合、それぞれの本体に個々の ID ナンバーを設定することにより、1 つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。本体の ID ナンバーを設定したあと、同じ ID ナンバーをリモコンに指定してください。なお、本機の ID ナンバーは工場出荷時は「オール」に設定されていますので 1 台だけでご使用の場合は、リモコンは〈ID-ALL〉ボタンをご使用ください。

■ 設定方法

〈ID-SET〉ボタンを押したあと、5 秒以内に、本機側で設定されている 2 けたの ID ナンバーを数字 (〈0〉 ~ 〈9〉) ボタンで設定する。

ただし、〈ID-ALL〉ボタンを押した場合は、本機の ID ナンバー設定に関係なく制御できます。(同時制御モード)

お願い

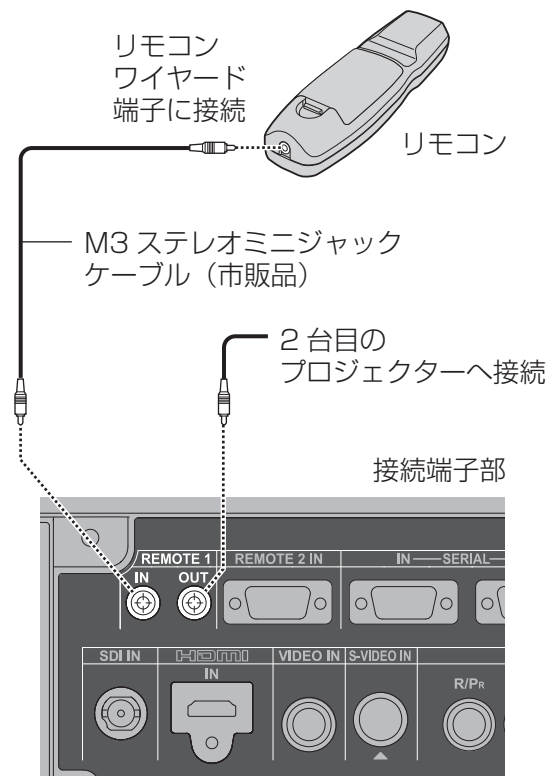
- リモコンの ID ナンバー指定は、本機がなくても可能なため、〈ID-SET〉ボタンは不用意に押さないでください。〈ID-SET〉ボタンを押した場合は、5 秒以内に数字 (〈0〉 ~ 〈9〉) ボタンを押さないと〈ID-SET〉ボタンを押す以前の ID ナンバーに戻ります。
- リモコンに入力された ID ナンバーの指定は、再度指定しない限り記憶しています。ただし、リモコンの電池が消耗したまま放置しておくで消去されます。乾電池を交換した場合は、同じ ID ナンバーを再度設定してください。

お知らせ

- 本体の ID 設定は、『「プロジェクターセットアップ」について』の『プロジェクター ID』(P.71 ページ)をご覧ください。

ケーブルで本体と接続して使う

本体を複数台並べて使用するシステムで、リモート 1 入力 / 出力端子を利用して 1 つのリモコンで複数台を同時制御したい場合は、市販の M3 ステレオミニジャックケーブルを接続して制御します。また設置環境によっては、本体とリモコンの間に障害物がある場合や外光の影響を受けやすい場所などで使用すると効果的です。



お願い

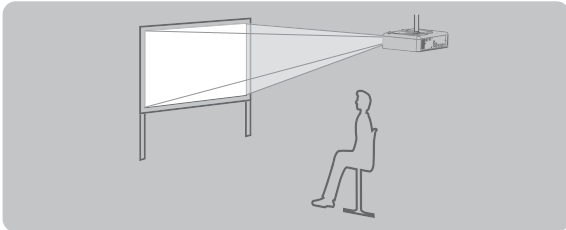
- ケーブルは長さが 15 m 以下、2 芯シールドのものを使用してください。ケーブルの長さが 15 m を超える場合やケーブルのシールドが不十分な場合は動作しない場合があります。

設置する

投写方式

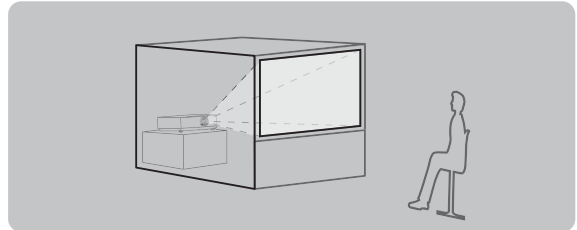
本機は、4通りの投写方式が可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。

■ 天つり設置で前方に投写する場合



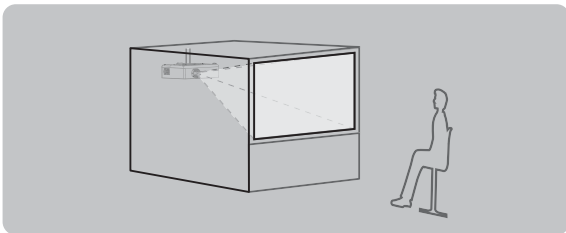
メニュー項目 ※	設定値
設置設定	フロント / 天つり
ファン制御	天つり設置

■ 床置設置で後方から投写する場合 (透過式スクリーン使用)



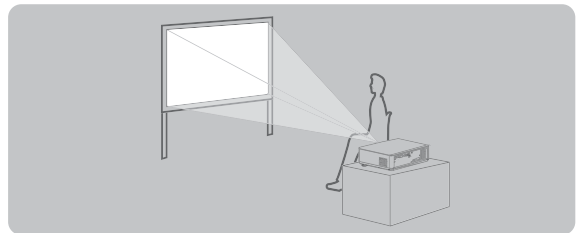
メニュー項目 ※	設定値
設置設定	リア / 床置
ファン制御	床置設置

■ 天つり設置で後方から投写する場合 (透過式スクリーン使用)



メニュー項目 ※	設定値
設置設定	リア / 天つり
ファン制御	天つり設置

■ 床置設置で前方に投写する場合



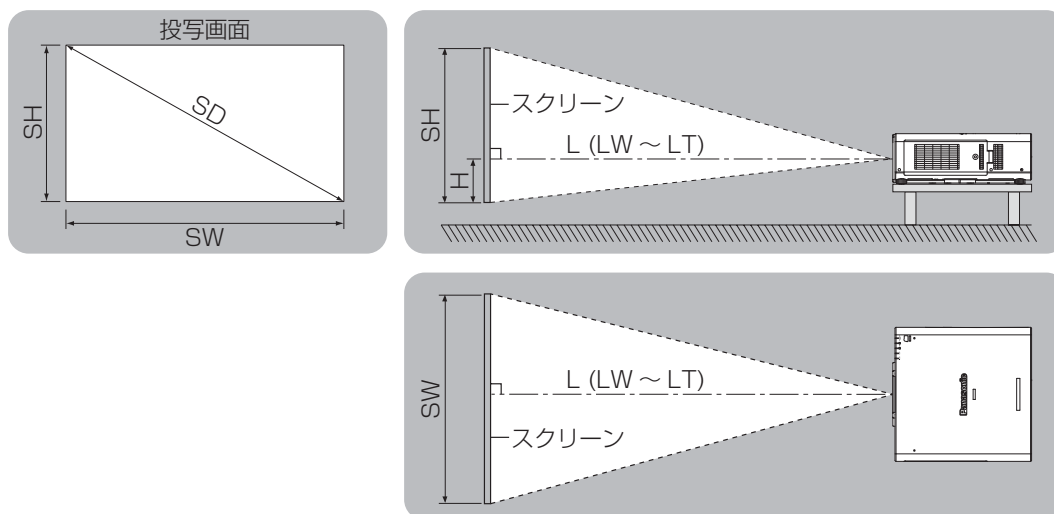
メニュー項目 ※	設定値
設置設定	フロント / 床置
ファン制御	床置設置

※: メニュー項目の詳細については、『「プロジェクターセットアップ」について』の『設置設定』および『ファン制御』(☞ 71、72 ページ) をご覧ください。

設置する (つづき)

投写関係

本機の設置は、下図や投写距離を参考にして設置してください。なお、スクリーンサイズ、スクリーン位置に応じて画面サイズ、画面位置を調整することができます。



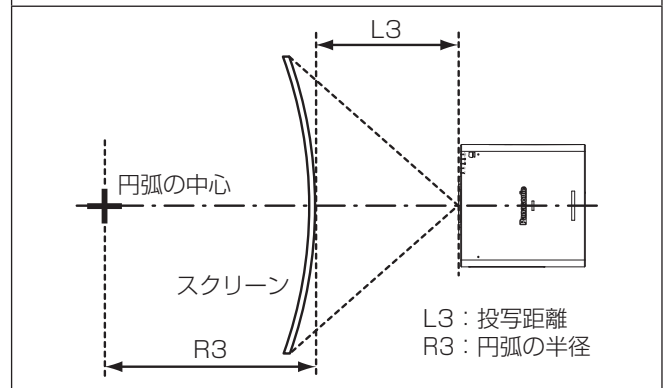
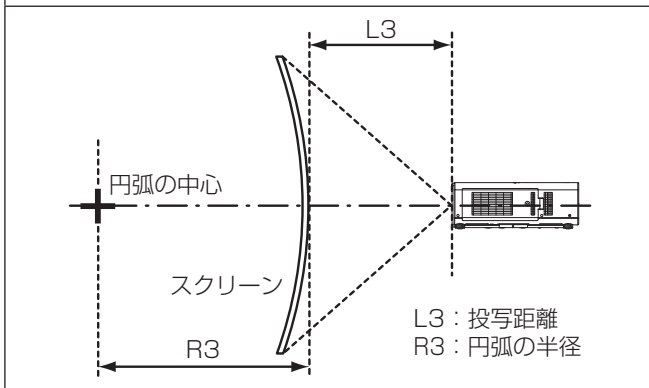
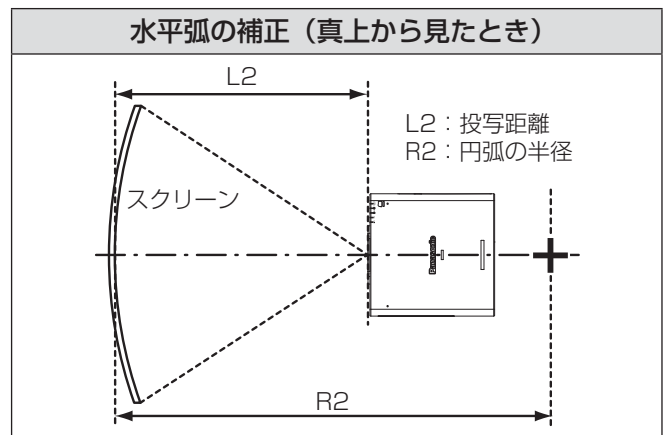
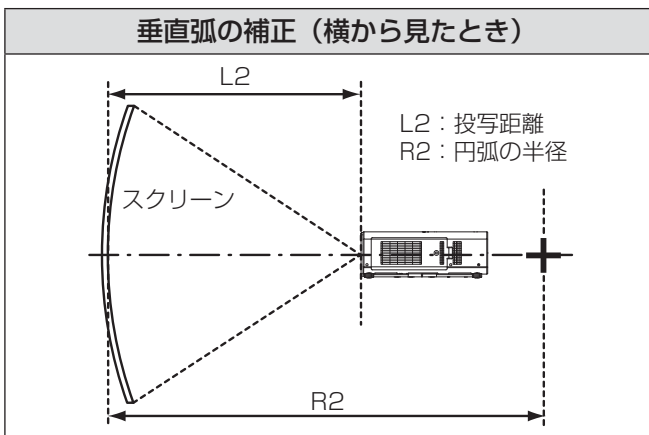
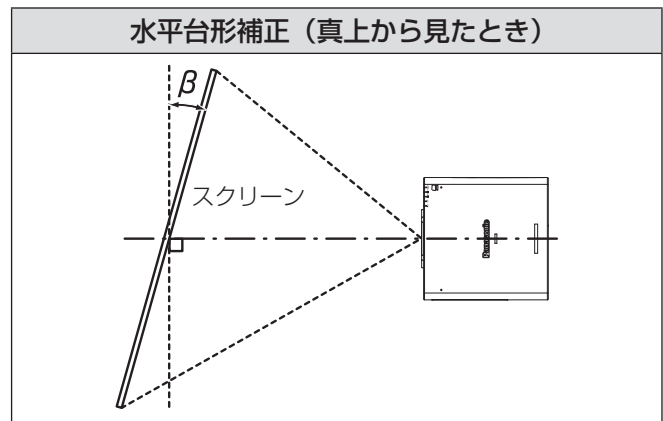
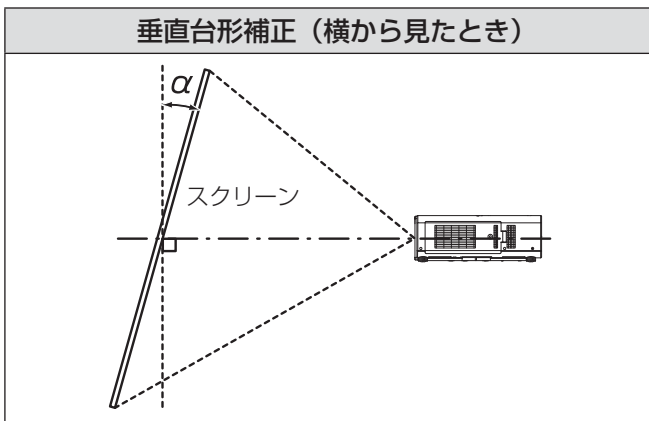
L (LW ~ LT) ※	投写距離 (m)
SH	画像高さ (m)
SW	画像幅 (m)
H	レンズセンターから画像下端までの距離 (m)
SD	画面对角サイズ (型)

※: LW :ズームレンズ使用時、最短投写距離
LT :ズームレンズ使用時、最長投写距離

お願い

- 設置をする前に『ご使用になる前に』(👉 10 ~ 14 ページ)をお読みください。
- DLP プロジェクターと高出力のレーザー機器を同じ部屋で使用しないでください。
レーザー光がレンズ面に入ると DMD 素子の故障の原因になります。

■ 幾何学歪補正による投写範囲 (PT-DZ8700、PT-DS8500 のみ)



レンズ	台形補正のみ		台形補正と曲面補正の併用時				曲面補正のみ	
	垂直台形補正角 α (°)	水平台形補正角 β (°)	垂直台形補正角 α (°)	水平台形補正角 β (°)	R2/L2 の最小値	R3/L3 の最小値	R2/L2 の最小値	R3/L3 の最小値
ET-D75LE1	± 40	± 15	± 5	± 5	1.6	3.2	0.8	1.6
ET-D75LE2	± 40	± 15	± 5	± 5	1.2	2.4	0.6	1.2
ET-D75LE3	± 40	± 15	± 10	± 10	0.8	1.6	0.4	0.8
ET-D75LE4	± 40	± 15	± 10	± 15	0.6	1.0	0.3	0.5
ET-D75LE5	± 22	± 15	± 5	± 5	3.0	6.0	1.5	3.0
ET-D75LE6	± 28	± 10	± 5	± 5	2.4	4.8	1.2	2.4
ET-D75LE8	± 40	± 15	± 10	± 15	0.4	0.8	0.2	0.4
ET-D75LE10	± 40	± 15	± 5	± 5	1.6	3.2	0.8	1.6
ET-D75LE20	± 40	± 15	± 5	± 5	1.6	3.2	0.8	1.6
ET-D75LE30	± 40	± 15	± 5	± 5	1.2	2.4	0.6	1.2

お知らせ

- 幾何学歪補正を使用した場合、補正量が大きくなるとフォーカスが画面全体では合わない場合があります。
- 曲面のスクリーンは真円の一部分を切り取った円弧の形状にしてください。

設置する (つづき)

■ 投写レンズごとの投写距離 (PT-DZ8700 の場合)

● 画面アスペクト比が 16 : 10 のとき (単位 : m)

レンズタイプ			ズームレンズ									
投写レンズ品番			ET-D75LE1		ET-D75LE2		ET-D75LE3		ET-D75LE4		ET-D75LE8	
スローレシオ *			1.4-1.8 : 1		1.8-2.8 : 1		2.8-4.6 : 1		4.6-7.4 : 1		7.3-13.8 : 1	
画面サイズ			投写距離 (L)									
画面サイズ (型)	有効高さ (SH)	有効幅 (SW)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)
70	0.942	1.508	2.01	2.69	2.72	4.10	4.11	6.90	6.91	11.06	10.78	20.56
80	1.077	1.723	2.31	3.09	3.12	4.70	4.71	7.90	7.91	12.66	12.37	23.55
90	1.212	1.939	2.61	3.49	3.52	5.30	5.31	8.91	8.91	14.25	13.97	26.54
100	1.346	2.154	2.91	3.89	3.92	5.90	5.91	9.91	9.91	15.85	15.57	29.53
120	1.615	2.585	3.51	4.68	4.73	7.10	7.11	11.91	11.92	19.04	18.76	35.50
150	2.019	3.231	4.40	5.88	5.93	8.90	8.91	14.92	14.93	23.82	23.54	44.47
200	2.692	4.308	5.89	7.87	7.93	11.91	11.92	19.94	19.95	31.80	31.52	59.41
250	3.365	5.385	7.39	9.87	9.93	14.91	14.92	24.95	24.96	39.77	39.49	74.36
300	4.039	6.462	8.88	11.86	11.93	17.91	17.92	29.97	29.98	47.75	47.47	89.30
350	4.712	7.539	10.37	13.86	13.93	20.91	20.92	34.98	34.99	55.72	55.44	104.24
400	5.385	8.616	11.86	15.85	15.94	23.92	23.93	40.00	40.01	63.70	63.42	119.19
500	6.731	10.770	14.85	19.84	19.94	29.92	29.93	50.03	50.04	79.65	79.37	149.08
600	8.077	12.923	17.83	23.82	23.94	35.93	35.94	60.06	60.07	95.60	95.32	178.96

レンズタイプ			ズームレンズ								固定焦点レンズ	
投写レンズ品番			ET-D75LE6		ET-D75LE10		ET-D75LE20		ET-D75LE30		ET-D75LE5	
スローレシオ *			0.9-1.1 : 1		1.3-1.7 : 1		1.7-2.4 : 1		2.4-4.7 : 1		0.7 : 1	
画面サイズ			投写距離 (L)									
画面サイズ (型)	有効高さ (SH)	有効幅 (SW)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	固定	
70	0.942	1.508	1.35	1.62	1.90	2.46	2.46	3.58	3.56	6.94	0.99	
80	1.077	1.723	1.55	1.86	2.19	2.83	2.82	4.11	4.08	7.96	1.15	
90	1.212	1.939	1.76	2.10	2.47	3.20	3.19	4.64	4.61	8.98	1.30	
100	1.346	2.154	1.96	2.34	2.76	3.56	3.55	5.17	5.13	9.99	1.45	
120	1.615	2.585	2.36	2.82	3.32	4.30	4.28	6.22	6.18	12.03	1.76	
150	2.019	3.231	2.96	3.55	4.18	5.40	5.37	7.81	7.75	15.08	2.22	
200	2.692	4.308	3.97	4.75	5.60	7.24	7.19	10.45	10.38	20.16	2.99	
250	3.365	5.385	4.98	5.96	7.02	9.07	9.00	13.09	13.00	25.25	3.76	
300	4.039	6.462	5.99	7.17	8.44	10.91	10.82	15.73	15.62	30.34	4.53	
350	4.712	7.539	6.99	8.37	9.86	12.74	12.64	18.37	18.24	35.42		
400	5.385	8.616	8.00	9.58	11.28	14.58	14.46	21.01	20.86	40.51		
500	6.731	10.770	10.01	11.99	14.12	18.25	18.09	26.29	26.11	50.68		
600	8.077	12.923	12.03	14.40	16.96	21.92	21.73	31.58	31.35	60.85		

※: スローレシオは、投写画面サイズ 150 型投写時の値を基準にしています。

お知らせ

- 記載の投写距離は ± 5 % の誤差が発生します。
- 幾何学歪補正使用時は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。

●画面アスペクト比が 16 : 9 のとき (単位 : m)

レンズタイプ			ズームレンズ									
投写レンズ品番			ET-D75LE1		ET-D75LE2		ET-D75LE3		ET-D75LE4		ET-D75LE8	
スローレシオ *			1.4-1.8 : 1		1.8-2.8 : 1		2.8-4.6 : 1		4.6-7.4 : 1		7.3-13.8 : 1	
画面サイズ			投写距離 (L)									
画面サイズ (型)	有効高さ (SH)	有効幅 (SW)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)
70	0.872	1.550	2.07	2.77	2.80	4.21	4.23	7.09	7.10	11.37	11.09	21.14
80	0.996	1.771	2.38	3.18	3.21	4.83	4.84	8.13	8.13	13.01	12.73	24.21
90	1.121	1.992	2.68	3.59	3.62	5.45	5.46	9.16	9.16	14.65	14.37	27.29
100	1.245	2.214	2.99	4.00	4.04	6.07	6.08	10.19	10.19	16.29	16.01	30.36
120	1.494	2.657	3.60	4.82	4.86	7.30	7.31	12.25	12.26	19.57	19.29	36.50
150	1.868	3.321	4.53	6.05	6.09	9.15	9.16	15.34	15.35	24.49	24.21	45.72
200	2.491	4.428	6.06	8.10	8.15	12.24	12.25	20.50	20.50	32.69	32.40	61.08
250	3.113	5.535	7.59	10.15	10.21	15.33	15.34	25.65	25.66	40.88	40.60	76.44
300	3.736	6.641	9.13	12.19	12.27	18.41	18.42	30.81	30.81	49.08	48.80	91.79
350	4.358	7.748	10.66	14.24	14.32	21.50	21.51	35.96	35.97	57.28	57.00	107.15
400	4.981	8.855	12.19	16.29	16.38	24.58	24.60	41.12	41.12	65.47	65.19	122.51
500	6.226	11.069	15.26	20.39	20.50	30.76	30.77	51.42	51.43	81.87	81.59	153.23
600	7.472	13.283	18.33	24.49	24.61	36.93	36.94	61.73	61.74	98.26	97.98	183.95

レンズタイプ			ズームレンズ								固定焦点レンズ	
投写レンズ品番			ET-D75LE6		ET-D75LE10		ET-D75LE20		ET-D75LE30		ET-D75LE5	
スローレシオ *			0.9-1.1 : 1		1.3-1.7 : 1		1.7-2.4 : 1		2.4-4.7 : 1		0.7 : 1	
画面サイズ			投写距離 (L)									
画面サイズ (型)	有効高さ (SH)	有効幅 (SW)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	固定	
70	0.872	1.550	1.39	1.66	1.96	2.53	2.53	3.68	3.66	7.14	1.02	
80	0.996	1.771	1.60	1.91	2.25	2.91	2.91	4.23	4.20	8.19	1.18	
90	1.121	1.992	1.81	2.16	2.54	3.29	3.28	4.77	4.74	9.23	1.34	
100	1.245	2.214	2.01	2.41	2.83	3.67	3.65	5.31	5.28	10.28	1.50	
120	1.494	2.657	2.43	2.90	3.42	4.42	4.40	6.40	6.35	12.37	1.81	
150	1.868	3.321	3.05	3.65	4.29	5.55	5.52	8.03	7.97	15.50	2.29	
200	2.491	4.428	4.08	4.89	5.75	7.44	7.39	10.74	10.67	20.73	3.08	
250	3.113	5.535	5.12	6.13	7.21	9.33	9.26	13.46	13.36	25.96	3.87	
300	3.736	6.641	6.15	7.37	8.67	11.21	11.13	16.17	16.06	31.18	4.66	
350	4.358	7.748	7.19	8.61	10.13	13.10	12.99	18.88	18.75	36.41		
400	4.981	8.855	8.22	9.85	11.59	14.99	14.86	21.60	21.45	41.64		
500	6.226	11.069	10.29	12.33	14.51	18.76	18.60	27.03	26.84	52.09		
600	7.472	13.283	12.36	14.81	17.44	22.54	22.33	32.46	32.23	62.54		

※: スローレシオは、投写画面サイズ 150 型投写時の値を基準にしています。

お知らせ

- 記載の投写距離は± 5 %の誤差が発生します。
- 幾何学歪補正使用時は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。

設置する (つづき)

●画面アスペクト比が4:3のとき (単位:m)

レンズタイプ			ズームレンズ										
投写レンズ品番			ET-D75LE1	ET-D75LE2	ET-D75LE3	ET-D75LE4	ET-D75LE8						
スローレシオ*			1.6-2.2:1	2.2-3.3:1	3.3-5.6:1	5.6-8.9:1	8.8-16.5:1						
画面サイズ			投写距離 (L)										
画面サイズ (型)	有効高さ (SH)	有効幅 (SW)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	
70	1.067	1.422	2.29	3.06	3.09	4.65	4.66	7.83	7.83	12.54	12.25	23.32	
80	1.219	1.626	2.63	3.51	3.55	5.33	5.34	8.96	8.97	14.34	14.06	26.71	
90	1.372	1.829	2.96	3.96	4.00	6.01	6.02	10.10	10.10	16.15	15.87	30.09	
100	1.524	2.032	3.30	4.41	4.45	6.69	6.70	11.23	11.24	17.96	17.67	33.47	
120	1.829	2.438	3.98	5.32	5.36	8.05	8.06	13.50	13.51	21.57	21.28	40.24	
150	2.286	3.048	4.99	6.67	6.72	10.09	10.10	16.91	16.92	26.98	26.70	50.39	
200	3.048	4.064	6.68	8.93	8.99	13.49	13.50	22.59	22.59	36.01	35.73	67.31	
250	3.810	5.080	8.37	11.18	11.25	16.89	16.90	28.27	28.27	45.04	44.76	84.23	
300	4.572	6.096	10.06	13.44	13.52	20.29	20.30	33.94	33.95	54.07	53.79	101.14	
350	5.334	7.112	11.75	15.70	15.79	23.69	23.70	39.62	39.63	63.10	62.82	118.06	
400	6.096	8.128	13.44	17.96	18.05	27.09	27.10	45.30	45.31	72.13	71.85	134.98	
500	7.620	10.160	16.82	22.47	22.58	33.89	33.90	56.65	56.66	90.18	89.91	168.81	
600	9.144	12.192	20.20	26.98	27.12	40.69	40.70	68.01	68.02	108.24	107.96	202.65	

レンズタイプ			ズームレンズ								固定焦点レンズ	
投写レンズ品番			ET-D75LE6	ET-D75LE10	ET-D75LE20	ET-D75LE30	ET-D75LE5					
スローレシオ*			1.1-1.3:1	1.6-2.0:1	2.0-2.9:1	2.9-5.6:1	0.8:1					
画面サイズ			投写距離 (L)								固定	
画面サイズ (型)	有効高さ (SH)	有効幅 (SW)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	固定	
70	1.067	1.422	1.54	1.84	2.17	2.80	2.80	4.07	4.04	7.88	1.13	
80	1.219	1.626	1.77	2.11	2.49	3.22	3.21	4.67	4.64	9.03	1.31	
90	1.372	1.829	2.00	2.38	2.81	3.63	3.62	5.27	5.23	10.19	1.48	
100	1.524	2.032	2.22	2.66	3.13	4.05	4.03	5.86	5.82	11.34	1.66	
120	1.829	2.438	2.68	3.20	3.77	4.88	4.86	7.06	7.01	13.64	2.00	
150	2.286	3.048	3.36	4.02	4.74	6.13	6.09	8.85	8.79	17.09	2.53	
200	3.048	4.064	4.50	5.39	6.35	8.21	8.15	11.84	11.76	22.85	3.40	
250	3.810	5.080	5.64	6.76	7.96	10.28	10.20	14.83	14.73	28.61	4.27	
300	4.572	6.096	6.78	8.12	9.56	12.36	12.26	17.82	17.70	34.36	5.14	
350	5.334	7.112	7.92	9.49	11.17	14.44	14.32	20.81	20.67	40.12		
400	6.096	8.128	9.06	10.85	12.78	16.52	16.38	23.80	23.63	45.88		
500	7.620	10.160	11.34	13.58	16.00	20.68	20.49	29.78	29.57	57.39		
600	9.144	12.192	13.62	16.32	19.21	24.83	24.61	35.76	35.51	68.91		

※:スローレシオは、投写画面サイズ 150 型投写時の値を基準にしています。

お知らせ

- 記載の投写距離は±5%の誤差が発生します。
- 幾何学歪補正使用時は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。

■ 投写レンズごとの投写距離 (PT-DS8500 の場合)

● 画面アスペクト比が 4 : 3 のとき (単位 : m)

レンズタイプ			ズームレンズ									
投写レンズ品番			ET-D75LE1		ET-D75LE2		ET-D75LE3		ET-D75LE4		ET-D75LE8	
スローレシオ *			1.5-2.0 : 1		2.0-3.0 : 1		3.0-5.0 : 1		5.0-8.0 : 1		7.9-15.0 : 1	
画面サイズ			投写距離 (L)									
画面サイズ (型)	有効高さ (SH)	有効幅 (SW)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)
70	1.067	1.422	2.07	2.77	2.80	4.21	4.23	7.09	7.10	11.37	11.09	21.14
80	1.219	1.626	2.38	3.18	3.21	4.83	4.84	8.13	8.13	13.01	12.73	24.21
90	1.372	1.829	2.68	3.59	3.62	5.45	5.46	9.16	9.16	14.65	14.37	27.29
100	1.524	2.032	2.99	4.00	4.04	6.07	6.08	10.19	10.19	16.29	16.01	30.36
120	1.829	2.438	3.60	4.82	4.86	7.30	7.31	12.25	12.26	19.57	19.29	36.50
150	2.286	3.048	4.53	6.05	6.09	9.15	9.16	15.34	15.35	24.49	24.21	45.72
200	3.048	4.064	6.06	8.10	8.15	12.24	12.25	20.50	20.50	32.69	32.40	61.08
250	3.810	5.080	7.59	10.15	10.21	15.33	15.34	25.65	25.66	40.88	40.60	76.44
300	4.572	6.096	9.13	12.19	12.27	18.41	18.42	30.81	30.81	49.08	48.80	91.79
350	5.334	7.112	10.66	14.24	14.32	21.50	21.51	35.96	35.97	57.28	57.00	107.15
400	6.096	8.128	12.19	16.29	16.38	24.58	24.60	41.12	41.12	65.47	65.19	122.51
500	7.620	10.160	15.26	20.39	20.50	30.76	30.77	51.42	51.43	81.87	81.59	153.23
600	9.144	12.192	18.33	24.49	24.61	36.93	36.94	61.73	61.74	98.26	97.98	183.95

レンズタイプ			ズームレンズ								固定焦点レンズ
投写レンズ品番			ET-D75LE6		ET-D75LE10		ET-D75LE20		ET-D75LE30		ET-D75LE5
スローレシオ *			1.0-1.2 : 1		1.4-1.8 : 1		1.8-2.6 : 1		2.6-5.1 : 1		0.8 : 1
画面サイズ			投写距離 (L)								固定
画面サイズ (型)	有効高さ (SH)	有効幅 (SW)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	固定
70	1.067	1.422	1.39	1.66	1.95	2.52	2.52	3.66	3.64	7.10	1.02
80	1.219	1.626	1.60	1.91	2.24	2.89	2.89	4.20	4.17	8.13	1.18
90	1.372	1.829	1.81	2.16	2.53	3.27	3.26	4.74	4.71	9.17	1.34
100	1.524	2.032	2.01	2.41	2.82	3.64	3.63	5.28	5.24	10.21	1.50
120	1.829	2.438	2.43	2.90	3.40	4.39	4.37	6.36	6.31	12.29	1.81
150	2.286	3.048	3.05	3.65	4.27	5.52	5.49	7.98	7.92	15.41	2.29
200	3.048	4.064	4.08	4.89	5.72	7.39	7.34	10.67	10.60	20.60	3.08
250	3.810	5.080	5.12	6.13	7.17	9.27	9.20	13.37	13.28	25.79	3.87
300	4.572	6.096	6.15	7.37	8.62	11.14	11.06	16.07	15.96	30.99	4.66
350	5.334	7.112	7.19	8.61	10.07	13.02	12.91	18.77	18.63	36.18	
400	6.096	8.128	8.22	9.85	11.52	14.90	14.77	21.46	21.31	41.38	
500	7.620	10.160	10.29	12.33	14.42	18.65	18.48	26.86	26.67	51.77	
600	9.144	12.192	12.36	14.81	17.33	22.40	22.19	32.25	32.03	62.15	

※: スローレシオは、投写画面サイズ 150 型投写時の値を基準にしています。

お知らせ

- 記載の投写距離は ± 5 % の誤差が発生します。
- 幾何学歪補正使用時は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。

設置する (つづき)

●画面アスペクト比が 16 : 9 のとき (単位 : m)

レンズタイプ			ズームレンズ										
投写レンズ品番			ET-D75LE1	ET-D75LE2	ET-D75LE3	ET-D75LE4	ET-D75LE8						
スローレシオ *			1.5-2.0 : 1	2.0-3.0 : 1	3.0-5.0 : 1	5.0-8.0 : 1	8.0-15.0 : 1						
画面サイズ			投写距離 (L)										
画面サイズ (型)	有効高さ (SH)	有効幅 (SW)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	
70	0.872	1.550	2.26	3.02	3.06	4.60	4.61	7.74	7.75	12.40	12.12	23.06	
80	0.996	1.771	2.60	3.47	3.51	5.27	5.28	8.86	8.87	14.18	13.90	26.41	
90	1.121	1.992	2.93	3.92	3.95	5.95	5.96	9.99	9.99	15.97	15.69	29.76	
100	1.245	2.214	3.27	4.36	4.40	6.62	6.63	11.11	11.11	17.76	17.47	33.10	
120	1.494	2.657	3.93	5.26	5.30	7.96	7.97	13.35	13.36	21.33	21.04	39.79	
150	1.868	3.321	4.94	6.60	6.64	9.98	9.99	16.72	16.73	26.68	26.40	49.83	
200	2.491	4.428	6.61	8.83	8.89	13.34	13.35	22.34	22.34	35.61	35.33	66.56	
250	3.113	5.535	8.28	11.06	11.13	16.70	16.71	27.95	27.96	44.54	44.26	83.29	
300	3.736	6.641	9.95	13.29	13.37	20.07	20.08	33.57	33.57	53.47	53.19	100.02	
350	4.358	7.748	11.62	15.52	15.61	23.43	23.44	39.18	39.19	62.40	62.12	116.75	
400	4.981	8.855	13.29	17.76	17.85	26.79	26.80	44.80	44.80	71.33	71.05	133.48	
500	6.226	11.069	16.63	22.22	22.33	33.51	33.52	56.03	56.03	89.19	88.91	166.95	
600	7.472	13.283	19.97	26.69	26.82	40.24	40.25	67.26	67.26	107.04	106.77	200.41	

レンズタイプ			ズームレンズ								固定焦点レンズ	
投写レンズ品番			ET-D75LE6	ET-D75LE10	ET-D75LE20	ET-D75LE30	ET-D75LE5					
スローレシオ *			1.0-1.2 : 1	1.4-1.8 : 1	1.8-2.6 : 1	2.6-5.1 : 1	0.8 : 1					
画面サイズ			投写距離 (L)								固定	
画面サイズ (型)	有効高さ (SH)	有効幅 (SW)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	固定	
70	0.872	1.550	1.52	1.82	2.13	2.75	2.75	4.00	3.97	7.74	1.12	
80	0.996	1.771	1.75	2.09	2.44	3.16	3.15	4.59	4.55	8.88	1.29	
90	1.121	1.992	1.97	2.36	2.76	3.57	3.56	5.17	5.14	10.01	1.47	
100	1.245	2.214	2.20	2.63	3.08	3.98	3.96	5.76	5.72	11.14	1.64	
120	1.494	2.657	2.65	3.17	3.71	4.79	4.77	6.94	6.89	13.40	1.98	
150	1.868	3.321	3.33	3.98	4.66	6.02	5.98	8.70	8.64	16.80	2.50	
200	2.491	4.428	4.45	5.33	6.24	8.06	8.01	11.64	11.56	22.46	3.36	
250	3.113	5.535	5.58	6.68	7.82	10.11	10.03	14.58	14.47	28.11	4.22	
300	3.736	6.641	6.71	8.03	9.40	12.15	12.05	17.51	17.39	33.77	5.08	
350	4.358	7.748	7.84	9.38	10.98	14.19	14.07	20.45	20.31	39.43		
400	4.981	8.855	8.96	10.73	12.56	16.23	16.10	23.39	23.23	45.09		
500	6.226	11.069	11.22	13.43	15.72	20.32	20.14	29.27	29.06	56.40		
600	7.472	13.283	13.47	16.14	18.88	24.41	24.18	35.15	34.90	67.72		

※:スローレシオは、投写画面サイズ 150 型投写時の値を基準にしています。

お知らせ

- 記載の投写距離は± 5 %の誤差が発生します。
- 幾何学歪補正使用時は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。

■ 投写レンズごとの投写距離 (PT-DW8300 の場合)

● 画面アスペクト比が 16 : 9 のとき (単位 : m)

レンズタイプ			ズームレンズ									
投写レンズ品番			ET-D75LE1		ET-D75LE2		ET-D75LE3		ET-D75LE4		ET-D75LE8	
スローレシオ *			1.5-2.0 : 1		2.1-3.1 : 1		3.1-5.2 : 1		5.2-8.2 : 1		8.2-15.4 : 1	
画面サイズ			投写距離 (L)									
画面サイズ (型)	有効高さ (SH)	有効幅 (SW)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)
70	0.872	1.550	2.32	3.10	3.14	4.72	4.73	7.94	7.94	12.71	12.43	23.65
80	0.996	1.771	2.66	3.56	3.60	5.41	5.42	9.09	9.09	14.54	14.26	27.08
90	1.121	1.992	3.01	4.02	4.06	6.10	6.11	10.24	10.25	16.37	16.09	30.51
100	1.245	2.214	3.35	4.48	4.52	6.79	6.80	11.39	11.40	18.21	17.92	33.94
120	1.494	2.657	4.03	5.39	5.44	8.17	8.18	13.69	13.70	21.87	21.58	40.80
150	1.868	3.321	5.06	6.76	6.81	10.23	10.24	17.15	17.15	27.36	27.08	51.09
200	2.491	4.428	6.77	9.05	9.11	13.68	13.69	22.90	22.91	36.51	36.23	68.25
250	3.113	5.535	8.49	11.34	11.41	17.13	17.14	28.66	28.67	45.67	45.39	85.40
300	3.736	6.641	10.20	13.63	13.71	20.57	20.58	34.42	34.42	54.82	54.54	102.55
350	4.358	7.748	11.91	15.92	16.00	24.02	24.03	40.17	40.18	63.97	63.70	119.70
400	4.981	8.855	13.63	18.21	18.30	27.47	27.48	45.93	45.93	73.13	72.85	136.85
500	6.226	11.069	17.05	22.78	22.90	34.36	34.37	57.44	57.45	91.43	91.16	171.16
600	7.472	13.283	20.48	27.36	27.49	41.25	41.26	68.95	68.96	109.74	109.47	205.46

レンズタイプ			ズームレンズ								固定焦点レンズ	
投写レンズ品番			ET-D75LE6		ET-D75LE10		ET-D75LE20		ET-D75LE30		ET-D75LE5	
スローレシオ *			1.0-1.2 : 1		1.4-1.9 : 1		1.8-2.7 : 1		2.7-5.2 : 1		0.8 : 1	
画面サイズ			投写距離 (L)									
画面サイズ (型)	有効高さ (SH)	有効幅 (SW)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	固定	
70	0.872	1.550	1.56	1.87	2.18	2.82	2.82	4.10	4.07	7.94	1.15	
80	0.996	1.771	1.79	2.14	2.51	3.24	3.23	4.70	4.67	9.10	1.33	
90	1.121	1.992	2.02	2.42	2.83	3.66	3.65	5.31	5.27	10.26	1.50	
100	1.245	2.214	2.25	2.70	3.15	4.08	4.06	5.91	5.87	11.42	1.68	
120	1.494	2.657	2.72	3.25	3.80	4.92	4.89	7.11	7.07	13.74	2.03	
150	1.868	3.321	3.41	4.08	4.78	6.17	6.14	8.92	8.86	17.22	2.56	
200	2.491	4.428	4.56	5.47	6.40	8.27	8.21	11.93	11.85	23.03	3.44	
250	3.113	5.535	5.72	6.85	8.02	10.36	10.28	14.95	14.84	28.83	4.33	
300	3.736	6.641	6.87	8.24	9.64	12.46	12.36	17.96	17.83	34.63	5.21	
350	4.358	7.748	8.03	9.62	11.26	14.55	14.43	20.97	20.82	40.43		
400	4.981	8.855	9.18	11.01	12.88	16.65	16.50	23.98	23.81	46.23		
500	6.226	11.069	11.49	13.78	16.12	20.83	20.65	30.01	29.80	57.83		
600	7.472	13.283	13.80	16.55	19.36	25.02	24.80	36.03	35.78	69.43		

※: スローレシオは、投写画面サイズ 150 型投写時の値を基準にしています。

お知らせ

- 記載の投写距離は ± 5 % の誤差が発生します。
- 幾何学歪補正使用時は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。

設置する (つづき)

●画面アスペクト比が4:3のとき (単位:m)

レンズタイプ			ズームレンズ										
投写レンズ品番			ET-D75LE1	ET-D75LE2	ET-D75LE3	ET-D75LE4	ET-D75LE8						
スローレシオ*			2.0-2.7:1	2.7-4.1:1	4.1-6.9:1	6.9-11.0:1	10.9-20.6:1						
画面サイズ			投写距離 (L)										
画面サイズ (型)	有効高さ (SH)	有効幅 (SW)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	
70	1.067	1.422	2.86	3.82	3.86	5.80	5.81	9.74	9.75	15.59	15.30	29.04	
80	1.219	1.626	3.28	4.38	4.42	6.65	6.66	11.15	11.16	17.83	17.55	33.24	
90	1.372	1.829	3.70	4.94	4.98	7.49	7.50	12.56	12.57	20.07	19.79	37.44	
100	1.524	2.032	4.12	5.50	5.55	8.33	8.34	13.97	13.98	22.31	22.03	41.64	
120	1.829	2.438	4.96	6.62	6.67	10.02	10.03	16.79	16.80	26.79	26.51	50.04	
150	2.286	3.048	6.21	8.30	8.36	12.55	12.56	21.02	21.03	33.52	33.24	62.64	
200	3.048	4.064	8.31	11.11	11.17	16.77	16.78	28.07	28.07	44.72	44.44	83.63	
250	3.810	5.080	10.41	13.91	13.99	20.99	21.00	35.12	35.12	55.93	55.65	104.63	
300	4.572	6.096	12.51	16.71	16.80	25.21	25.22	42.16	42.17	67.14	66.86	125.63	
350	5.334	7.112	14.60	19.51	19.61	29.43	29.44	49.21	49.22	78.34	78.07	146.63	
400	6.096	8.128	16.70	22.31	22.43	33.65	33.66	56.26	56.26	89.55	89.28	167.63	
500	7.620	10.160	20.89	27.92	28.05	42.09	42.10	70.35	70.36	111.96	111.69	209.62	
600	9.144	12.192	25.09	33.52	33.68	50.53	50.54	84.45	84.45	134.38	134.11	251.62	

レンズタイプ			ズームレンズ								固定焦点レンズ	
投写レンズ品番			ET-D75LE6	ET-D75LE10	ET-D75LE20	ET-D75LE30	ET-D75LE5					
スローレシオ*			1.4-1.6:1	1.9-2.5:1	2.5-3.6:1	3.6-6.9:1	1.0:1					
画面サイズ			投写距離 (L)								固定	
画面サイズ (型)	有効高さ (SH)	有効幅 (SW)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	固定	
70	1.067	1.422	1.92	2.30	2.69	3.48	3.47	5.05	5.01	9.77	1.43	
80	1.219	1.626	2.21	2.64	3.09	3.99	3.98	5.78	5.75	11.19	1.64	
90	1.372	1.829	2.49	2.98	3.49	4.51	4.49	6.52	6.48	12.61	1.86	
100	1.524	2.032	2.77	3.32	3.88	5.02	4.99	7.26	7.21	14.03	2.08	
120	1.829	2.438	3.34	4.00	4.68	6.05	6.01	8.74	8.68	16.87	2.51	
150	2.286	3.048	4.19	5.01	5.87	7.58	7.53	10.95	10.87	21.13	3.16	
200	3.048	4.064	5.60	6.71	7.85	10.15	10.07	14.64	14.53	28.23	4.24	
250	3.810	5.080	7.01	8.40	9.83	12.71	12.61	18.32	18.20	35.33	5.32	
300	4.572	6.096	8.43	10.10	11.82	15.28	15.15	22.01	21.86	42.43	6.40	
350	5.334	7.112	9.84	11.80	13.80	17.84	17.68	25.70	25.52	49.53		
400	6.096	8.128	11.26	13.49	15.78	20.40	20.22	29.39	29.18	56.64		
500	7.620	10.160	14.08	16.88	19.75	25.53	25.30	36.76	36.50	70.84		
600	9.144	12.192	16.91	20.27	23.72	30.66	30.38	44.14	43.83	85.04		

※:スローレシオは、投写画面サイズ 150 型投写時の値を基準にしています。

お知らせ

- 記載の投写距離は±5%の誤差が発生します。
- 幾何学歪補正使用時は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。

本書に記載のない画面サイズでご使用の場合は、使用されるスクリーンの対角寸法 (型) をご確認のうえ、下記計算式で投写距離を求めてください。

■ 投写レンズ別投写距離計算式 (PT-DZ8700 の場合)

投写レンズ品番	スローレシオ	アスペクト比	投写距離 (L) 計算式	単位: m
ズームレンズ	ET-D75LE1	1.4-1.8 : 1	16 : 10	最短: $L = 0.0298 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0760 最長: $L = 0.0399 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1004
		1.4-1.8 : 1	16 : 9	最短: $L = 0.0307 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0760 最長: $L = 0.0410 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1004
		1.6-2.2 : 1	4 : 3	最短: $L = 0.0338 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0760 最長: $L = 0.0451 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1004
	ET-D75LE2	1.8-2.8 : 1	16 : 10	最短: $L = 0.0400 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0795 最長: $L = 0.0601 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1064
		1.8-2.8 : 1	16 : 9	最短: $L = 0.0412 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0795 最長: $L = 0.0617 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1064
		2.2-3.3 : 1	4 : 3	最短: $L = 0.0453 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0795 最長: $L = 0.0680 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1064
	ET-D75LE3	2.8-4.6 : 1	16 : 10	最短: $L = 0.0601 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0958 最長: $L = 0.1003 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1216
		2.8-4.6 : 1	16 : 9	最短: $L = 0.0617 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0958 最長: $L = 0.1031 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1216
		3.3-5.6 : 1	4 : 3	最短: $L = 0.0680 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0958 最長: $L = 0.1136 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1216
	ET-D75LE4	4.6-7.4 : 1	16 : 10	最短: $L = 0.1003 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1158 最長: $L = 0.1595 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1013
		4.6-7.4 : 1	16 : 9	最短: $L = 0.1031 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1158 最長: $L = 0.1639 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1013
		5.6-8.9 : 1	4 : 3	最短: $L = 0.1136 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1158 最長: $L = 0.1806 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1013
	ET-D75LE8	7.3-13.8 : 1	16 : 10	最短: $L = 0.1595 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.3862 最長: $L = 0.2989 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.3598
		7.3-13.8 : 1	16 : 9	最短: $L = 0.1640 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.3862 最長: $L = 0.3072 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.3598
		8.8-16.5 : 1	4 : 3	最短: $L = 0.1806 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.3862 最長: $L = 0.3383 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.3598
	ET-D75LE6	0.9-1.1 : 1	16 : 10	最短: $L = 0.0201 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0566 最長: $L = 0.0241 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0736
		0.9-1.1 : 1	16 : 9	最短: $L = 0.0207 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0566 最長: $L = 0.0248 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0736
		1.1-1.3 : 1	4 : 3	最短: $L = 0.0228 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0566 最長: $L = 0.0273 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0736
	ET-D75LE10	1.3-1.7 : 1	16 : 10	最短: $L = 0.0284 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0857 最長: $L = 0.0367 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1085
		1.3-1.7 : 1	16 : 9	最短: $L = 0.0292 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0857 最長: $L = 0.0377 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1085
		1.6-2.0 : 1	4 : 3	最短: $L = 0.0322 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0857 最長: $L = 0.0416 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1085
	ET-D75LE20	1.7-2.4 : 1	16 : 10	最短: $L = 0.0364 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0832 最長: $L = 0.0528 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1162
		1.7-2.4 : 1	16 : 9	最短: $L = 0.0374 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0832 最長: $L = 0.0543 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1162
		2.0-2.9 : 1	4 : 3	最短: $L = 0.0412 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0832 最長: $L = 0.0598 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1162
ET-D75LE30	2.4-4.7 : 1	16 : 10	最短: $L = 0.0524 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1131 最長: $L = 0.1017 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1765	
	2.4-4.7 : 1	16 : 9	最短: $L = 0.0539 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1131 最長: $L = 0.1045 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1765	
	2.9-5.6 : 1	4 : 3	最短: $L = 0.0594 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1131 最長: $L = 0.1151 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1765	
固定焦点レンズ	ET-D75LE5	0.7 : 1	16 : 10	$L = 0.0154 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0835
		0.7 : 1	16 : 9	$L = 0.0158 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0835
		0.8 : 1	4 : 3	$L = 0.0174 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0835

■ 投写レンズ別投写距離計算式 (PT-DS8500 の場合)

投写レンズ品番	スローレシオ	アスペクト比	投写距離 (L) 計算式	単位 : m
ズーム レンズ	ET-D75LE1	1.5-2.0 : 1	4 : 3	最短 : $L = 0.0307 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0760 最長 : $L = 0.0410 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1004
		16 : 9	最短 : $L = 0.0334 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0760 最長 : $L = 0.0446 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1004	
	ET-D75LE2	2.0-3.0 : 1	4 : 3	最短 : $L = 0.0412 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0795 最長 : $L = 0.0617 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1064
			16 : 9	最短 : $L = 0.0448 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0795 最長 : $L = 0.0672 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1064
	ET-D75LE3	3.0-5.0 : 1	4 : 3	最短 : $L = 0.0617 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0958 最長 : $L = 0.1031 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1216
			16 : 9	最短 : $L = 0.0672 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0958 最長 : $L = 0.1123 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1216
	ET-D75LE4	5.0-8.0 : 1	4 : 3	最短 : $L = 0.1031 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1158 最長 : $L = 0.1639 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1013
			16 : 9	最短 : $L = 0.1123 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1158 最長 : $L = 0.1786 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1013
	ET-D75LE8	7.9-15.0 : 1	4 : 3	最短 : $L = 0.1640 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.3862 最長 : $L = 0.3072 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.3598
		8.0-15.0 : 1	16 : 9	最短 : $L = 0.1786 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.3862 最長 : $L = 0.3346 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.3598
	ET-D75LE6	1.0-1.2 : 1	4 : 3	最短 : $L = 0.0207 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0566 最長 : $L = 0.0248 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0736
			16 : 9	最短 : $L = 0.0225 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0566 最長 : $L = 0.0270 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0736
	ET-D75LE10	1.4-1.8 : 1	4 : 3	最短 : $L = 0.0290 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0857 最長 : $L = 0.0375 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1085
			16 : 9	最短 : $L = 0.0316 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0857 最長 : $L = 0.0409 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1085
ET-D75LE20	1.8-2.6 : 1	4 : 3	最短 : $L = 0.0371 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0832 最長 : $L = 0.0540 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1162	
		16 : 9	最短 : $L = 0.0404 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0832 最長 : $L = 0.0588 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1162	
ET-D75LE30	2.6-5.1 : 1	4 : 3	最短 : $L = 0.0536 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1131 最長 : $L = 0.1039 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1765	
		16 : 9	最短 : $L = 0.0583 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1131 最長 : $L = 0.1132 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1765	
固定 焦点 レンズ	ET-D75LE5	0.8 : 1	4 : 3	$L = 0.0158 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0835
		16 : 9	$L = 0.0172 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0835	

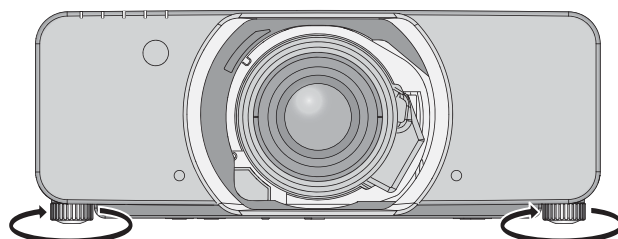
■ 投写レンズ別投写距離計算式 (PT-DW8300 の場合)

投写レンズ品番	スローレシオ	アスペクト比	投写距離 (L) 計算式	単位: m
ズームレンズ	ET-D75LE1	1.5-2.0 : 1	16 : 9	最短: $L = 0.0343 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0760 最長: $L = 0.0458 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1004
		2.0-2.7 : 1	4 : 3	最短: $L = 0.0419 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0760 最長: $L = 0.0560 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1004
	ET-D75LE2	2.1-3.1 : 1	16 : 9	最短: $L = 0.0460 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0795 最長: $L = 0.0689 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1064
		2.7-4.1 : 1	4 : 3	最短: $L = 0.0563 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0795 最長: $L = 0.0844 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1064
	ET-D75LE3	3.1-5.2 : 1	16 : 9	最短: $L = 0.0689 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0958 最長: $L = 0.1151 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1216
		4.1-6.9 : 1	4 : 3	最短: $L = 0.0844 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0958 最長: $L = 0.1409 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1216
	ET-D75LE4	5.2-8.2 : 1	16 : 9	最短: $L = 0.1151 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1158 最長: $L = 0.1831 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1013
		6.9-11.0 : 1	4 : 3	最短: $L = 0.1409 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1158 最長: $L = 0.2241 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1013
	ET-D75LE8	8.2-15.4 : 1	16 : 9	最短: $L = 0.1831 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.3862 最長: $L = 0.3430 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.3598
		10.9-20.6 : 1	4 : 3	最短: $L = 0.2241 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.3862 最長: $L = 0.4200 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.3598
	ET-D75LE6	1.0-1.2 : 1	16 : 9	最短: $L = 0.0231 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0566 最長: $L = 0.0277 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0736
		1.4-1.6 : 1	4 : 3	最短: $L = 0.0283 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0566 最長: $L = 0.0339 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0736
	ET-D75LE10	1.4-1.9 : 1	16 : 9	最短: $L = 0.0324 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0857 最長: $L = 0.0419 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1085
		1.9-2.5 : 1	4 : 3	最短: $L = 0.0397 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0857 最長: $L = 0.0513 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1085
	ET-D75LE20	1.8-2.7 : 1	16 : 9	最短: $L = 0.0415 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0832 最長: $L = 0.0602 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1162
		2.5-3.6 : 1	4 : 3	最短: $L = 0.0508 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0832 最長: $L = 0.0738 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1162
ET-D75LE30	2.7-5.2 : 1	16 : 9	最短: $L = 0.0598 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1131 最長: $L = 0.1160 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1765	
	3.6-6.9 : 1	4 : 3	最短: $L = 0.0732 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1131 最長: $L = 0.1420 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.1765	
固定焦点レンズ	ET-D75LE5	0.8 : 1	16 : 9	$L = 0.0176 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0835
		1.0 : 1	4 : 3	$L = 0.0216 \times \text{スクリーン対角 (型)}$ - 0.0835

準備

アジャスター脚の調整

図のように、アジャスター脚を回すと脚を伸ばすことができ、逆に回すと元に戻すことができます。(上下に投写角度を調整することができます。)



調整可能量

前面アジャスター脚: 50 mm
後面アジャスター脚: 10 mm

お願い

- ランプ点灯中は排気孔から熱風がでています。アジャスター脚を調整するときは、排気孔に直接手を触れないでください。

接続する

接続の前に

- 接続の際は、接続される機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてからケーブルの接続を行ってください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、画像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター（TBC）の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号はビデオ信号、Sビデオ信号、アナログRGB信号（同期信号はTTLレベル）、およびデジタル信号です。
- コンピューターのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 各機器と本機を長いケーブルを使用して接続する場合はケーブル補償器などを使用しないと正常に出画できないことがあります。

■ Sビデオ入力 (S-VIDEO IN) 端子のピン配列と信号名

外側から見た図	ピン No.	信号名
	①	GND (輝度信号)
	②	GND (色信号)
	③	輝度信号
	④	色信号

■ RGB2 入力 (RGB2 IN) 端子のピン配列と信号名

外側から見た図	ピン No.	信号名
	①	R/P _R
	②	G/G・SYNC/Y
	③	B/P _B
	⑫	DDC データ
	⑬	HD/SYNC
	⑭	VD
	⑮	DDC クロック
	④, ⑨	未使用

④、⑨は未使用です。
⑤～⑧、⑩、⑪は GND 端子です。

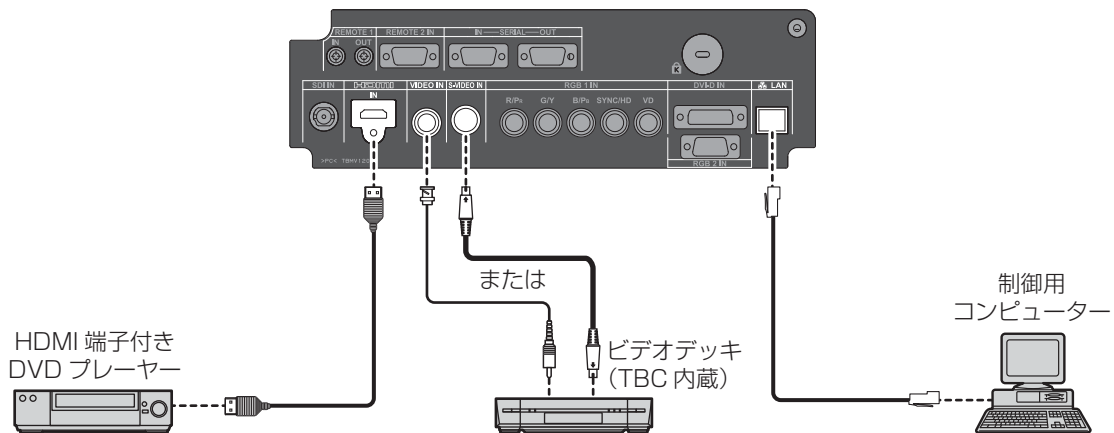
■ HDMI 入力 (HDMI IN) 端子のピン配列と信号名

外側から見た図	ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
<p>①～⑱の奇数ピン</p> <p>②～⑱の偶数ピン</p>	①	T.M.D.S データ 2 +	②	T.M.D.S データ 2 シールド
	③	T.M.D.S データ 2 -	④	T.M.D.S データ 1 +
	⑤	T.M.D.S データ 1 シールド	⑥	T.M.D.S データ 1 -
	⑦	T.M.D.S データ 0 +	⑧	T.M.D.S データ 0 シールド
	⑨	T.M.D.S データ 0 -	⑩	T.M.D.S クロック+
	⑪	T.M.D.S クロック シールド	⑫	T.M.D.S クロッカー
	⑬	CEC	⑭	—
	⑮	SCL	⑯	SDA
	⑰	DDC/CEC GND	⑱	+5V
	⑱	ホットプラグ検出		

■ DVI-D 入力 (DVI-D IN) 端子のピン配列と信号名

外側から見た図	ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
	①	T.M.D.S データ 2-	⑬	—
	②	T.M.D.S データ 2+	⑭	+5V
	③	T.M.D.S データ 2/4 シールド	⑮	GND
	④	—	⑯	ホットプラグ検出
	⑤	—	⑰	T.M.D.S データ 0-
	⑥	DDC クロック	⑱	T.M.D.S データ 0+
	⑦	DDC データ	⑲	T.M.D.S データ 0/5 シールド
	⑧	—	⑳	—
	⑨	T.M.D.S データ 1-	㉑	—
	⑩	T.M.D.S データ 1+	㉒	T.M.D.S クロック シールド
	⑪	T.M.D.S データ 1/3 シールド	㉓	T.M.D.S クロック+
	⑫	—	㉔	T.M.D.S クロッカー

映像機器との接続 (例)



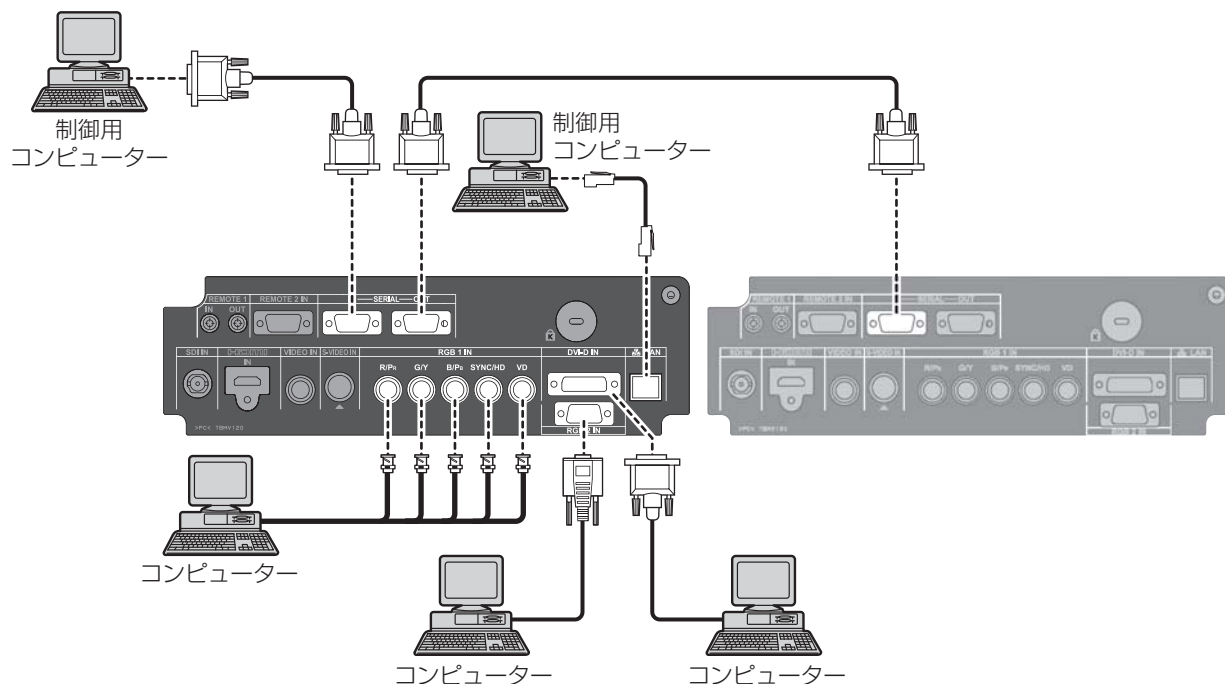
お願い

- ビデオデッキを接続するときは、必ずタイムベースコレクター (TBC) 内蔵のものを使用するか、または本機とビデオデッキの間にタイムベースコレクター (TBC) を使用してください。
- バースト信号が非標準の信号を接続すると、映像が乱れる場合があります。その場合は本機との間にタイムベースコレクター (TBC) を接続してください。

お知らせ

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合していることを確認してご使用ください。HDMI 規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しない場合があります。また、HDMI の 1080p 信号を接続するときは、1080p 信号に対応したケーブルを使用してください。
- HDMI 入力端子は HDMI/DVI 変換ケーブルを使用することで、DVI 端子がある外部機器とも接続することができますが、一部の機器では、映像がでないなど正常に動作しない場合があります。(☞ 69 ページ)
- DVI-D 入力端子は HDMI および DVI-D 対応機器との接続ができますが、一部の機器では映像がでないなど、正常に動作しない場合があります。(☞ 68 ページ)

コンピューターとの接続 (例)



お知らせ

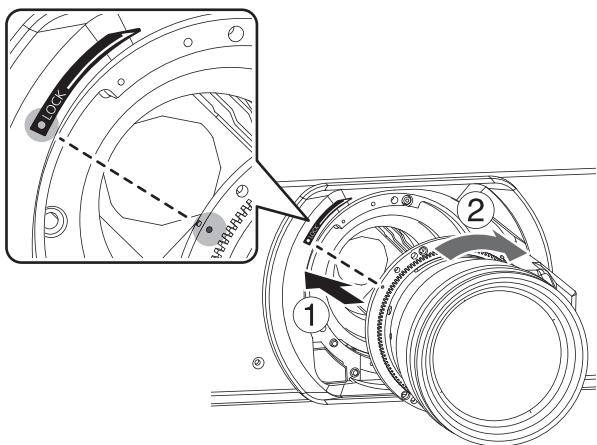
- DVI-D 入力端子はシングルリンクのみ対応しています。
- 本機が投写できるコンピューターからの RGB 信号は、『対応信号リスト』(☞ 116 ページ) を参照してください。
- レジューム機能 (ラストメモリー) を持つコンピューターを使用される場合は、その機能をリセットしないと動作しない場合があります。
- SYNC ON GREEN 信号入力時には SYNC/HD、VD 端子へ同期信号を入力しないでください。
- DVI-D 入力時は、接続する機器によって EDID 設定が必要になる場合があります。(☞ 68 ページ)
- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合していることを確認してご使用ください。HDMI 規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しない場合があります。また、HDMI で 1 080p 信号を入力するときは、1 080p 信号に対応したケーブルを使用してください。
- HDMI 入力端子は HDMI/DVI 変換ケーブルを使用することで、DVI 端子がある外部機器とも接続することができますが、一部の機器では、映像がでないなど正常に動作しない場合があります。(☞ 69 ページ)

投写レンズ（別売品）の取り付け / 取り外し方

投写レンズの交換や取り外しの際は、あらかじめレンズ位置をホームポジションに移動させておいてください。
(▶ 41 ページ)

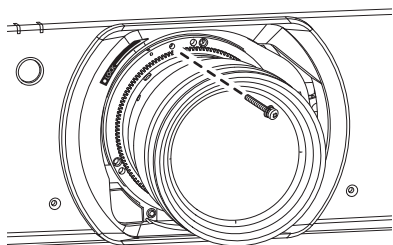
投写レンズの取り付け方

- 1) 投写レンズの目印（橙色）を、本体の目印（LOCK の左側にある○）に合わせて差し込み、「カチッ」と音がするまで時計方向に回す



- 2) 付属の「レンズ落下防止ねじ」※ で、投写レンズを固定する

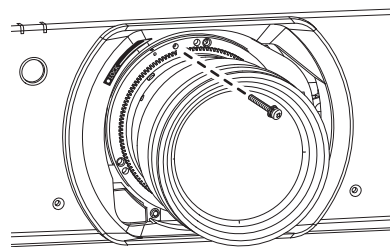
- 投写レンズの目印（橙色）の右側にある、1つ目のねじ穴にプラスドライバーで固定してください。



投写レンズの取り外し方

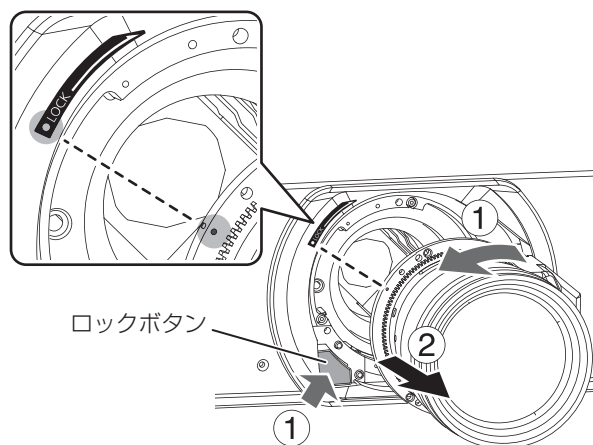
- 1) 「レンズ落下防止ねじ」※ を取り外す

- 投写レンズの目印（橙色）の右側にある、1つ目のねじをプラスドライバーで取り外してください。



- 2) 「ロックボタン」を押しながら投写レンズを反時計方向に回し、抜き取る

- 投写レンズの目印（橙色）が、本体の目印（LOCK の左側にある○）に合うまで反時計方向に回してください。



※: レンズによっては、投写レンズ固定用のねじ穴がない場合があります。

お願い

- 投写レンズの信号接点には指を触れないようにしてください。ほこりや汚れなどにより、接触不良の原因になることがあります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
- 取り外した投写レンズは振動や衝撃を与えないように、レンズカバーを取り付けのうえ保管してください。
- 投写レンズを反時計方向に回して、抜けないことを確認してください。
- 投写レンズを取り付ける前に、本体に付いている防塵スポンジと投写レンズに付いている本体側のレンズカバーを取り外してください。

電源を入れる / 切る

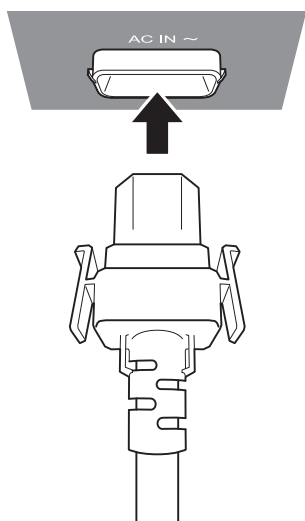
電源コードを接続する

電源コードの抜けを防止するため、付属の電源コードを使用して、本体に根元まで確実に差し込んで固定してください。

主電源〈MAIN POWER〉スイッチが“○”側（オフ）になっていることを確認してから、電源コードを接続してください。

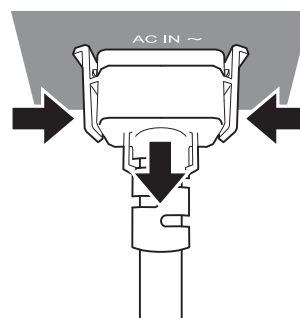
■取り付け方

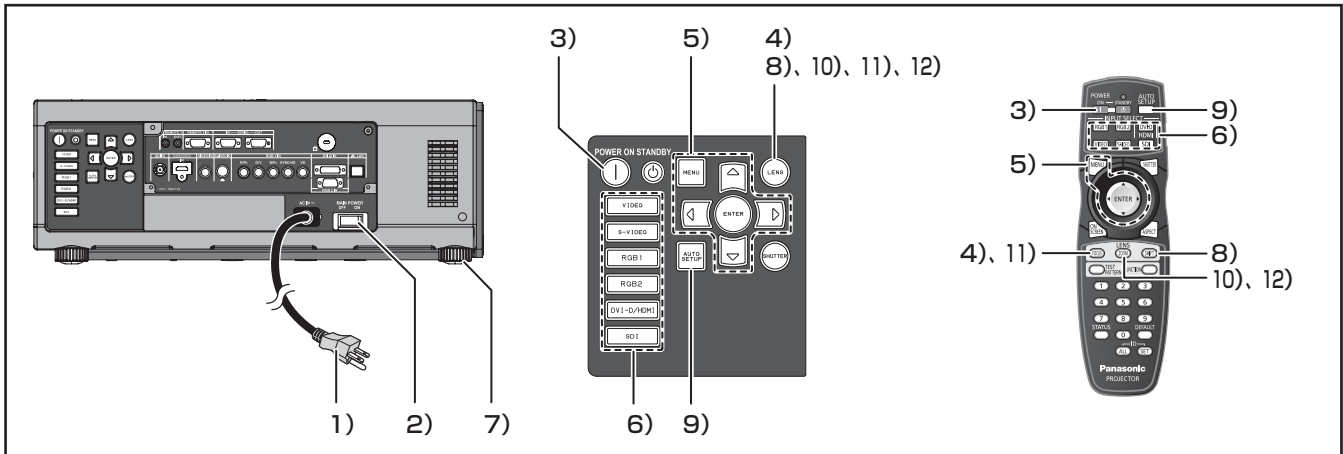
左右のつめが“カチッ”と音がするまで、しっかりと差し込む



■取り外し方

横のつまみを押しながら引き抜く





電源を入れる

電源を入れる前に投写レンズを取り付けてください。
(☞ 35 ページ)

あらかじめレンズカバーを外してください。

- 1) 電源プラグをコンセントに接続する
(AC100 V 50 Hz/60 Hz)
- 2) 主電源〈MAIN POWER〉スイッチの“|”側を押して電源を入れる
しばらくすると〈電源モニター〉が赤色に点灯してスタンバイ状態になります。
- 3) 電源入〈POWER ON (|)〉ボタンを押す
〈電源モニター〉が緑色に点灯し、しばらくすると映像が投写されます。

お知らせ

- 0℃付近での電源「入」は出画までに5分程度のウォームアップ時間が必要な場合があります。ウォームアップ中は〈温度モニター〉が点灯します。ウォームアップが完了すると〈温度モニター〉が消灯し、映像を投写します。モニターランプの詳細は、101ページを参照してください。
- 使用環境温度が低く、ウォームアップ時間が5分を超える場合は異常とみなし、自動的に電源を「スタンバイ状態」にします。この場合は使用環境温度を0℃以上にして、再度主電源〈MAIN POWER〉スイッチ「切」→「入」の操作を行ってください。
- 「プロジェクターセットアップ」メニューの「スタンバイモード」(☞ 76 ページ)で「エコ」に設定している場合は「ノーマル」に設定しているときと比べて、出画までにかかる時間が約10秒増加することがあります。
- フィルターが取り付けられていない場合は、10分後に電源が自動的に切れます。
- 前回使用時にダイレクトパワーオフ機能を使用して終了した場合は、主電源〈MAIN POWER〉スイッチを“|”側(オン)にすると投写を開始します。

調整・選択をする

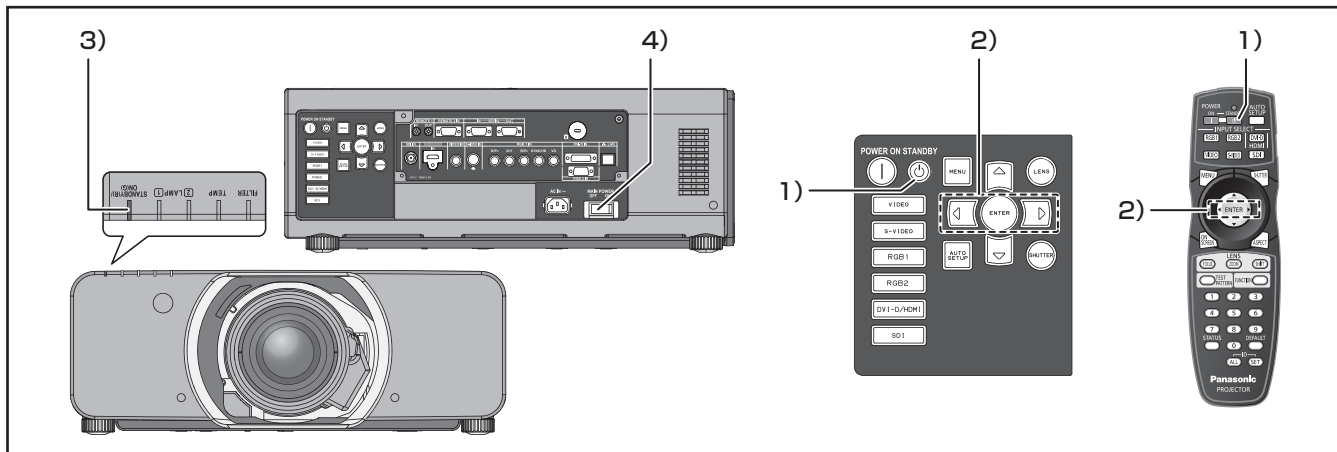
フォーカス調整は、映像を映した状態で30分以上経過したのちに行うことをお勧めします。

- 4) 〈FOCUS〉ボタンを押して、画像のフォーカスをおおまかに合わせる
(☞ 39 ページ)
- 5) 「設置設定」と「ファン制御」で投写方式を設定する
- 6) 〈INPUT SELECT〉(〈RGB1〉、〈RGB2〉、〈DVI-D/HDMI〉、〈VIDEO〉、〈S-VIDEO〉、〈SDI〉)ボタンを押して入力信号を選択する
(SDI入力はPT-DZ8700、PT-DS8500のみ)
- 7) 本体の前後左右の傾きをアジャスター脚で調整する
- 8) 〈SHIFT〉ボタンを押して画像の位置を調整する
- 9) 入力信号がRGB信号の場合は〈AUTO SETUP〉ボタンを押す
- 10) 〈ZOOM〉ボタンを押して、画像の大きさをスクリーンに合わせる
- 11) 再度、〈FOCUS〉ボタンでフォーカスを調整する
- 12) 再度、〈ZOOM〉ボタンでズームを調整して画像の大きさをスクリーンに合わせる

お知らせ

- 表示されている調整メニューが色で判別できるように、「レンズフォーカス」のみメニューが黄色で表示されます。

電源を入れる / 切る (つづき)



電源を切る

- 1) 電源〈STANDBY (⏻)〉ボタンを押す
- 2) ◀▶ボタンで「実行」を選び、〈ENTER〉ボタンを押す(または、電源〈STANDBY (⏻)〉ボタンを再度押す)
映像の投写が停止し、本体の〈電源モニター〉がオレンジ色に点灯します。
(冷却ファンは回転したままです。)
- 3) 本体の〈電源モニター〉が赤色に点灯(冷却ファンが停止)するまで待つ
- 4) 主電源〈MAIN POWER〉スイッチの“○”側を押して電源を切る

お知らせ

- 電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。
電源を切ったあとの光源ランプ冷却中に電源を入れても点灯しないことがあります。この場合は〈電源モニター〉が赤色に点灯してから、電源を入れ直してください。ランプの温度が高い状態で電源を入れるとランプの寿命を早めるおそれがあります。
- 本体の主電源「入」状態で、リモコンで電源「切」にした場合、約6Wの電力を消費しています。
(スタンバイモード「ノーマル」時)

ダイレクトパワーオフ機能

万一、停電になった場合や電源を切った直後に電源コードを抜いてしまった場合でも、内部に蓄えられた電力により冷却ファンが動作し、冷却を行います。

お知らせ

- ダイレクトパワーオフで冷却した場合、投写状態になるまで通常よりも時間がかかる場合があります。
- 冷却ファンが動作しているときは、箱や袋に入れないでください。
- ダイレクトパワーオフ機能を使用して終了した場合は、主電源〈MAIN POWER〉スイッチを“|”側(オン)にすると投写を開始します。

投写する

外部機器の接続、投写レンズの取り付け（☞ 35 ページ）、電源コードの接続（☞ 36 ページ）を確認し、電源を入れる（☞ 37 ページ）と投写を開始します。投写する映像を選択し、映像の映り具合を調整してください。

投写する映像を選択する

映像の入力を切り換える。

〈INPUT SELECT〉（〈RGB1〉、〈RGB2〉、〈DVI-D/HDMI〉、〈VIDEO〉、〈S-VIDEO〉、〈SDI〉）ボタンで選択した映像が投写されます。（☞ 44 ページ）

お願い

- 接続機器や再生する DVD、ビデオテープなどによっては、正常に映像が映らない場合があります。「映像」メニューの「システムセクター」（☞ 54 ページ）で入力信号に合ったシステム方式に設定してください。
- 投写するスクリーンと映像の縦横比を確認し、「位置調整」メニューの「アスペクト」（☞ 56 ページ）で最適な縦横比に切り換えてください。

フォーカス調整、ズーム調整、シフト調整のしかた

本機とスクリーンの位置関係が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像や位置がずれている場合は、フォーカス、ズーム、シフトを調整してください。

■ 本体で操作する場合

- 1) 本体操作部の〈LENS〉ボタンを押す
 - ボタンを押すごとに「レンズフォーカス」「レンズズーム」「レンズシフト」の順に設定画面が切り換わります。
- 2) それぞれの調整項目を選び、▲▼◀▶ボタンで調整する

■ リモコンで操作する場合

- 1) リモコンの〈LENS〉（〈FOCUS〉、〈ZOOM〉、〈SHIFT〉）ボタンを押す
 - 〈FOCUS〉ボタンを押す：フォーカス調整をします。
 - 〈ZOOM〉ボタンを押す：ズーム調整をします。
 - 〈SHIFT〉ボタンを押す：シフト調整をします。
- 2) それぞれの調整項目を選び、▲▼◀▶ボタンで調整する



注意

■ レンズシフト動作中は、レンズ周辺の開口部に手を入れない



指に注意

手をはさみ、けがの原因になることがあります。

お知らせ

- ズーム機能のないレンズを使用した場合、ズームの調整メニューは表示されません。
- ET-D75LE5 はシフトをホームポジションにして使用してください。
- 約 7 秒以上▲▼◀▶ボタンを押し続けると、速く動作させることができます。
- フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをお勧めします。
- フォーカス調整、シフト調整中に電源が切れた場合、次回電源を入れたときにレンズキャリブレーションを行う必要があります。
- フォーカス調整中に主電源が切れた場合、次回フォーカス調整時にキャリブレーションを自動で行います。
- シフト調整中に主電源が切れた場合、次回シフト調整時にレンズキャリブレーションのエラー画面が表示されます。メニューから「レンズキャリブレーション」を実行してください。（☞ 80 ページ）
- レンズキャリブレーションを実行してもレンズキャリブレーションのエラー画面が表示される場合は、販売店に修理をご依頼ください。

レンズ位置移動による (光学シフト) 調整範囲

レンズ位置の移動は調整範囲内で行ってください。調整範囲外へレンズ位置を移動すると、光学部品を保護するためレンズの移動に規制がかかり、フォーカスも変化します。

光軸シフト機能により、標準投写位置を基準に下図の範囲で投写位置を調整できます。

投写レンズ品番	ズームレンズ	
	ET-D75LE6	ET-D75LE1、ET-D75LE2、ET-D75LE3、 ET-D75LE4、ET-D75LE8、ET-D75LE10、 ET-D75LE20、ET-D75LE30
PT-DZ8700		
PT-DS8500		
PT-DW8300		

お知らせ

- ET-D75LE5 は固定焦点のため、シフト調整できません。

レンズ位置のホームポジションへの移動方法

- 1) 本体操作部の〈LENS〉ボタンまたはリモコンの〈SHIFT〉ボタンを3秒以上押す
- 2) 「ホームポジション」メニューが表示されている間に(約5秒)〈ENTER〉ボタンを押す

レンズ
ホームポジション
[ENTER] 実行
[MENU] 中止

- メニューに「実行中」と表示され、レンズ位置がホームポジションに戻ります。

お願い

- レンズのホームポジションは、レンズ交換やセット収納のためのレンズ位置で、光学的な画面中央位置ではありません。

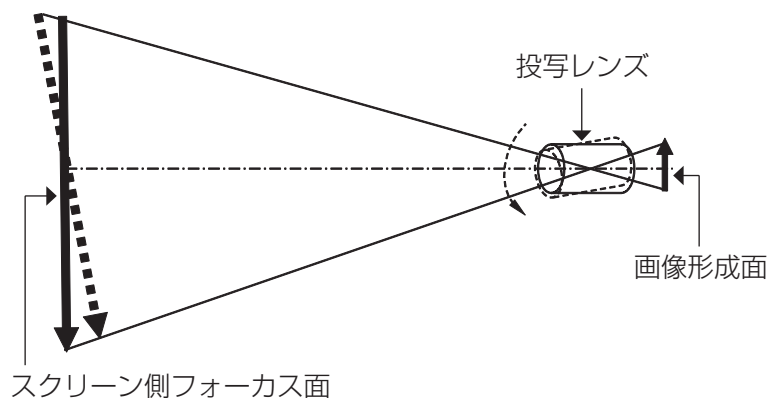
フォーカスアンバランス時のレンズマウンター調整方法

■フォーカスバランスについて

●レンズの傾きとスクリーン側フォーカス面との関係

画像形成面に対して投写レンズに傾きがある場合、図1の例で示すように投写レンズの前側(スクリーン側)が下方方向に傾くと(点線矢印方向)、スクリーン側のフォーカス面は上側がスクリーンの奥側に、下側がスクリーンの手前側に傾きます。

図1 レンズの傾きの影響説明図



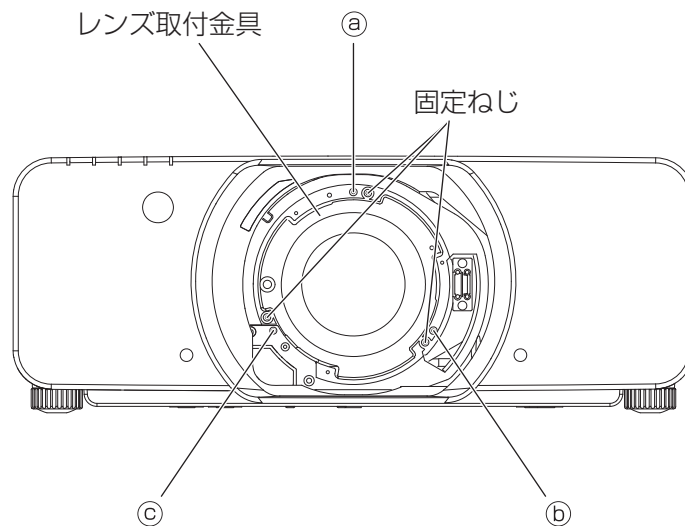
■ フォーカスバランス調整方法 (レンズマウンターによる傾き調整)

レンズフォーカス調整を行っても、スクリーン全面が均一にならない場合の補正機能として、本機のレンズマウンターには3か所のフォーカス調整ねじがあります。

● レンズマウンターの構造

フォーカス調整ねじ①, ②, ③は、回転させることによってレンズ取付金具を前後に動かすことができます。また、固定ねじは、締めつけることによって、レンズ取付金具が動かないようにロックする役割があります。

図2 レンズマウンター前面図 (スクリーン側から見た図)



(フォーカス調整ねじ①、②、③はレンズ装着状態で調整します。)

質量の重いレンズや傾斜設置などではレンズに傾きが発生する場合があります、フォーカスがアンバランスとなります。そのような場合は、図 3 および下表の調整例を参照のうえ、以下の手順により調整を行ってください。

● 調整手順

- ① リモコンでフォーカス調整モードとし、▼ボタンでいったん画面全体のフォーカスをずらす。
- ② ▲ボタンで画面のいずれかの場所で最初にジャストフォーカスになる所で止める。
この状態でフォーカスがずれている場所は、ジャストフォーカス点がスクリーンの奥側にあります。
- ③ フォーカスが最もずれている場所 (②でジャストフォーカス点が最も奥側にずれている場所) と相対する位置にある固定ねじを 2 回転までゆるめる。(図 3 参照)

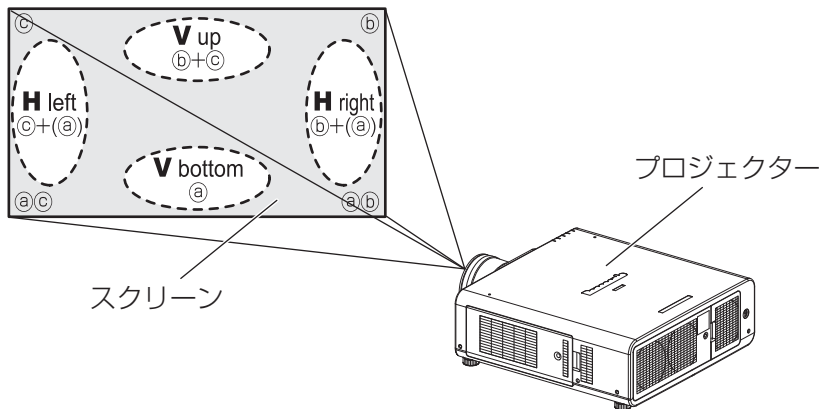
お願い

- 調整する箇所は 2 か所までで、少なくとも 1 か所は右回転いっぱいの状態としてください。
- ④ 下表で該当する箇所のフォーカス調整ねじを、少しずつ左に回してフォーカスが合う所で止める。
(☞ 42 ページ)
左に回すとマウンターのレンズ取付金具が前方 (スクリーン側) に移動することによってレンズの傾きが変わり (図 1 参照)、スクリーン上の投写画像では調整ねじと反対方向のフォーカス点がスクリーンの奥側から手前側に移動します。
- ⑤ レンズの傾きを変化させたことによって、スクリーン面に対する投写画像の画面位置も変化するので、リモコンでレンズシフト調整モードにして最適位置に戻す。
- ⑥ 画面中心付近で再びフォーカス調整を行って、まだ不十分な場合は調整ねじの回転量をさらに微調整する。
- ⑦ 調整ができたならゆるめた固定ねじを締めつける。
- ⑧ 再度、リモコンでフォーカスを調整して完了する。

使用工具：六角ドライバーまたは六角レンチ (対角 2.5 mm)

ET-D75LE6、ET-D75LE8 のオプションレンズには六角レンチが付属しています。

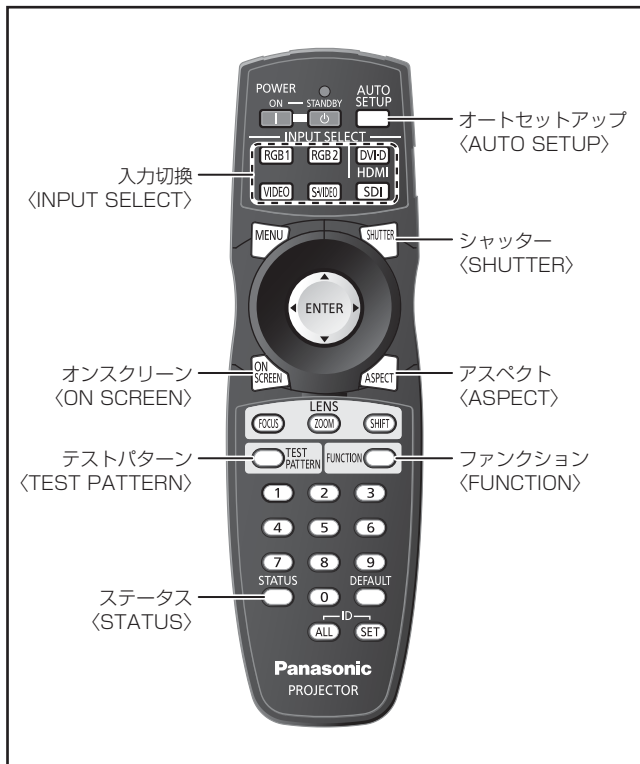
図 3 調整箇所と調整ねじとの関係



調整箇所：
ジャストフォーカス点がスクリーンよりも奥側にある所

	V up でスクリーンのジャストフォーカス点がスクリーンの奥側にある場合	V bottom でスクリーンのジャストフォーカス点がスクリーンの奥側にある場合	H left でスクリーンのジャストフォーカス点がスクリーンの奥側にある場合	H right でスクリーンのジャストフォーカス点がスクリーンの奥側にある場合
①	左回転	——	——	——
②	——	左回転	左回転	——
③	——	左回転	——	左回転

リモコンで操作する



入力信号を切り換える

投写する入力信号を切り換えることができます。



リモコンまたは本体操作部の〈INPUT SELECT〉(〈RGB1〉、〈RGB2〉、〈DVI-D/HDMI〉、〈VIDEO〉、〈S-VIDEO〉、〈SDI〉) ボタンを押す

RGB1	RGB1 に入力を切り換えます
RGB2	RGB2 に入力を切り換えます
DVI-D/HDMI	DVI-D または HDMI に入力を切り換えます すでにいずれかの入力を選択されている場合は、もう一方の入力に切り換えます
VIDEO	VIDEO に入力を切り換えます
S-VIDEO	S-VIDEO に入力を切り換えます
SDI *	SDI に入力を切り換えます

※: SDI 入力は PT-DZ8700、PT-DS8500 のみ

ステータス機能を使う

本体の状態を表示することができます。



リモコンの〈STATUS〉ボタンを押す

- 「ステータス」画面が表示されます。

ステータス		1/3
入力	RGB2	
信号名	SXGA60+-A1	
信号周波数	65.22k Hz/59.99Hz	
プロジェクター使用時間	1h	
ランプ1	11h / ON /	
ランプ2	1h / ON /	
吸気温度	31°C / 87°F	
光学モジュール温度	27°C / 80°F	
ランプ周辺温度	31°C / 87°F	

お知らせ

- 「プロジェクターセットアップ」メニューから表示させることもできます。(P.49 ページ)

シャッター機能を使う

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像を一時的に消すことができます。



1) リモコンまたは本体操作部の〈SHUTTER〉ボタンを押す

- 映像が消えます。

2) 再度〈SHUTTER〉ボタンを押す

- 映像がでます。

お知らせ

- シャッター中は〈電源モニター〉が点滅します。

オンスクリーン表示機能を使う

オンスクリーン表示の表示 (オン) / 非表示 (オフ) を切り換えることができます。



リモコンの〈ON SCREEN〉ボタンを押す

オートセットアップ機能を使う

コンピューター信号のようなドット構成されたアナログ RGB 信号入力時の解像度、クロックフェーズ、映像位置、または DVI-D/HDMI 信号入力時の映像位置を自動で調整することができます。自動調整時は、最外郭が明るい白枠で、白黒がはっきりしたキャラクター文字などを含む画像を入力することをお勧めします。
写真や CG のような中間調を含む画像は適しません。



リモコンまたは本体操作部の〈AUTO SETUP〉ボタンを押す

- 正常に終了した場合は「正常終了」と表示されます。

お知らせ

- 正常終了した場合でもクロックフェーズがずれることがあります。このときはメニュー項目の「クロックフェーズ」で調整してください。詳しくは、『「位置調整」について』の「クロックフェーズ」(P.58)をご覧ください。
- 画面の端がわからないような画像や暗い画像を入力すると、「異常終了」となったり、「正常終了」と表示されても正しく調整できていなかったりすることがあります。このときは『「アドバンスドメニュー」について』の『入力解像度』(P.61)、『「位置調整」について』の『シフト』、『クロックフェーズ』(P.56、58)を参照し、調整してください。
- 特殊な信号は、『「表示オプション」について』の『自動調整』(P.67)を参照し、調整してください。
- コンピューターの機種によっては自動調整できない場合があります。
- コンポジットシンクや G-SYNC の同期信号では自動調整できない場合があります。
- 自動調整中、数秒間画像が乱れる場合がありますが異常ではありません。
- 入力信号ごとに調整が必要です。
- 自動調整中に〈MENU〉ボタンを押すと、自動調整を取り消すことができます。
- オートセットアップが可能な RGB 信号であっても動画映像が入力されている状態でオートセットアップを行うと、「異常終了」となったり、「正常終了」と表示されても正常に調整できていなかったりすることがあります。

ファンクションボタンを使う

リモコンの〈FUNCTION〉ボタンに「無効」、「サブメモリー」、「システムセクター」、「システムデライトビュー」、「フリーズ」、「P IN P」、「波形モニター」を割り当てることで、簡単なショートカットボタンとして使用できます。

FUNCTION ボタン

リモコンの〈FUNCTION〉ボタンを押す

お知らせ

- 「波形モニター」は PT-DZ8700 のみ設定ができます。
- 詳しくは、『「プロジェクターセットアップ」について』の『ファンクションボタン』(P.79)をご覧ください。

内蔵テストパターンを表示する

セットの状態を確認するために、9種類の内蔵テストパターンを表示させることができます。テストパターンを表示させる場合は次の手順で操作してください。

TEST PATTERN ボタン

1) 〈TEST PATTERN〉ボタンを押す

2) ◀▶ ボタンでテストパターンを選択する

お知らせ

- オンスクリーンメニューでも設定できます。詳しくは、『「テストパターン」について』(P.83)をご覧ください。
- 位置、サイズなどの調整内容はテストパターンには反映されません。必ず入力信号を表示させた状態で各種設定を行ってください。

映像の縦横比を切り換える

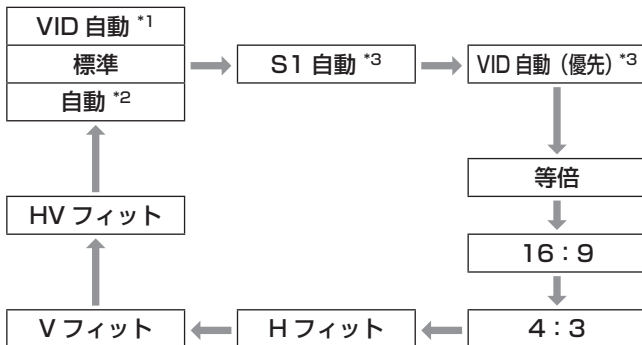
入力に応じて映像の縦横比（アスペクト比）を切り換えることができます。



ボタン

〈ASPECT〉 ボタンを押す

- 押すごとに下記のように切り換わります。



- *1: VIDEO、S-VIDEO (NTSC) 入力時のみ
- *2: RGB1、RGB2 (480i、480p) 入力時のみ
- *3: S-VIDEO (NTSC) 入力時のみ

お知らせ

- 入力信号によっては、選択できないアスペクトモードがあります。
詳しくは、『「位置調整」について』の『アスペクト』(56 ページ) をご覧ください。

オンスクリーンメニューについて

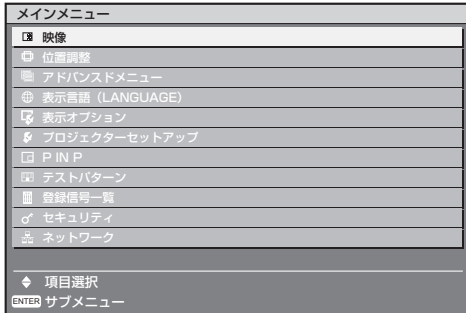
本機の各種設定や調整は、オンスクリーンメニューを使用します。

メニュー画面の操作方法

■ 操作の手順

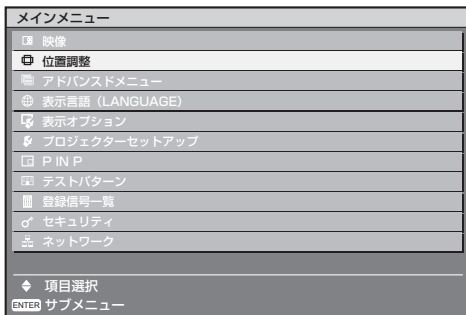
1) 〈MENU〉 ボタンを押す

「メインメニュー」画面が表示されます。



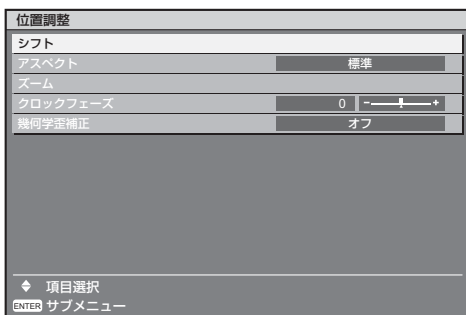
2) ▲▼ ボタンを押してメインメニュー項目を選ぶ

選択中の項目は黄色のカーソルで表示されます。



3) 〈ENTER〉 ボタンを押して決定する

選択したメニュー項目の詳細が表示されます。



4) ▲▼ ボタンを押して項目を選択し、◀▶ ボタンを押して設定の切り換えや調整を行う

項目によって◀▶ボタンを押すと下図のようなバースケールの個別調整画面が表示されます。



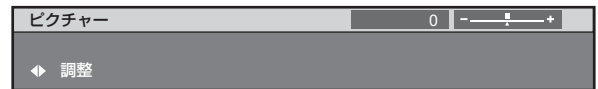
お知らせ

- メニュー画面を表示中に〈MENU〉ボタンを押すと、ひとつ前の階層メニュー画面に戻ります。
- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が灰色文字で表示され、項目は選択できません。
- 約5秒間何も操作をせずに放置していると、個別調整画面は自動で消えます。
- メニューの項目については48、49ページをご覧ください。

■ 調整値を工場出荷時の状態に戻す

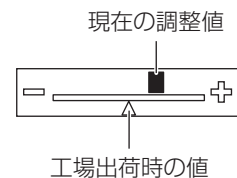
リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押すと、メニュー項目で調整した値が工場出荷時の状態に戻ります。

DEFAULT
を押す



お知らせ

- すべての設定を一度に工場出荷時の状態には戻せません。サブメニュー項目で調整した値を、一度に工場出荷時の状態に戻すには、『「プロジェクターセットアップ」について』の『初期化』(P.81ページ)をご覧ください。
- 〈DEFAULT〉ボタンを押しても、工場出荷時の状態に戻らない項目もあります。それらの項目は個別に操作してください。
- 個別調整画面のバースケールの下にある三角マークは、工場出荷時の値を示しています。また、三角マークは、入力される信号によって位置が異なります。



オンスクリーンメニューについて (つづき)

メインメニュー

メインメニューには以下の 11 項目があります。
メインメニューを選択すると、サブメニューの選択画面に移ります。

	映像
	位置調整
	アドバンスドメニュー
	表示言語 (LANGUAGE)
	表示オプション
	プロジェクターセットアップ
	P IN P
	テストパターン
	登録信号一覧
	セキュリティ
	ネットワーク

サブメニュー

選択したメインメニューのサブメニュー項目が表示され、各項目の設定・調整ができます。

■映像 []

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
映像モード	スタンダード	50
ピクチャー	0	50
黒レベル	0	51
色の濃さ	0	51
色あい	0	51
色温度設定	デフォルト	51
ガンマ選択	デフォルト	52
システムデイルイトビュー	オフ	53
シャープネス	6	53
ノイズリダクション	2	53
ダイナミックアイリス	2	53
システムセレクター	YPbPr *1	54

お知らせ

- 映像モードによって工場出荷時の値が異なる場合があります。

■位置調整 []

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
シフト	—	56
アスペクト	標準 *1	56
ズーム	—	57
クロックフェーズ	32	58
幾何学歪補正 *2	オフ	58
台形補正 *3	—	59

■アドバンスドメニュー []

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
デジタルシネマリアリティー	自動 *1	60
ブランキング	—	60
入力解像度	—	61
クランプ位置	24 *1	61
エッジブレンディング	オフ	61
フレーム遅延	標準	63
ラスターポジション	—	63

■表示言語 (LANGUAGE) [🌐]

項目の詳細 (👁️ 64 ページ)

■表示オプション [🔧]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
カラーマッチング	オフ	65
大画面色補正	オフ	66
スクリーン設定 *2	—	66
波形モニター *4	オフ	66
入力自動セットアップ	オフ	67
自動調整	—	67
RGB IN	—	68
DVI-D IN	—	68
HDMI IN	—	69
SDI IN *2	—	69
オンスクリーン表示	—	69
バックカラー	ブルー	70
スタートアップロゴ	ロゴ2	70
フリーズ	—	70

■プロジェクターセットアップ [🔧]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
プロジェクター ID	オール	71
設置設定	フロント/ 床置	71
高地モード	オフ	71
ファン制御	床置設置	72
ランプ選択	デュアル	72
ランプリレー	オフ	72
ランプ出力	高	73
輝度コントロール	—	73
スタンバイモード	ノーマル	76
スケジュール	オフ	77
RS-232C	—	77
ステータス	—	78
無信号自動オフ	無効	79
REMOTE2 端子モード	標準	79
ファンクションボタン	—	79
日付と時刻	—	80
レンズキャリブレーション	—	80
フィルター残量リセット	—	80
全ユーザーデータ保存	—	81
全ユーザーデータロード	—	81
初期化	—	81
サービスパスワード	—	81

■PINP [🔑]

項目の詳細 (👁️ 82 ページ)

■テストパターン [🖨️]

項目の詳細 (👁️ 83 ページ)

■登録信号一覧 [📺]

項目の詳細 (👁️ 84 ページ)

■セキュリティ [🔒]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
セキュリティパスワード	オフ	86
セキュリティパスワード変更	—	86
表示設定	オフ	86
テキスト変更	—	87
メニューロック	オフ	87
メニューロックパスワード	—	87
操作設定	—	87

■ネットワーク [🌐]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
ネットワーク設定	—	88
ネットワークコントロール	—	88
ネットワークステータス	—	88

お知らせ

- サブメニューの項目、および工場出荷時の値は、入力端子の選択により表示が異なります。

*1: 入力信号により異なります

*2: PT-DZ8700、PT-DS8500 のみ

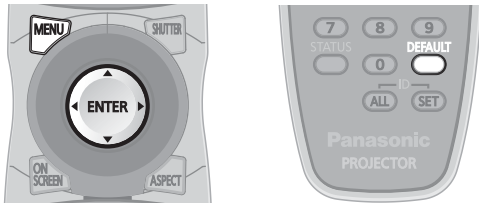
*3: PT-DW8300 のみ

*4: PT-DZ8700 のみ

「映像」について

『メニュー画面の操作方法』（P.47 ページ）のメインメニューから「映像」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら◀▶ボタンで調整してください。

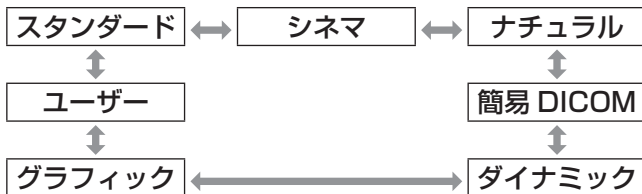


映像モード

ご覧になる映像や視聴環境に合わせて最適な映像モードに設定します。

- 1) ▲▼ボタンで「映像モード」を選択する
- 2) ◀▶ボタンで「映像モード」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



スタンダード	動画系全般に適した画像になります
シネマ	映画ソースに適した画像になります
ナチュラル	sRGB に準拠した画像になります
簡易 DICOM	DICOM Part 14 グレースケール規格に近い画像になります
ダイナミック	明るい場所で使用する場合に適した画像になります
グラフィック	コンピューター入力に適した画像になります
ユーザー	お好みの映像モードを設定できます

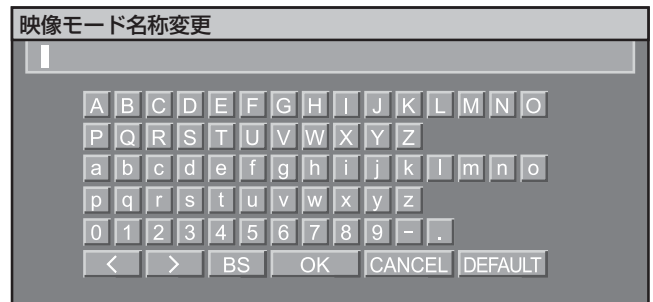
お知らせ

- 工場出荷時の映像モードは、RGB 系では「グラフィック」、動画系では「スタンダード」です。
- DICOM とは「Digital Imaging and COmmunication in Medicine」の略称で医療用画像機器のための規格です。DICOM の名称を用いていますが、本機は医療機器ではありませんので、表示画像を診断などの用途に使用しないでください。

- 「ユーザー」以外の各「映像モード」を選択した状態で〈ENTER〉ボタンを押すと、新規信号入力時の規定値として保存することができます。保存されるデータは「映像」メニュー内の「システムセクター」を除くすべての項目です。
- 工場出荷時の設定では、「ユーザー」は ITU-R BT.709 規格に準拠した画像に設定されています。

■「ユーザー」の名称を変更する場合

1. 手順 2) で「ユーザー」を選択する
2. 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「映像モード」詳細画面を表示します。
3. ▲▼ボタンで「映像モード名称変更」を選択する
4. 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「映像モード名称変更」画面を表示します。



5. ▲▼◀▶ボタンで文字を選び、〈ENTER〉ボタンを押して入力する
6. ▲▼◀▶ボタンで「OK」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - 映像モード名称が変更されます。

ピクチャー

色の明暗度を調整します。

- 1) ▲▼ボタンで「ピクチャー」を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「ピクチャー」個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	画面が明るく映像が濃くなります	最大値 31
◀ボタンを押す	画面が暗く映像が薄くなります	最小値 - 31

お願い

- 黒レベルを調整する必要がある場合には、「黒レベル」を先に調整してください。

黒レベル

画面の暗い部分（黒色）を調整します。

- 1) ▲▼ボタンで「黒レベル」を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「黒レベル」個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	画面の暗い部分（黒色）が明るくなります	最大値 31
◀ボタンを押す	画面の暗い部分（黒色）が暗くなります	最小値 - 31

色の濃さ

色の濃さを調整します。

- 1) ▲▼ボタンで「色の濃さ」を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「色の濃さ」個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	色が濃くなります	最大値 31
◀ボタンを押す	色が薄くなります	最小値 - 31

色あい

肌色の部分を調整します。

- 1) ▲▼ボタンで「色あい」を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「色あい」個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	色あいが変化し肌色が緑色がかかります	最大値 31
◀ボタンを押す	色あいが変化し肌色が赤紫色がかかります	最小値 - 31

色温度設定

映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に切り換えます。

- 1) ▲▼ボタンで「色温度設定」を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「色温度設定」個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンで「色温度設定」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



※:「映像モード」が「ユーザー」または「簡易DICOM」に設定されている場合、「デフォルト」は選択できません。

お知らせ

- 「カラーマッチング」(65 ページ)の調整が「オフ」以外に設定されている場合、色温度設定は「ユーザー 1」固定になります。
- 色温度の数値は目安です。

■さらにお好みのホワイトバランスに調整する場合

- 4) 手順 3) で「ユーザー 1」または「ユーザー 2」を選択する
- 5) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「色温度設定」画面を表示します。
- 6) ▲▼ボタンで「ホワイトバランス」を選択する
- 7) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「ホワイトバランス」画面を表示します。
- 8) ▲▼ボタンで「ホワイトバランス 高」または「ホワイトバランス 低」を選択する
- 9) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「ホワイトバランス 高」画面、または「ホワイトバランス 低」画面を表示します。
- 10) ▲▼ボタンで「赤」「緑」「青」を選択する
- 11) ◀▶ボタンでレベルを調整する

「映像」について (つづき)

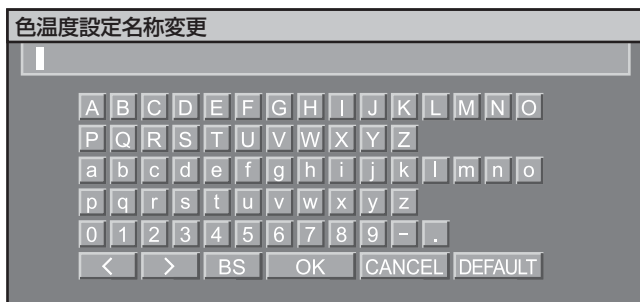
調整項目	操作	変化内容	調整範囲
赤	▶ ボタンを押す	赤色が強くなります	最大値 高：255 低：127
	◀ ボタンを押す	赤色が弱くなります	
緑	▶ ボタンを押す	緑色が強くなります	最小値 高：0 低：-127
	◀ ボタンを押す	緑色が弱くなります	
青	▶ ボタンを押す	青色が強くなります	出荷設定値 高：255 低：0
	◀ ボタンを押す	青色が弱くなります	

お知らせ

- 正しく調整しないと、すべての色が正常にでなくなります。調整が合わなくなった場合は、リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押すと、選択中の項目のみ工場出荷時の標準値に戻せます。
- 内蔵テストパターン (P.83 ページ) では「色温度設定」はできません。必ず入力信号を投写させた状態で「色温度設定」を行ってください。

■「ユーザー 1」または「ユーザー 2」の名称を変更する場合

1. 手順 3) で「ユーザー 1」または「ユーザー 2」を選択する
2. 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「色温度設定」画面を表示します。
3. ▲▼ボタンで「色温度設定名称変更」を選択する
4. 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「色温度設定名称変更」画面を表示します。

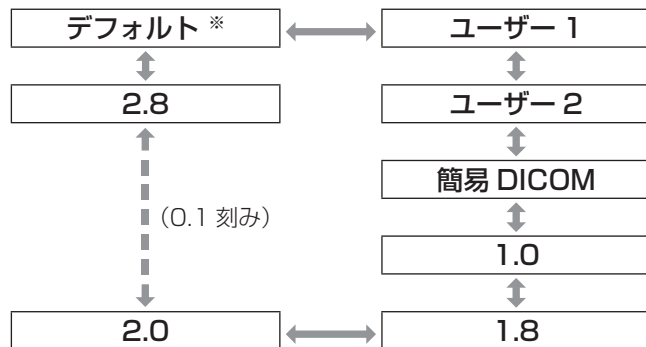


5. ▲▼◀▶ボタンで文字を選び、〈ENTER〉ボタンを押して入力する
6. ▲▼◀▶ボタンで「OK」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - 色温度設定名称が変更されます。

ガンマ選択

ガンマモードの切り換えをします。

- 1) ▲▼ボタンで「ガンマ選択」を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「ガンマ選択」個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンで「ガンマ選択」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



※: 「映像モード」が「ダイナミック」、「ユーザー」または「簡易 DICOM」に設定されている場合、「デフォルト」は選択できません。

お知らせ

- DICOM とは「Digital Imaging and COmmunication in Medicine」の略称で医療用画像機器のための規格です。本機は医療機器ではありません。表示画像は診断に使用しないでください。

■「ユーザー 1」または「ユーザー 2」の名称を変更する場合

1. 手順 3) で「ユーザー 1」または「ユーザー 2」を選択する
2. 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「ガンマ選択」画面を表示します。
3. ▲▼ボタンで「ガンマ選択名称変更」を選択する

4. 〈ENTER〉 ボタンを押す

- 「ガンマ選択名称変更」画面を表示します。



5. ▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、〈ENTER〉 ボタンを押して入力する

6. ▲▼◀▶ ボタンで「OK」を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

- ガンマ選択名称が変更されます。

システムデイトビュー

明るい照明下で映像を投写する場合でも、映像を最適な鮮やかさに補正します。

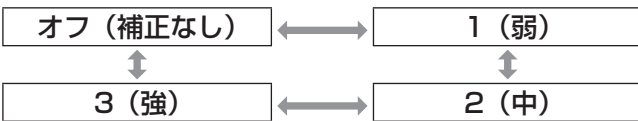
1) ▲▼ボタンで「システムデイトビュー」を選択する

2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- 「システムデイトビュー」個別調整画面を表示します。

3) ◀▶ボタンで「システムデイトビュー」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



シャープネス

映像のシャープ感を調整します。

1) ▲▼ボタンで「シャープネス」を選択する

2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- 「シャープネス」個別調整画面を表示します。

3) ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	輪郭がシャープになります	0 ~ 15
◀ボタンを押す	輪郭がやわらかくなります	

ノイズリダクション

入力された映像が劣化して、映像信号ノイズが発生している場合に切り換えます。

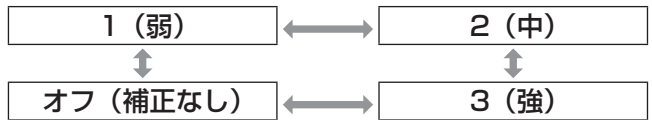
1) ▲▼ボタンで「ノイズリダクション」を選択する

2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- 「ノイズリダクション」個別調整画面を表示します。

3) ◀▶ボタンで「ノイズリダクション」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



お願い

- ノイズが少ない入力信号に対して設定すると、映像本来のイメージと違って見える場合があります。その際は「オフ」に設定してください。

ダイナミックアイリス

映像に合わせて自動的に絞り補正と信号補正を行うことで、最適なコントラストの画像にします。

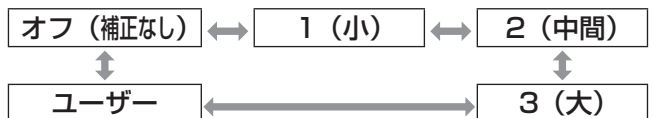
1) ▲▼ボタンで「ダイナミックアイリス」を選択する

2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- 「ダイナミックアイリス」個別調整画面を表示します。

3) ◀▶ボタンで「ダイナミックアイリス」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



■さらにお好みの補正量に調整したいとき

4) 手順 3) で「ユーザー」を選択する

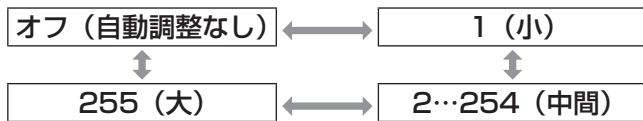
5) 〈ENTER〉ボタンを押す

- 「ダイナミックアイリス」画面を表示します。

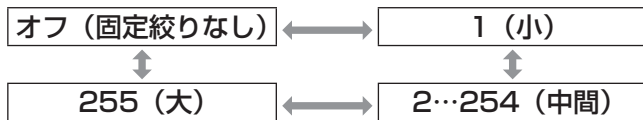
「映像」について (つづき)

- 6) ▲▼ボタンで調整したい項目を選択し、
◀▶ボタンで補正量を調整する

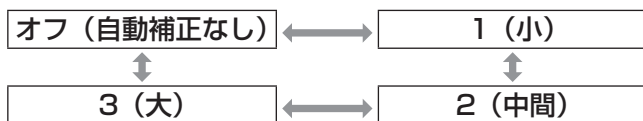
●オートアイリス (自動絞り量の調整)



●マニュアルアイリス (固定絞り量の調整)



●ダイナミックガンマ (信号補正量の調整)



お知らせ

- 「ダイナミックアイリス」を「3」に設定すると、コントラストは最大になります。

システムセクター

本機は入力信号を自動判別しますが、不安定な信号を入力する場合は、手動でシステム方式を設定します。入力信号に合ったシステム方式を設定してください。

- 1) ▲▼ボタンで「システムセクター」を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンでシステム方式を選択する
- 4) <ENTER> ボタンを押して決定する

■VIDEO/S-VIDEO 端子入力信号

自動、NTSC、NTSC4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、SECAM、PAL60 から選択します。

お願い

- 通常は「自動」に設定してください。
- それぞれのテレビの信号方式に設定を切り換えてください。日本国内ではNTSCの信号方式が使われています。

お知らせ

- 「自動」は、NTSC、NTSC4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、SECAM、PAL60の中から自動的に判別します。

■RGB1/RGB2 端子入力信号

- 480i、576i、576p 入力時
RGB、YCbCr から選択します。
- VGA60、480p 入力時
VGA60、480p、480pRGB から選択します。
- 上記以外の動画信号入力時
RGB、YPbPr から選択します。

お知らせ

- 対応する信号については、『対応信号リスト』(116 ページ) を参照してください。

■DVI-D 端子入力信号

- 480p、576p 入力時
RGB、YCbCr から選択します。
- 上記以外の動画信号入力時
RGB、YPbPr から選択します。

お知らせ

- 対応する信号については、『対応信号リスト』(116 ページ) を参照してください。
- 接続する一部の機器では、正常に動作しない場合があります。

■HDMI 端子入力信号

- 480p、576p 入力時
自動、RGB、YCbCr から選択します。
- 上記以外の動画信号入力時
自動、RGB、YPbPr から選択します。

お知らせ

- 対応する信号については、『対応信号リスト』(116 ページ) を参照してください。
- 接続する一部の機器では、正常に動作しない場合があります。

■SDI 端子入力信号

(PT-DZ8700、PT-DS8500 のみ)

- 自動、1 080/60i、1 035/60i、720/60p、1 080/24p、1 080/50i、1 080/30p、1 080/25p、1 080/24sF、720/50p、480i、576i から選択します。

お知らせ

- 対応する信号については、『対応信号リスト』(116 ページ) を参照してください。

sRGB に準拠した映像にするには

sRGB とは、IEC (International Electrotechnical Commission) で定められた色再現国際規格 (IEC61966-2-1) です。

sRGB に準拠した、より忠実な色を再現させたい場合は、下記の手順で設定を行います。

1) 「カラーマッチング」の調整を「オフ」に設定する

- 『カラーマッチング』 (P.65 ページ) を参照してください。

2) 「映像」メニューを表示する

- 『「映像」について』 (P.50 ページ) を参照してください。

3) ▲▼ボタンで「映像モード」を選択する

4) ◀▶ボタンで「ナチュラル」に設定する

5) ▲▼ボタンで「色の濃さ」を選択する


6) リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押し、工場出荷値にする

7) 「色あい」「色温度設定」「ガンマ選択」も、手順 5) ~ 6) にしたがって工場出荷値にする

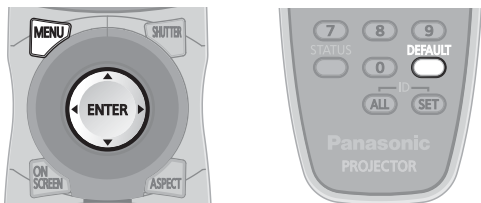
お知らせ

- RGB 信号入力時のみ、sRGB に対応します。

「位置調整」について

『メニュー画面の操作方法』（ 47 ページ）のメインメニューから「位置調整」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶▲▼ ボタンで調整してください。

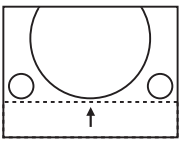
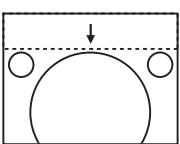


シフト

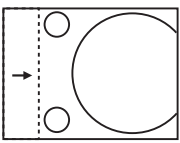
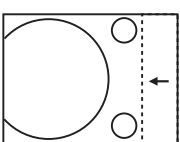
本機とスクリーンの関係位置が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像位置がずれている場合に、上下左右に映像位置を移動します。

- 1) ▲▼ ボタンで「シフト」を選択する
- 2) ◀ENTER▶ ボタンを押す
 - 「シフト」画面を表示します。
- 3) ▲▼◀▶ ボタンで位置調整する


■ 垂直位置（上下）調整の場合

操作	変化内容
▲ ボタンを押す	映像位置が上へ移動します 
▼ ボタンを押す	映像位置が下へ移動します 

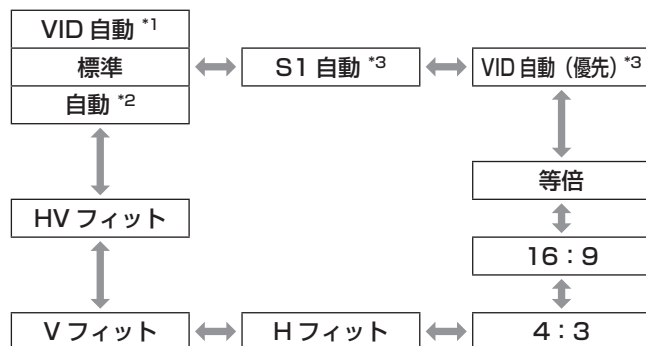
■ 水平位置（左右）調整の場合

操作	変化内容
▶ ボタンを押す	映像位置が右へ移動します 
◀ ボタンを押す	映像位置が左へ移動します 

アスペクト

映像の縦横比（アスペクト比）を切り換えます。「スクリーン設定」で選択したスクリーン範囲でアスペクトを切り換えます。「スクリーン設定」を先に設定してください。（ 66 ページ）

- 1) ▲▼ ボタンで「アスペクト」を選択する
- 2) ◀▶ ボタンまたは ◀ENTER▶ ボタンを押す
 - 「アスペクト」個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ ボタンで「アスペクト」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



- *1: VIDEO、S-VIDEO (NTSC) 入力時のみ
- *2: RGB1、RGB2 (480i、480p) 入力時のみ
- *3: S-VIDEO (NTSC) 入力時のみ

■ 標準

入力信号のアスペクト比のまま表示します。

■ VID 自動

映像信号に組み入れられたビデオ ID (VID) を識別し、4:3、16:9 の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。NTSC 信号入力時に有効です。

■ 自動

映像信号に組み入れられたビデオ ID (VID) を識別し、4:3、16:9 の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。480i/480p 信号入力時に有効です。

■ S1 自動

S1 信号を識別し、4:3、16:9 の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。S-VIDEO の NTSC 信号入力時に有効です。

■ VID 自動 (優先)

上記 VID、S1 信号を識別し、VID を検出した場合は VID に従い、VID を検出しない場合は S1 信号に従って 4:3、16:9 の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。S-VIDEO の NTSC 信号入力時に有効です。

■ 等倍

入力信号の解像度のまま表示します。

■ 16 : 9

標準信号入力時^{*4}は、アスペクト比を 16 : 9 に変換して表示します。ワイド信号入力時^{*5}は、入力アスペクト比のまま表示します。

■ 4 : 3

標準信号入力時^{*4}は、入力アスペクト比のまま表示します。ワイド信号入力時^{*5}は、「スクリーンフォーマット」で「4 : 3」を選択している場合、アスペクト比を 4 : 3 に変換して表示します。「スクリーンフォーマット」が「4 : 3」以外の場合、4 : 3 スクリーンに収まるように入力アスペクト比のまま縮小して表示します。

■ H フィット

「スクリーンフォーマット」で選択したスクリーン範囲の幅をすべて使って表示します。「スクリーンフォーマット」で選択されたスクリーンのアスペクトよりも縦長のアスペクト比を持つ信号は、画像の下が切れて表示されます。

■ V フィット

「スクリーンフォーマット」で選択したスクリーン範囲の高さをすべて使って表示します。

■ HV フィット

「スクリーンフォーマット」で選択したスクリーン範囲全体に映像を表示します。入力信号とスクリーン範囲のアスペクト比が異なる場合は、「スクリーンフォーマット」で選択されたスクリーンのアスペクトに変換して表示します。

- *4: 標準信号入力時とは、アスペクト比 4 : 3、5 : 4 の入力信号です。
- *5: ワイド信号入力時とは、アスペクト比 16 : 10、16 : 9、15 : 9、15 : 10 の入力信号です。

お知らせ

- 入力信号によっては選択できないサイズモードがあります。NTSC 信号の場合、標準は選択できません。
- 入力信号と異なるアスペクト比を選択すると、オリジナルの映像と見え方に差がでます。この点に注意して、アスペクト比を選択してください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、アスペクト調整、ズーム機能を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、注意してください。
- ワイド画面ではない従来（通常）の 4 : 3 の映像をワイド画面で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形したりして見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、4 : 3 の映像でご覧ください。

ズーム

画面サイズを調整します。

- 1) ▲▼ボタンで「ズーム」を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 「ズーム」画面を表示します。
- 3) ▲▼ボタンで「垂直」、「水平」を選択し
◀▶ボタンで調整する

■ 「アスペクト」の設定を「標準」にしている場合

- 1) ▲▼ボタンで「モード」を選択する
- 2) ◀▶ボタンで「モード」を切り換える

インターナル	「スクリーンフォーマット」で設定された工場出荷時のアスペクト領域内でサイズを拡大します
フル	「スクリーンフォーマット」で設定された表示エリアの全領域を使って拡大します

- 3) ▲▼ボタンで「連動」を選択する
- 4) ◀▶ボタンで「連動」を切り換える

オフ	「垂直」と「水平」のズーム比をそれぞれ設定します
オン	「水平垂直」でズーム比を設定します 垂直と水平を等倍で拡大することができます

お知らせ

- 「アスペクト」で「等倍」を選択した場合、ズーム調整は表示されません。
- 「アスペクト」で「標準」以外を選択した場合、「モード」切り換えは表示されません。

「位置調整」について (つづき)

クロックフェーズ

画像のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

- 1) ▲▼ボタンで「クロックフェーズ」を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「クロックフェーズ」個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンで調整する
 - 調整値は、0～63まで変化します。ノイズが少なくなるように調整してください。

お知らせ

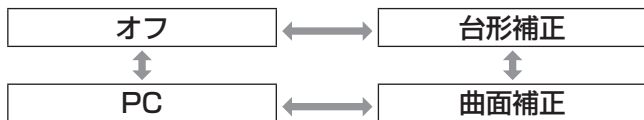
- 信号によって調整できない場合があります。
- 入力しているコンピューターの出力が不安定であると最適値がない場合があります。
- 総ドット数がずれていると最適値がない場合があります。
- 「クロックフェーズ」を調整することができるのは、RGB1、RGB2 入力で信号を入力した場合のみです。
- デジタル信号入力時は調整することができません。

幾何学歪補正

(PT-DZ8700、PT-DS8500 のみ)

投写映像の多様なゆがみを補正します。独自の画像処理技術により特殊な形状のスクリーンにスクエアな映像を投写することができます。

- 1) ▲▼ボタンで「幾何学歪補正」を選択する
- 2) ◀▶ボタンで「幾何学歪補正」の設定を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



オフ	幾何学歪補正を行いません
台形補正	投写映像が台形にゆがむ場合に調整します
曲面補正	投写映像が曲面にゆがむ場合に調整します
PC ※	コンピューターを用いて幾何学歪補正を行います

※：コンピューター制御にて幾何学補正を使用する場合には、熟練度を要します。販売店にご相談ください。

- 3) 手順 2) で「台形補正」または「曲面補正」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

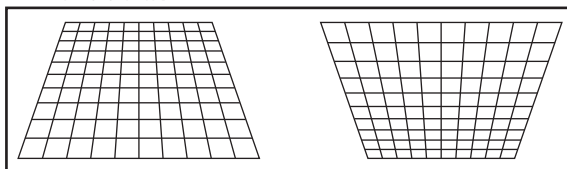
- 「幾何学歪補正：台形補正」または「幾何学歪補正：曲面補正」画面を表示します。

- 4) ▲▼ボタンで調整したい項目を選択し、◀▶ボタンで補正量を調整する

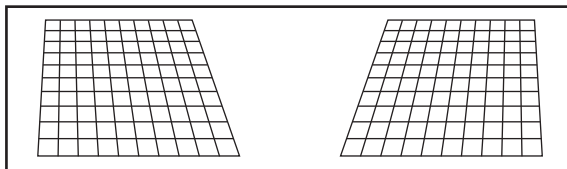
- 投写映像を補正することができます。

■台形補正メニュー

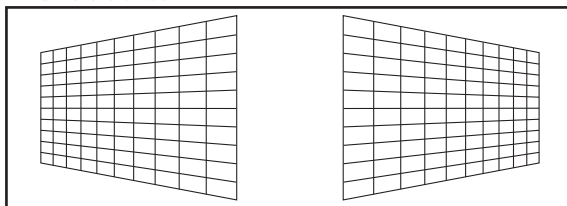
- 垂直台形補正



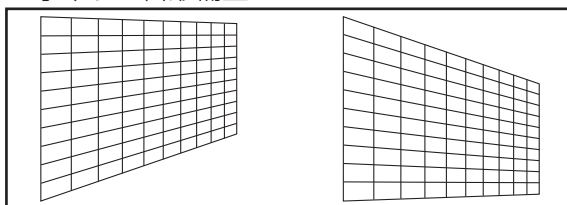
- 垂直サブ台形補正



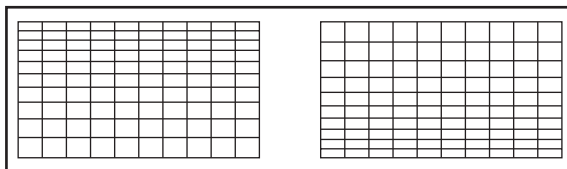
- 水平台形補正



- 水平サブ台形補正



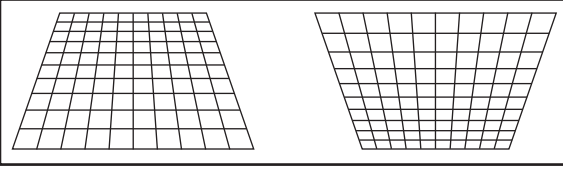
- リニアリティ



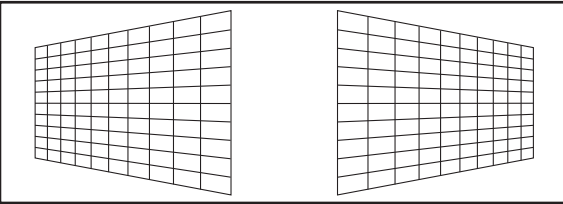
■ 曲面補正メニュー

- レンズスローレシオ
ご使用のレンズのスローレシオを設定してください。

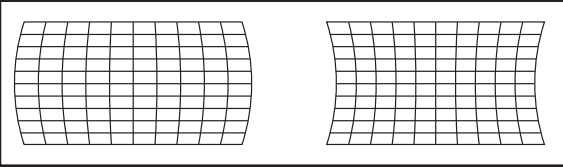
● 垂直台形補正



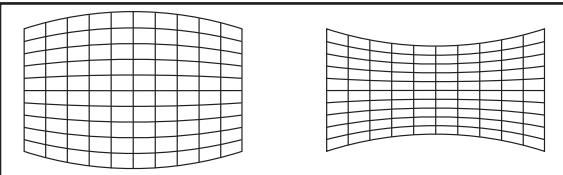
● 水平台形補正



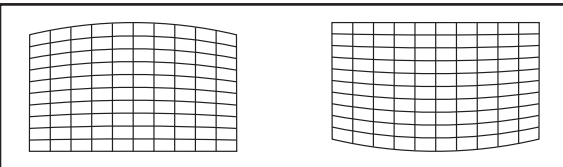
● 垂直弧



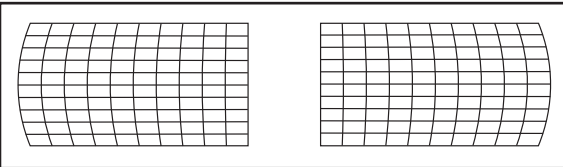
● 水平弧



● 垂直バランス



● 水平バランス



お知らせ

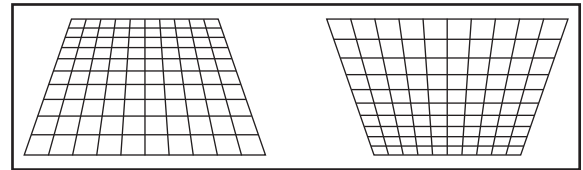
- 「幾何学歪補正」を設定した場合、メニューやロゴがスクリーンからはみ出る場合があります。
- 「エッジブレンディング」の調整 (61 ページ) と幾何学歪補正を併用する場合は、環境によって正しくエッジブレンディング調整ができない場合があります。

■ 台形補正 (PT-DW8300 のみ)

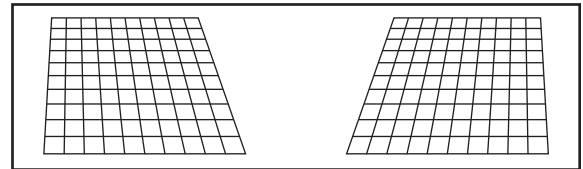
本機を傾けて設置したり、スクリーンが傾いていたりしている場合に発生する台形ひずみを補正します。

- 1) ▲▼ボタンで「台形補正」を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 3) 調整する項目を選ぶ
- 4) ◀▶ボタンで調整する

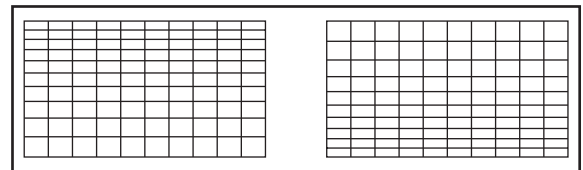
■ 台形補正



■ サブ台形補正




■ リニアリティ



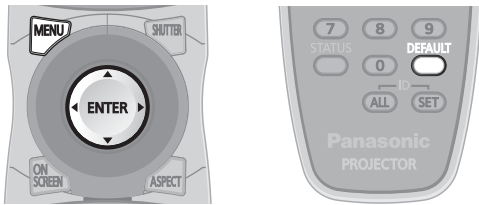
お知らせ

- 「台形補正」を設定した場合、メニューやロゴがスクリーンからはみ出る場合があります。
- 「台形補正」は、縦方向の傾きに対して±40度まで補正できます。ただし、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるように設置してください。
(ET-D75LE5 使用時は±22度、ET-D75LE6 使用時は±28度です。)
- 「台形補正」を行うと、画面サイズも変化します。
- レンズシフトの位置によっては、台形ひずみが発生します。
- 補正量、レンズズーム量によっては、画面サイズの縦横比がずれる場合があります。

「アドバンスドメニュー」について

『メニュー画面の操作方法』（ 47 ページ）のメインメニューから「アドバンスドメニュー」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

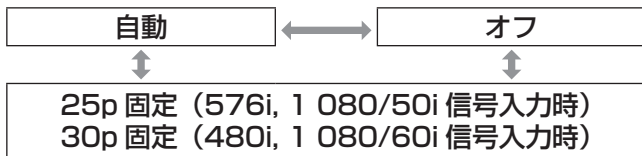
- 項目を選んだら◀▶▲▼ボタンで調整してください。



デジタルシネマリアリティー

PAL（または SECAM）の 576i 信号や NTSC の 480i 信号、および 1 080/50i、1 080/60i 信号が入力されたとき、シネマ処理をして垂直解像度をさらに上げ、画質を向上させます。

- 1) ▲▼ボタンで「デジタルシネマリアリティー」を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「デジタルシネマリアリティー」個別調整画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンで「デジタルシネマリアリティー」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



自動	自動検出し、シネマ処理をする (工場出荷設定値)
オフ	シネマ処理をしない
25p 固定	576i または 1 080/50i 信号が入力されたとき強制シネマ処理 (2:2 プルダウン) になる
30p 固定	480i または 1 080/60i 信号が入力されたとき強制シネマ処理 (2:2 プルダウン) になる

お知らせ

- 「デジタルシネマリアリティー」では、2:2 でプルダウンされた信号以外を「25p 固定」または、「30p 固定」に設定すると、画質が劣化します。(垂直解像度が悪くなります。)

ブランキング

ビデオデッキなどの映像投写時、画面端にノイズがでている場合や、スクリーンから画像がわずかにはみ出している場合などにブランキング幅を調整します。

- 1) ▲▼ボタンで「ブランキング」を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「ブランキング」調整画面を表示します。
- 3) ▲▼ボタンで調整項目を選択する
- 4) ◀▶ボタンでブランキング調整する
 - 下記の範囲で変化します。

PT-DZ8700 の場合

左右 0 ~ 959、上下 0 ~ 599

PT-DS8500 の場合

左右 0 ~ 699、上下 0 ~ 524

PT-DW8300 の場合

左右 0 ~ 682、上下 0 ~ 383

画面上側ブランキング補正 (上) の場合	
◀ ボタンを押すとブランキング幅が上へ移動し、▶ ボタンを押すとブランキング幅が下へ移動する	
画面下側ブランキング補正 (下) の場合	
▶ ボタンを押すとブランキング幅が上へ移動し、◀ ボタンを押すとブランキング幅が下へ移動する	
画面左側ブランキング補正 (左) の場合	
▶ ボタンを押すとブランキング幅が右へ移動し、◀ ボタンを押すとブランキング幅が左へ移動する	
画面右側ブランキング補正 (右) の場合	
◀ ボタンを押すとブランキング幅が右へ移動し、▶ ボタンを押すとブランキング幅が左へ移動する	

入力解像度

画面のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

- 1) ▲▼ボタンで「入力解像度」を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 「入力解像度」画面を表示します。
- 3) ▲▼ボタンで「総ドット数」、「表示ドット数」、「総ライン数」または「表示ライン数」を選択し、◀▶ボタンで調整する
 - 各項目には入力した信号に応じた数値が自動的に表示されます。画面に縦縞や画面欠けが発生する場合、表示された数値を上下させて画面を見ながら最適な点に調整してください。

お知らせ

- 全白信号入力では上記縦縞は発生しません。
- 調整中に画像が乱れる場合がありますが、異常ではありません。
- 「入力解像度」の調整ができるのは、RGB1、RGB2 入力で RGB 信号を入力した場合のみです。

クランプ位置

映像の黒部分がつぶれている場合や、緑色になっている場合に最良点に調整します。

- 1) ▲▼ボタンで「クランプ位置」を選択する
- 2) ◀▶ボタンで調整する
 - 調整値は 1 ~ 255 まで変化します。
 - クランプ位置調整の最適値
黒部分がつぶれている場合：
黒部分のつぶれが最も改善する点が最適値です。
黒部分が緑色になっている場合：
緑色部分が黒くなりつぶれが改善する点が最適値です。

お知らせ

- 「クランプ位置」の調整ができるのは、RGB1、RGB2 入力で信号を入力した場合のみです。
- 信号によって調整できない場合があります。

エッジブレンディング

マルチ画面で使用する場合に、画面のつなぎ目を目立ちにくくします。

- 1) ▲▼ボタンで「エッジブレンディング」を選択する
- 2) ◀▶ボタンで「エッジブレンディング」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



オフ	マルチ画面で使用しないとき
オン	エッジブレンディング部の傾斜にセット内蔵の傾きを使用します
ユーザー	エッジブレンディング部の傾斜に任意の傾きを使用します (設定には別途ソフトウェアが必要です。販売店にご相談ください。)

- 3) <ENTER> ボタンを押す
 - 「エッジブレンディング」画面を表示します。
- 4) ▲▼ボタンで補正する場所を指定する
 - 上をつなぐ場合：「上」を「オン」
 - 下をつなぐ場合：「下」を「オン」
 - 左をつなぐ場合：「左」を「オン」
 - 右をつなぐ場合：「右」を「オン」
- 5) ◀▶ボタンを押して「オン」「オフ」を切り換える
- 6) ◀▶ボタンで補正幅および開始位置を調整する

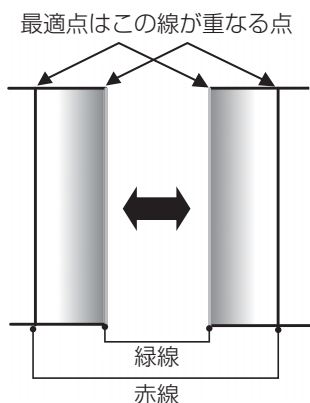
「アドバンスメニュー」について (つづき)

■調整用のマーカーを表示させる場合

7) ▲▼ボタンで「マーカー」を選択する

8) ◀▶ボタンで「オン」に切り換える

- 映像位置調整用のマーカーが表示されます。つなぎ合わせるセット同士で赤と緑の線が重なる位置が最適点です。つなぎ合わせるセット同士の補正幅は必ず同じ値にしてください。補正幅が異なるセット同士では、最適なつなぎ合わせができなくなります。



9) ▲▼ボタンで「黒レベル調整」を選択する

10) <ENTER> ボタンを押す

- 「黒レベル調整」画面を表示します。

11) ▲▼ボタンで「黒レベル インサイド」を選択する

12) <ENTER> ボタンを押す

- 「黒レベル インサイド」個別調整画面を表示します。
- 「連動」を「オフ」に設定すると、「赤」、「緑」、「青」の個別調整が可能です。

13) ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで調整する

- 調整が終わったら、<MENU> ボタンを押して「黒レベル調整」画面に戻ります。

14) ▲▼ボタンで「上」「下」「左」「右」を選択する

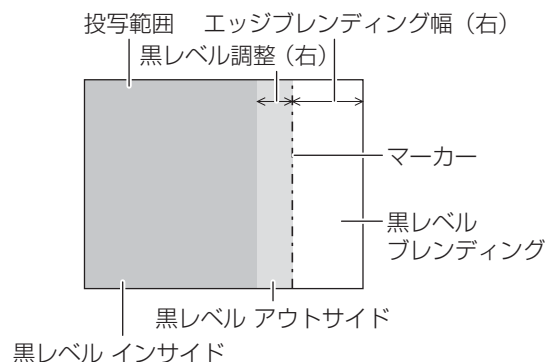
15) ◀▶ボタンで黒レベルインサイド補正する幅を調整する (0 ~ 255)

16) ▲▼ボタンで「黒レベル アウトサイド」を選択する

17) <ENTER> ボタンを押す

- 「黒レベル アウトサイド」個別調整画面を表示します。
- 「連動」を「オフ」に設定すると、「赤」、「緑」、「青」の個別調整が可能です。

18) ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで調整する



お知らせ

- 黒レベル調整は、「エッジブレンディング」を用いてマルチ画面を構成した場合に、映像を重ね合わせた部分の黒レベルが明るくなるのを目立ちにくくする機能です。「黒レベル インサイド」を調整し、映像を重ね合わせた部分と重ね合わせていない部分の黒レベルが同じになる補正量が最適点です。「黒レベル インサイド」を調整後、映像を重ね合わせた部分と重ね合わせていない部分の境目付近のみが明るくなる場合は、上、下、左、右の幅を調整してください。幅調整により境目付近のみ暗くなった場合は、「黒レベル アウトサイド」を調整してください。
- ゲインの高いスクリーンやリアスクリーン使用時は、見る位置によってつなぎ合わせ部が不連続に見えることがあります。
- 横、縦両方向のエッジブレンディングを同時に使用してマルチ画面を構成する場合は、手順 11) の調整前に「黒レベル ブレンディング」の調整を実施してください。
- 横方向のみ、縦方向のみエッジブレンディングを使用する場合は「黒レベル ブレンディング」をすべて 0 に設定してください。

フレーム遅延

1 080/60i、1 080/50i、1 080/24sF 信号が入力されたとき、映像処理を簡略化することにより、映像のフレーム遅延を短くします。

- 1) ▲▼ボタンで「フレーム遅延」を選択する
- 2) ◀▶ボタンで「フレーム遅延」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



標準	標準の設定です
ショート	映像が音声より遅れて表示される場合に設定します

お知らせ

- 「フレーム遅延」が「ショート」に設定されているときは、画質が劣化します。またノイズリダクション機能は使用できません。

ラスターポジション

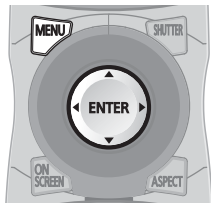
入力された映像が表示可能エリア全体を使用していない場合、映像を表示エリア内で任意の位置に移動します。

- 1) ▲▼ボタンで「ラスターポジション」を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 「ラスターポジション」画面を表示します。
- 3) ▲▼◀▶ボタンで位置調整する

「表示言語 (LANGUAGE)」について

『メニュー画面の操作方法』(☞ 47 ページ) のメインメニューから「表示言語 (LANGUAGE)」を選び、サブメニューを表示させます。

- ▲▼ボタンで選び、〈ENTER〉ボタンで言語の設定をしてください。



表示言語を切り換える

オンスクリーンの表示言語を切り換えます。


表示言語 (LANGUAGE)	
ENGLISH	
DEUTSCH	
FRANÇAIS	
ESPAÑOL	
ITALIANO	
● 日本語	
中文	
РУССКИЙ	
한국어	

- 切り換えた言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などが表示されます。
- 英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、日本語、中国語、ロシア語、韓国語の切り換えができます。

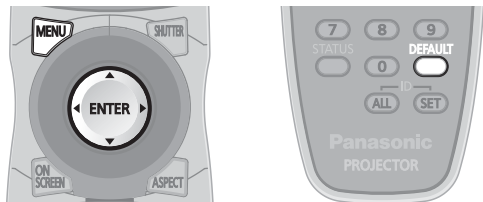
お知らせ

- 本機は、日本語でオンスクリーン表示するように設定されています。(工場出荷時)

「表示オプション」について

『メニュー画面の操作方法』（ 47 ページ）のメインメニューから「表示オプション」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで設定してください。



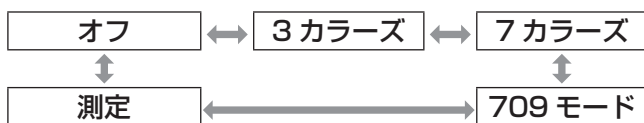
カラーマッチング





複数のセットを同時に使うような場合に、セット間の色ばらつきを補正します。

1) ▲▼ボタンで「カラーマッチング」を選択する

2) ◀▶ボタンで「カラーマッチング」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



オフ	カラーマッチングの調整をしません
3 カラーズ	「赤」「緑」「青」の3色を調整することができます
7 カラーズ	「赤」「緑」「青」「シアン」「マゼンタ」「イエロー」「白」の7色を調整することができます
709 モード	このモードについての詳細は、『  測定器を用いたカラーマッチング調整』（  このページ）をご覧ください
測定	このモードについての詳細は、『  測定器を用いたカラーマッチング調整』（  このページ）をご覧ください

■手順 2) で「3 カラーズ」または「7 カラーズ」を選択した場合

3) <ENTER> ボタンを押す

- 「3 カラーズ」または「7 カラーズ」画面を表示します。

4) ▲▼ボタンで「赤」「緑」「青」（「7 カラーズ」の場合は、「赤」「緑」「青」「シアン」「マゼンタ」「イエロー」「白」）を選択する

5) <ENTER> ボタンを押す

- 「3 カラーズ：赤」、「3 カラーズ：緑」または「3 カラーズ：青」画面を表示します。「7 カラーズ」の場合は、「7 カラーズ：赤」、「7 カラーズ：緑」、「7 カラーズ：青」、「7 カラーズ：シアン」、「7 カラーズ：マゼンタ」、「7 カラーズ：イエロー」または「7 カラーズ：白」画面を表示します。
- 「自動テストパターン」を「オン」にすると、選択した色のテストパターンを表示します。

6) ◀▶ボタンで調整する

- 調整値は 0 ~ 2 048 まで変化します。

お知らせ

- 調整色を補正する場合の動作
調整色と同じ補正色を動かす場合：
調整色の輝度が変化します。
補正色赤を動かす場合：調整色に赤を加減します。
補正色緑を動かす場合：調整色に緑を加減します。
補正色青を動かす場合：調整色に青を加減します。
- 調整には熟練度を要しますのでプロジェクターに関する知識のある方またはサービスマンの方が調整を行ってください。
- 各調整項目はすべて <DEFAULT> ボタンを押すと工場出荷値に戻すことができます。
- 「カラーマッチング」の調整を「オフ」以外に設定した場合、「色温度設定」は「ユーザー 1」固定になります。

■測定器を用いたカラーマッチング調整

色度座標と輝度が測定できる色彩色度計を用いて「赤」「緑」「青」「シアン」「マゼンタ」「イエロー」「白」の色をお好みの色に変更することができます。

●現在の輝度と色度座標を入力する

1) ▲▼ボタンで「カラーマッチング」を選択する

2) ◀▶ボタンで「709 モード」または「測定」を選択する

3) <ENTER> ボタンを押す

- 「709 モード」または「カラーマッチング：測定」画面を表示します。

4) ▲▼ボタンで「測定データ」を選択する

5) <ENTER> ボタンを押す

- 「測定データ」画面を表示します。

6) 色彩色度計で輝度 (Y) と色度座標 (x、y) を測定する

「表示オプション」について (つづき)

- 7) ▲▼ボタンで色を選択し、◀▶ボタンで数値を調整する
 - 「自動テストパターン」を「オン」にすると、選択した色のテストパターンを表示します。
- 8) すべての入力が終わったら、〈MENU〉ボタンを押す
 - 「709モード」または「カラーマッチング:測定」画面を表示します。
- お好みの色の座標を入力する (「測定」のみ)
- 9) ▲▼ボタンで「ターゲットデータ」を選択する
- 10) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「ターゲットデータ」画面を表示します。
- 11) ▲▼ボタンで色を選択し、◀▶ボタンでお好みの色の座標を入力する
 - 「自動テストパターン」を「オン」にすると、選択した色のテストパターンを表示します。
- 12) すべての入力が終わったら、〈MENU〉ボタンを押す

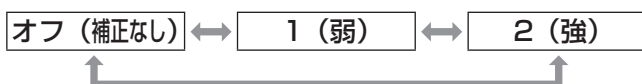
お知らせ

- 「カラーマッチング」で「709モード」を選択すると、ITU-R BT.709規格の3原色がターゲットデータとして設定されます。
- ターゲットデータが本機の色域外の場合、正しい色が表示できません。

大画面色補正

大きな画面サイズの映像を近くで見たとき、普通の画面サイズより色が薄くなって見える映像を同じような色に見えるように補正します。

- 1) ▲▼ボタンで「大画面色補正」を選択する
- 2) ◀▶ボタンで「大画面色補正」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



スクリーン設定

(PT-DZ8700、PT-DS8500のみ)

スクリーンサイズを設定します。投写映像のアスペクト変更の際に、設定したスクリーンに合わせて最適な映像位置に補正します。ご使用のスクリーンに合わせて設定してください。

- 1) ▲▼ボタンで「スクリーン設定」を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「スクリーン設定」画面を表示します。
- 3) ◀▶ボタンで「スクリーンフォーマット」を切り換える

■PT-DZ8700



■PT-DS8500



- 4) ◀▶ボタンで「スクリーン位置」を調整する
 - PT-DZ8700の場合：
スクリーンフォーマットが「16:9」の場合 - 60 ~ +60 まで調整できます。
スクリーンフォーマットが「4:3」の場合 - 160 ~ +160 まで調整できます。
 - PT-DS8500の場合：
- 132 ~ +131 まで調整できます。

お知らせ

- PT-DZ8700で「スクリーンフォーマット」が「16:10」のとき、または PT-DS8500で「スクリーンフォーマット」が「4:3」のとき、「スクリーン位置」は調整できません。

波形モニター (PT-DZ8700のみ)

接続した外部機器からの入力信号を用いて波形表示します。映像出力 (輝度) 信号レベルが本機の推奨する範囲に収まっているかを確認し、調整することができます。

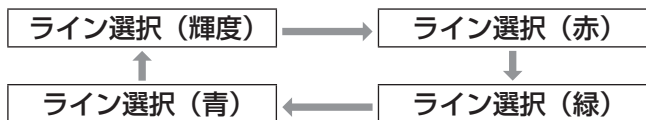
- 1) ▲▼ボタンで「波形モニター」を選択する
- 2) ◀▶ボタンで「波形モニター」機能を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



3) 〈MENU〉 ボタンを 2 回押してメニュー画面を消す

4) ▲▼ボタンで任意の横ラインを選択する

- 波形モニターのみを表示しているとき、〈ENTER〉 ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

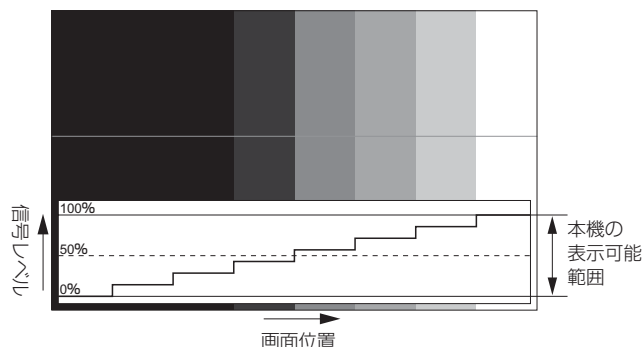


お知らせ

- 「ファンクションボタン」でも設定ができます。(79 ページ)

■ 波形を調整する

市販の調整用ディスクなどの輝度調整用信号 (0 % [0 IRE または 7.5 IRE] ~ 100 % [100 IRE]) を投写し、調整を行います。



● 輝度の調整

1) 波形モニターの「ライン選択 (輝度)」を選択する

2) 黒レベルを調整する

- オンスクリーンメニュー「映像」の「黒レベル」で、映像信号の黒レベル 0 % を波形モニターの 0 % の位置に調整します。

3) 白レベルを調整する

- オンスクリーンメニュー「映像」の「ピクチャー」で、映像信号の白レベル 100 % を波形モニターの 100 % の位置に調整します。

● 赤、緑、青の調整

1) 「色温度設定」を「ユーザー 1」または「ユーザー 2」にする (51 ページ)

2) 波形モニターの「ライン選択 (赤)」を選択する

3) 赤の暗部を調整する

- 「ホワイトバランス 低」の「赤」で、映像信号の黒レベル 0 % を波形モニターの 0 % の位置に調整します。(51 ページ)

4) 赤の明部を調整する

- 「ホワイトバランス 高」の「赤」で、映像信号の白レベル 100 % を波形モニターの 100 % の位置に調整します。(51 ページ)

5) 「赤」の手順と同様に「緑」、「青」の調整をする

お知らせ

- DVI-D 信号、HDMI 信号、SDI 信号の場合は「DVI 信号レベル」「HDMI 信号レベル」「SDI 信号レベル」の設定が正しいことを、黒レベル調整より先に確認してください。
- 波形モニターの表示に台形補正はかかりません。
- 「P IN P」中は波形モニターを表示できません。
- 波形モニター中に「P IN P」を実行すると波形モニターはオフになります。
- オンスクリーン表示が非表示 (オフ) のときは波形モニターも表示されません。

入力自動セットアップ

オートセットアップの自動実行を設定します。会議などで未登録の信号を頻繁に入力する場合、その都度リモコンの〈AUTO SETUP〉ボタンを押さなくても画面表示位置や信号レベルを自動で調整することができます。

1) ▲▼ボタンで「入力自動セットアップ」を選択する

2) ◀▶ボタンで「入力自動セットアップ」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ	オン
オフ	入力自動セットアップ機能をオフにします
オン	未登録の信号が入力された場合、自動でオートセットアップを行います

自動調整

特殊な信号や横長 (16 : 9 等) の信号を調整するときに設定します。

1) ▲▼ボタンで「自動調整」を選択する

2) 〈ENTER〉 ボタンを押す

- 「自動調整」画面を表示します。

3) ▲▼ボタンで「モード」を選択する

「表示オプション」について (つづき)

4) ◀▶ボタンで「モード」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



標準	画像アスペクトが4:3、5:4の信号を受像する場合(対応解像度は、640×400、640×480、800×600、832×624、960×720、1024×768、1152×864、1152×870、1280×960、1280×1024、1600×1200、1400×1050です)
ワイド	画像アスペクトがワイドの信号を受像する場合(対応解像度は、720×400、848×480、1280×720、1024×600、1120×750、1440×900、1680×1050です)
ユーザー	特殊な水平解像度(表示ドット数)の信号を受像する場合

5) 「ユーザー」を選択した場合は▲▼ボタンで「表示ドット数」を選択し、◀▶ボタンで信号源の水平解像度を設定する

6) 〈ENTER〉ボタンを押す

- 自動調整を実行します。自動調整中は「実行中」と表示されます。終了すると入力画面に戻ります。

■位置を自動で調整する場合

1. 手順3)で「位置自動調整」を選択する

2. ◀▶ボタンで「位置自動調整」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



オフ	自動調整を行いません
オン	オートセットアップ実行時に画面の位置、サイズを調整します

■信号レベルを自動で調整する場合

1. 手順3)で「信号レベル自動調整」を選択する

2. ◀▶ボタンで「信号レベル自動調整」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



オフ	自動調整を行いません
オン	オートセットアップ実行時に黒レベル(オンスクリーンメニュー「黒レベル」)と白レベル(オンスクリーンメニュー「ピクチャー」)を調整します

お知らせ

- 「信号レベル自動調整」は白と黒がはっきりした静止映像を入力しないと正しく動作しないことがあります。

RGB IN (RGB信号入力時のみ対応)

同期信号入力の入力インピーダンスを切り換えます。

1) ▲▼ボタンで「RGB IN」を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- 「RGB IN」画面を表示します。

3) ▲▼ボタンで「RGB1 同期信号終端抵抗」または「RGB2 同期信号終端抵抗」を選択する

4) ◀▶ボタンで切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



低	入力インピーダンスを「低」にします
高	入力インピーダンスを「高」にします

DVI-D IN

本機と外部機器とをDVIで接続しているときに正常な映像が映らない場合に設定を切り換えます。

1) ▲▼ボタンで「DVI-D IN」を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- 「DVI-D IN」画面を表示します。

3) ▲▼ボタンで「DVI EDID」を選択する

「表示オプション」について (つづき)

4) ◀▶ボタンで「DVI EDID」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

EDID3	↔	EDID1	↔	EDID2 : PC
↑				
EDID3	動画系、静止画系の映像信号を自動的に切り換えて投写します			
EDID1	動画系の映像信号を出力する外部機器 (DVD プレーヤーなど) が DVI-D IN に接続されているときに主に選択します			
EDID2 : PC	静止画系の映像信号を出力する外部機器 (コンピューターなど) が DVI-D IN に接続されているときに主に選択します			

5) ▲▼ボタンで「DVI 信号レベル」を選択する

6) ◀▶ボタンで「DVI 信号レベル」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

0-255 : PC	↔	16-235
0-255 : PC	外部機器 (コンピューターなど) が DVI 端子出力で接続している場合などで選択します	
16-235	外部機器 (DVD プレーヤーなど) が HDMI 端子出力で変換ケーブルなどを使用し接続している場合などで選択します	

お知らせ

- 最適な設定は、接続する外部機器の出力設定によって異なります。外部機器の出力については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。
- 設定を変更するとプラグアンドプレイ用のデータが変更されます。プラグアンドプレイ対応可能な解像度は『対応信号リスト』(P.116 ページ) をご確認ください。

HDMI IN

本機と外部機器とを HDMI で接続しているときに正常な映像が映らない場合は、設定を切り換えてください。

1) ▲▼ボタンで「HDMI IN」を選択する

2) <ENTER> ボタンを押す

- 「HDMI IN」画面を表示します。

3) ◀▶ボタンで「HDMI 信号レベル」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

0-1023	↔	64-940
0-1023	外部機器 (コンピューターなど) の DVI 端子出力を、変換ケーブルなどを使用して HDMI IN に接続している場合などに選択します	
64-940	外部機器 (DVD プレーヤーなど) の HDMI 端子出力を HDMI IN に接続している場合などに選択します	

お知らせ

- 最適な設定は、接続する外部機器の出力設定によって異なります。外部機器の出力については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。
- HDMI 信号レベルの表示は、入力が 30 bit 時の表示としています。

SDI IN

(PT-DZ8700、PT-DS8500 のみ)

入力する信号の振幅を選択します。HD-SDI の YP_BP_R、RGB 入力時のみ有効です。

1) ▲▼ボタンで「SDI IN」を選択する

2) <ENTER> ボタンを押す

- 「SDI IN」画面を表示します。

3) ◀▶ボタンで「SDI 信号レベル」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

64-940	↔	4-1019
64-940	通常はこの設定にしてください	
4-1019	グレーが黒く表示される場合	

オンスクリーン表示

スクリーン表示を設定します。

1) ▲▼ボタンで「オンスクリーン表示」を選択する

2) <ENTER> ボタンを押す

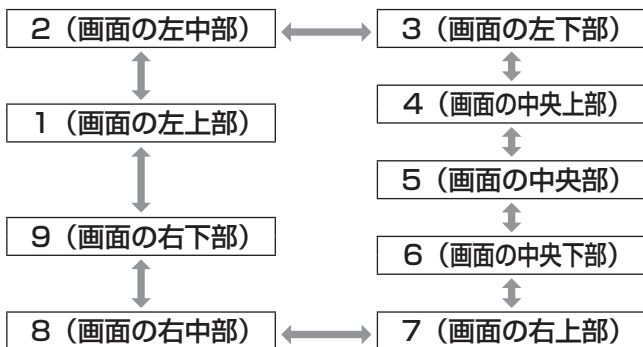
- 「オンスクリーン表示」画面を表示します。

3) ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで切り換える

「表示オプション」について (つづき)

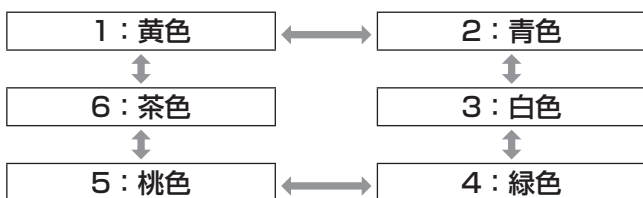
■ OSD 位置

オンスクリーンメニュー (OSD) の位置を設定します。



■ OSD デザイン

オンスクリーンメニュー (OSD) の色を設定します。



■ OSD メモリー

オンスクリーンメニュー (OSD) のカーソルの位置の保持状態を設定します。



お知らせ

- 「オン」に設定している場合でも、本体の主電源〈MAIN POWER〉スイッチを「切」にすると、カーソル位置は保持されません。

■ 入力ガイド

〈INPUT SELECT〉 (〈RGB1〉、〈RGB2〉、〈DVI-D/HDMI〉、〈VIDEO〉、〈S-VIDEO〉、〈SDI〉) ボタンを押したときに、入力ガイド (入力端子名、信号名、メモリー番号) を表示するかどうかを設定します。



■ 警告メッセージ

警告メッセージの表示を設定します。



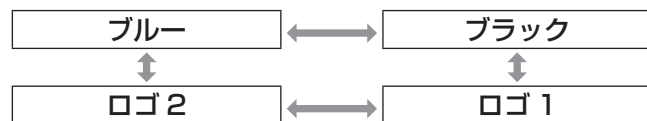
バックカラー

信号が入力されていないときの投写画面の色を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで「バックカラー」を選択する

- 2) ◀▶ボタンで「バックカラー」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



ブルー	投写画面全体に青色を表示
ブラック	投写画面全体に黒色を表示
ロゴ1	投写画面にユーザーが登録した画像を表示します
ロゴ2	投写画面に Panasonic ロゴを表示します

お知らせ

- 「ロゴ1」の画像作成には、別途ソフトウェア『ロゴ転送ソフトウェア』が必要です。販売店にご相談ください。

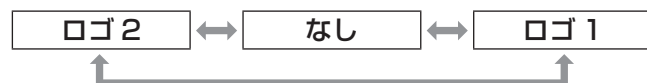
スタートアップロゴ

電源を入れたときのロゴ表示を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで「スタートアップロゴ」を選択する

- 2) ◀▶ボタンで「スタートアップロゴ」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



ロゴ2	Panasonic ロゴを表示します
なし	スタートアップロゴ表示を無効にします
ロゴ1	ユーザーが登録した画像を表示します

お知らせ


- 「ロゴ1」の画像作成には、別途ソフトウェア『ロゴ転送ソフトウェア』が必要です。販売店にご相談ください。
- スタートアップロゴは、約 15 秒で消えます。

フリーズ

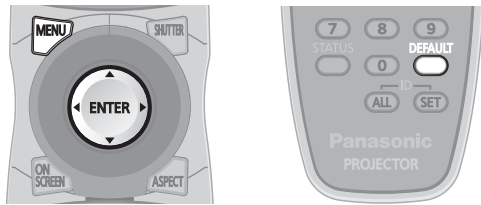
外部機器の再生に関係なく、一時的に投写映像を静止させます。

- 1) ▲▼ボタンで「フリーズ」を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 〈MENU〉 ボタンを押すと解除されます。

「プロジェクターセットアップ」について

『メニュー画面の操作方法』（ 47 ページ）のメインメニューから「プロジェクターセットアップ」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

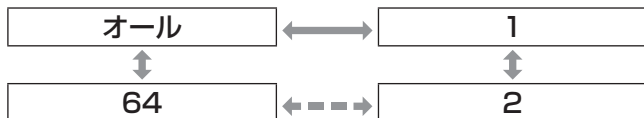
- 項目を選んだら◀▶▲▼ボタンで設定してください。




プロジェクター ID

本機には ID ナンバーの設定機能があり、本機を複数台並べてご使用の場合には、1 つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。

- 1) ▲▼ボタンで「プロジェクター ID」を選択する
- 2) ◀▶ボタンで「プロジェクター ID」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



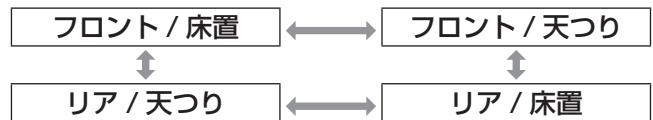
お知らせ

- ID ナンバーは「オール」「1」～「64」まで設定可能です。
 - ID ナンバーを指定した場合は、リモコンの ID ナンバーを本機の ID ナンバーに合わせる必要があります。
 - ID ナンバー「オール」に設定すると、リモコンまたはコンピューターで制御の際、何番を指定しても動作します。
- 本機を複数台並べて設置する場合、ID ナンバーを「オール」に設定していると、他の ID ナンバーを設定した本機と分けて制御することができなくなります。リモコンの ID 設定の方法は『リモコンの ID ナンバーを指定する』（ 18 ページ）を参照してください。

設置設定

本機の設置状態に合わせて、投写方式を設定します。画面表示が上下逆になったり、反転して映ったりしている場合は、投写方式を変更してください。

- リモコンまたは本体操作部のボタン操作でオンスクリーンメニューを表示させて設定します。
- 1) ▲▼ボタンで「設置設定」を選択する
 - 2) ◀▶ボタンで「設置設定」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



フロント/床置	スクリーン前方にある机の上などに設置する場合
フロント/天つり	スクリーン前方にある天つり金具（別売品）を使用して設置する場合
リア/床置	スクリーン後方（透過式スクリーン使用）にある机の上などに設置する場合
リア/天つり	スクリーン後方（透過式スクリーン使用）に天つり金具（別売品）を使用して設置する場合

高地モード

海拔 1 400 m 以上～2 700 m 未満の場所で使用する場合は、「オン」に設定します。

- 1) ▲▼ボタンで「高地モード」を選択する
- 2) ◀▶ボタンで「高地モード」を切り換え、〈ENTER〉ボタンで選択する
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



オフ	通常的环境（海拔 1 400 m 未満）で使用する場合
オン	高地（海拔 1 400 m 以上～2 700 m 未満）で使用する場合

- 3) 確認のメッセージが表示されるので、「実行」または「中止」を選択する

お知らせ

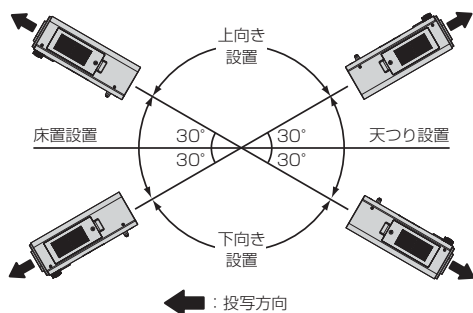
- 「オン」に設定した場合、ファンの回転数が上がり、動作音が大きくなります。
- 高地モード時は別売品のスモークカットフィルターを使用することはできません。

「プロジェクトターセットアップ」について (つづき)

ファン制御

投写する方向によってファンの制御を変更します。投写する方向に合わせて、「ファン制御」を正しく設定してください。誤った設定のまま使用するとランプの寿命を早める原因になります。

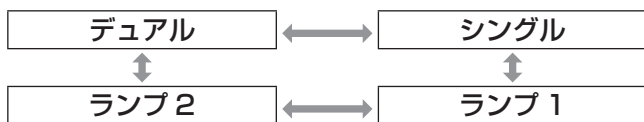
- 1) ▲▼ボタンで「ファン制御」を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「ファン制御」画面を表示します。
- 3) ▲▼ボタンでファン制御を選択する
- 4) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 5) 確認のメッセージが表示されるので、「実行」または「中止」を選択する



ランプ選択

本体に内蔵されている2個の光源ランプを、使用条件や目的に合わせて「デュアル」と「シングル」の明るさに切り換えます。またシングルではランプの自動切り換えと2灯のうちどちらか1灯を点灯する設定を選択できます。

- 1) ▲▼ボタンで「ランプ選択」を選択する
- 2) ◀▶ボタンで「ランプ選択」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



デュアル	2灯が点灯します
シングル	1灯が点灯します (使用時間の短いランプを自動選択します)
ランプ1	ランプユニット1が常に点灯します
ランプ2	ランプユニット2が常に点灯します

- 3) 〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

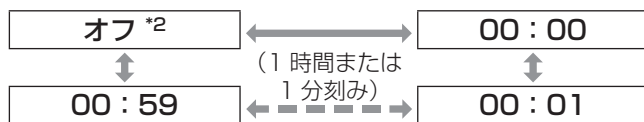
- ランプの交換サイクルが早くなるため、「ランプ選択」の切り換えを行ったあとの一定時間は、再度「ランプ選択」の切り換えをすることができません。また、短時間での「ランプ選択」の切り換えを繰り返すことも、ランプの交換サイクルを早めます。

- 「シングル」、「ランプ1」、「ランプ2」のとき、ランプが不点灯状態になったり、使用時間が3000時間 (ランプ出力「高」設定時) を超えたりするともう一方のランプが点灯します。「デュアル」のとき、いずれかのランプが不点灯状態になったり、使用時間が3000時間 (ランプ出力「高」設定時) を超えたりするともう一方のランプのみ点灯します。ただし、ランプが2灯とも不点灯状態になったり、どちらのランプも3000時間 (ランプ出力「高」設定時) を超えたりしている場合、本機はスタンバイ状態になります。
- 項目の色は状態を示しています。
 - 緑→現在の設定
 - 黄→現在の設定 (失灯か点灯に失敗しているランプがあるとき)
 - 赤→点灯に失敗したランプ
 - 白→上記以外

ランプリレー

24時間以上連続で使用する場合に、点灯するランプを自動で切り換えることによりランプの連続使用による劣化を軽減することができます。

- 1) ▲▼ボタンで「ランプリレー」を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「ランプリレー」画面を表示し、調整モード (点滅表示) になります。
- 3) ◀▶ボタン*1で「時」または「分」を選択し、▲▼ボタンで時刻を調整する
- 4) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 調整した時刻に確定されます。



- *1: 「オフ」モードになっている場合は、いったん▲▼ボタンで時刻設定モードに切り換えてから、時刻を調整してください。
- *2: 59分と00分の間は、時間の設定数値にかかわらず「オフ」になります。

お知らせ

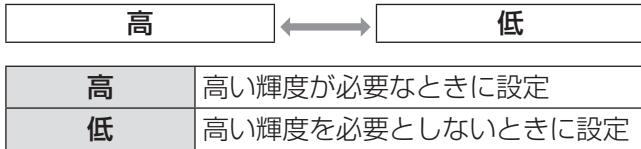
- 「ランプリレー」機能は、「ランプ選択」で「デュアル」または「シングル」を選択した場合に有効になります。
- 「ランプ選択」で「デュアル」選択時は設定した時刻から4時間の間はランプ1灯のみ点灯状態となります。
- 時刻はローカル時刻で動作します。(80ページ)
- 時刻はリモコンの数字 (〈0〉～〈9〉) ボタンで直接入力できます。
- フィルター残量がなくなると、「デュアル」を選択していてもランプ1灯のみの点灯状態になります。新品のフィルターと交換後、フィルター残量リセットを行うと解除されます。

「プロジェクターセットアップ」について (つづき)

ランプ出力

本機の使用環境や目的に合わせてランプの明るさを切り換えます。

- 1) ▲▼ボタンで「ランプ出力」を選択する
- 2) ◀▶ボタンで「ランプ出力」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



お知らせ

- 「低」の場合は、消費電力の節約、動作音の低減、ランプの寿命を延ばすことができます。

輝度コントロール

本機はランプの明るさを測定する輝度センサーを内蔵し、ランプの明るさの変化に応じて画面の明るさを補正する機能を備えています。本機能を使うことにより、複数のプロジェクターを使ってマルチ画面を表示する場合などに、ランプの経時劣化によるマルチ画面全体の明るさの変化を低減したり、明るさのばらつきを抑えて均一に保つたりすることができます。

■ 輝度コントロールゲイン

複数のプロジェクターでマルチ画面を表示する場合に明るさを調整します。

- 1) ▲▼ボタンで「輝度コントロールゲイン」を選択する
- 2) ◀▶ボタンで調整する。

操作	変化内容		調整範囲
	明るさ	明るさの最大補正量	
▶ ボタンを押す	明るくなります	減ります	最大値 100 %
◀ ボタンを押す	暗くなります	増えます	最小値 20 %

お知らせ

- 本機を1台で使用する場合、100%から「輝度コントロールゲイン」の値を引いた値が明るさの最大補正量になります。「輝度コントロールゲイン」が100%のときは最大補正量が0%になり輝度コントロールによる明るさ補正はできません。
- ランプ点灯後8分間は輝度が安定しません。電源を入れてから8分以上経過してから調整してください。

- 「輝度コントロールゲイン」はすべての映像信号、内蔵テストパターン、オンスクリーンメニューに調整が反映されます。
- 「輝度コントロール設定」が「オフ」でも「輝度コントロールゲイン」は有効です。

■ 輝度コントロール設定

輝度コントロールの動作を設定します。

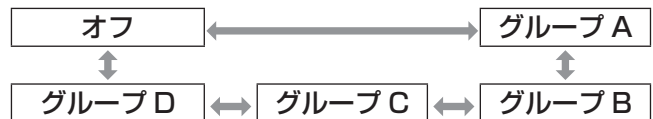
- 1) ▲▼ボタンで「輝度コントロール設定」を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 「輝度コントロール設定」画面を表示します。
- 3) ▲▼ボタンで「モード」を選択する
- 4) ◀▶ボタンで「モード」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



オフ	輝度センサーによる補正を行いません
自動	輝度センサーによる補正を行います ランプの明るさが変化したときは自動で画面の明るさを補正します
PC	コンピューターと専用ソフトウェア『複数台プロジェクター監視制御ソフトウェア』を使って9台以上のプロジェクターを連動させます

- 「モード」の設定を「自動」にしている場合

- 5) ▲▼ボタンで「リンク」を選択する
- 6) ◀▶ボタンで「リンク」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



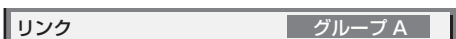
オフ	他のプロジェクターと連動せずに、プロジェクター1台での輝度センサーによる補正を行います 「輝度コントロールゲイン」の値が小さいほど一定の明るさを維持できる期間が長くなります
グループ A～D	輝度センサーによる補正を複数のプロジェクターが連動して行います ネットワーク機能を使って、同一サブネット内にA～Dの4つまでのグループを設定できます 1つのグループにプロジェクターを8台まで登録して連動させることができます

「プロジェクターセットアップ」について (つづき)

7) ▲▼ボタンで「実行」を選択する

8) <ENTER> ボタンを押す

- 設定された「モード」と「リンク」が有効になり、その後「輝度コントロールステータス」画面を表示します。
- 「輝度コントロール設定」の「モード」が「オフ」以外の状態で <ENTER> ボタンが押された場合、そのときのランプの明るさを基準の明るさとして記憶します。
- 「リンク」が「グループ A～D」の状態では <ENTER> ボタンが押されると、同一グループとして設定されているプロジェクターの画面にグループ名が表示されます。



お知らせ

- 「輝度コントロール設定」の「モード」を「自動」または「PC」に設定するときは、2分以上シャッターを開けた状態で輝度コントロールを「実行」してください。
- 「輝度コントロール設定」の「モード」が「自動」または「PC」で動作しているとき、ランプ点灯から約 10 分以内にシャッターを閉じると、明るさの測定ができないためシャッターを開いてから約 2 分後に明るさの補正をすることがあります。
- 「輝度コントロール設定」の「モード」が「自動」または「PC」で動作しているとき、ダイナミックアイリス機能は「オフ(補正なし)」で固定されます。
- 「輝度コントロール設定」の「モード」が「自動」または「PC」で動作しているとき、「ランプ出力」は「高」または「低」で固定されます。ランプ出力を切り換える場合は、「輝度コントロール設定」の「モード」を「オフ」に戻してからランプ出力を切り換え、再度輝度コントロールの調整をしてください。
- 「輝度コントロール設定」の「モード」が「自動」または「PC」で動作しているとき、ランプ点灯から約 8 分後にランプの明るさを自動で測定し、「実行」されたときの基準の明るさと同じ画面の明るさになるように補正をします。ランプ点灯から約 8 分間は、ランプの明るさが安定しないため、明るさの測定は行いません。
- 「輝度コントロール設定」の「モード」が「自動」で動作しているときに、ランプを 25 時間以上連続で点灯した場合は、自動で 25 時間ごとに明るさを補正します。
- 「ランプ選択」が「デュアル」、「モード」が「自動」で動作しているときにランプが失灯した場合、約 1 分後に可能な限り明るさを補正します。

- 「輝度コントロール設定」の「モード」が「自動」、「リンク」が「オフ」で動作しているとき、明るさの補正は最大補正量に達するまで補正します。
- プロジェクターの設置環境によってはレンズやスクリーン、プロジェクター内部にほこりが付き、明るさのばらつきが大きくなることがあります。
- ランプの経時変化によって明るさのばらつきが大きくなった場合やランプを交換した場合は、輝度コントロールを再度調整してください。

■ 輝度コントロールステータス

輝度コントロールの状態を表示します。

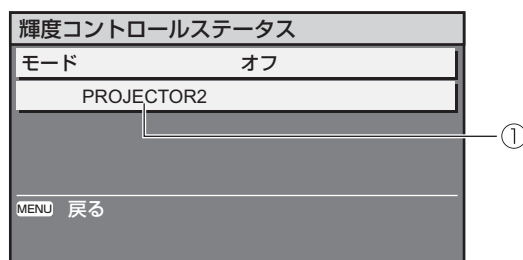
1) ▲▼ボタンで「輝度コントロールステータス」を選択する

2) <ENTER> ボタンを押す

- 「輝度コントロールステータス」画面を表示します。

● 「輝度コントロール設定」の「モード」が「オフ」のとき

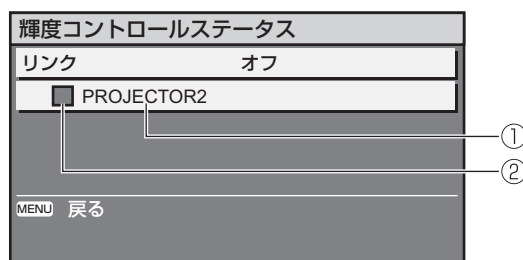
輝度コントロールがオフの状態を表示します。



① 自機のプロジェクター名を表示します

● 「輝度コントロール設定」の「モード」が「自動」で、「リンク」が「オフ」のとき

リンクがオフの状態を表示します。



① 自機のプロジェクター名を表示します

② 色で状態を表します

緑：明るさの補正量に余裕があります

黄：明るさの補正の余裕が少なくなっています

赤：輝度コントロールにエラーがあります

「プロジェクターセットアップ」について (つづき)

●「輝度コントロール設定」の「モード」が「自動」で、「リンク」が「グループ A ~ D」のとき

オンスクリーンメニューで操作しているプロジェクターを含め、連動しているプロジェクター（8台まで）の輝度コントロールの状態を表示します。

輝度コントロールステータス	
リンク	グループ A
■ PROJECTOR2	192.168. 0. 9
1: ■ PROJECTOR1	192.168. 0. 8
2: ■ PROJECTOR3	192.168. 0. 10
3:	
4:	
5:	
6:	
7:	
更新	
▼ 項目選択	

- ① 連動するグループを表示します
- ② 自機のプロジェクター名と IP アドレスを表示します
- ③ ネットワーク上で検出した同一グループのプロジェクター名と IP アドレスを表示します
- ④ 色で状態を表します
 緑：明るさの補正量に余裕があります
 黄：明るさの補正の余裕が少なくなっています
 赤：輝度コントロールにエラーがあります
- ⑤ エラーメッセージを表示します
- ⑥ 情報を最新の状態に更新します

「輝度コントロールに失敗したプロジェクターがあります。」とメッセージが表示されている場合、赤色表示しているプロジェクターは連動が失敗しています。

▲▼ボタンで赤色表示しているプロジェクターを選択し、〈ENTER〉ボタンを押すとエラーの詳細を表示します。

● エラーの詳細

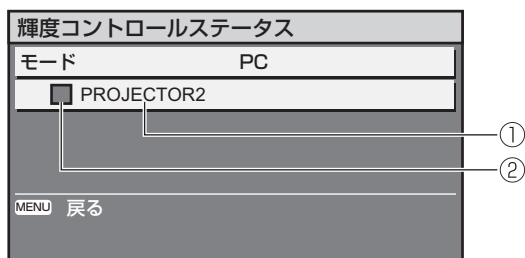
エラーメッセージ	対応方法
「プロジェクターの制限台数を越えています。」	<ul style="list-style-type: none"> • 同一グループの台数は 8 台以下で構成してください。 • 9 台以上を連動させる場合はコンピューターと専用ソフトウェア『複数台プロジェクター監視制御ソフトウェア』をお使いください。
「コマンドコントロールの設定を確認してください。」	<ul style="list-style-type: none"> • エラー表示しているプロジェクターのオンスクリーンメニュー「ネットワークコントロール」の「コマンドコントロール」を「オン」にしてください。 • 連動するすべてのプロジェクターの「ネットワークコントロール」の「コマンドポート」を同じ値にしてください。
「コマンドコントロールのユーザー名とパスワードを確認してください。」	<ul style="list-style-type: none"> • 連動するすべてのプロジェクターの「WEB コントロール」の「ユーザー名」と「パスワード」を同じ文字列にしてください。
「輝度コントロールできない状態です。プロジェクターの状態を確認してください。」	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクターがスタンバイなどの状態になっています。電源を入れてください。
「輝度センサーエラー」	<ul style="list-style-type: none"> • 輝度センサーに異常があります。電源を入れ直しても直らない場合は販売店にご相談ください。

お知らせ

- 連動させるプロジェクターが一覧に表示されない場合は、次の項目を確認してください。
 - ネットワーク上に同じ IP アドレスの機器がないか
 - LAN ケーブルが正しく接続されているか (☞ 89 ページ)
 - プロジェクターのサブネットが同一になっているか
 - 「リンク」の設定が同じグループになっているか
- プロジェクター名の変更については、『ネットワーク』について』の『ネットワーク設定』(☞ 88 ページ)または、『LAN 設定ページ』(☞ 100 ページ)をご覧ください。

「プロジェクターセットアップ」について (つづき)

- 「輝度コントロール設定」の「モード」が「PC」のとき



- ① 自機のプロジェクター名を表示します
- ② 色で状態を表します
緑：明るさの補正量に余裕があります
黄：明るさの補正の余裕が少なくなっています
赤：輝度コントロールにエラーがあります

■輝度コントロールの調整手順例

ネットワーク接続した 8 台のプロジェクターの明るさを連動させる場合の調整手順例です。

- 1) すべてのプロジェクターを LAN ケーブルでハブに接続する (☞ 89 ページ)
- 2) すべてのプロジェクターの電源を入れる
- 3) すべてのプロジェクターの「ランプ選択」を「デュアル」か「シングル」のどちらかで統一する
- 4) 「輝度コントロール設定」の「モード」を「オフ」にし、「実行」する
- 5) ネットワークが通信できるように、プロジェクターの「サブネットマスク」は同じ値、「IP アドレス」は 1 台ずつ異なる値に設定する
- 6) ランプの明るさが安定するまで 8 分以上待つ
- 7) すべてのプロジェクターの「映像」メニュー内の全項目を同じ値にする
- 8) 色を合わせる場合は、「カラーマッチング」を調整する
- 9) すべてのプロジェクターの内蔵テストパターン「全白」を表示する

- 10) すべてのプロジェクターの「輝度コントロールゲイン」を 100 % に設定する
- 11) 一番暗いプロジェクターの「輝度コントロールゲイン」を 90 % に設定する
- 12) 「輝度コントロールゲイン」を 90 % に設定したプロジェクターと明るさがそろるように、他のプロジェクターの「輝度コントロールゲイン」を調整する
- 13) すべてのプロジェクターの「輝度コントロール設定」の「モード」を「自動」、「リンク」を「グループ A」に設定する
- 14) すべてのプロジェクターの「輝度コントロール設定」の「実行」で〈ENTER〉ボタンを押す
 - 輝度コントロールが開始されます。

お知らせ

- 電源「切」/「入」などでランプが点灯するたびに自動で明るさを補正します。
- 明るさのばらつきが大きくなった場合やランプ交換時は、輝度コントロールを再度調整してください。

スタンバイモード

スタンバイ時の電力を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで「スタンバイモード」を選択する
- 2) ◀▶ボタンで「スタンバイモード」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



お知らせ

- 「エコ」に設定した場合、スタンバイ時にネットワーク機能と RS-232C OUT を使用できません。また、RS-232C コマンドの一部が使用できません。電源「入」後の出画が「ノーマル」設定時と比べて約 10 秒遅くなることがあります。
- 「ノーマル」に設定した場合、スタンバイ時にネットワーク機能と RS-232C OUT を使用できます。

「プロジェクターセットアップ」について (つづき)

スケジュール

コマンドの実行スケジュールを曜日ごとに設定します。

■スケジュール機能の有効化方法

- 1) ▲▼ボタンで「スケジュール」を選択する
- 2) ◀▶ボタンで「スケジュール」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



お知らせ

- 「スケジュール」を「オン」に設定すると、「スタンバイモード」の設定は強制的に「ノーマル」となり設定の変更はできなくなります。この状態で「スケジュール」を「オフ」にしても、「スタンバイモード」の設定は「ノーマル」のままです。

■プログラムの割り当て方法

- 1) 「スケジュール」が「オン」の状態では、〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「スケジュール」画面を表示します。
- 2) 曜日ごとにプログラムを選択し割り当てる
 - ▲▼ボタンで曜日を選び、◀▶ボタンでプログラム番号を選択します。
 - プログラムは、プログラム番号 1～7 まで設定できます。“-”は未設定を表します。

■各プログラムの設定方法

1 プログラムにつき 16 コマンドまでの設定ができます。

- 1) 「スケジュール」画面で、▲▼ボタンで「プログラム編集」を選択する
- 2) ◀▶ボタンで設定したいプログラム番号を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンでコマンド番号を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - ◀▶ボタンでページの切り換えができます。

- 4) ▲▼ボタンで「時刻」「コマンド」のいずれかを選択し、メニューの操作指示に従って設定を変更する

時刻	コマンドを実行する時刻を、▲▼ボタンまたは数字 (<0> ~ <9>) ボタンで設定します
コマンド	設定した時刻に実行するコマンドを、以下のいずれかから選択します ・電源オン ・スタンバイ ・シャッター 閉 ・シャッター 開 ・RGB1 入力 ・RGB2 入力 ・VIDEO 入力 ・S-VIDEO 入力 ・DVI-D 入力 ・HDMI 入力 ・SDI 入力 * ・ランプ出力 高 ・ランプ出力 低 ・ランプデュアル ・ランプシングル ・P IN P オフ ・P IN P ユーザー 1 ・P IN P ユーザー 2 ・P IN P ユーザー 3

※: PT-DZ8700、PT-DS8500 のみ

- 5) ▲▼ボタンで「登録」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- ランプの短時間点滅を行うような設定を登録しようとすると、画面上にエラーメッセージが表示されます。再度時刻とコマンドの設定を行ってください。
- すでに設定されているコマンドを削除する場合は、〈DEFAULT〉ボタンを押してください。
- 同じ時刻に設定されたコマンドは、コマンド番号の若い順に実行されます。
- 時刻はローカル時刻で動作します。(80 ページ)
- 「スケジュール」で設定されたコマンドの実行前に、リモコンや本体操作部での操作、制御コマンドによる操作を実行した場合、本機能で設定したコマンドが実行されないことがあります。

RS-232C

通信条件を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで「RS-232C」を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「RS-232C」画面を表示します。
- 3) ▲▼ボタンを押して通信条件を選択する
- 4) ◀▶ボタンを押して設定を切り換える

お知らせ

- 『シリアル端子について』(111 ページ) をご覧ください。

「プロジェクターセットアップ」について (つづき)

■「エミュレート」の選択項目について

本機のシリアル入力端子を使用してコンピューターで制御する際に、以前に購入した弊社プロジェクターの制御コマンドを使用する場合に設定します。既存の弊社プロジェクター用制御ソフトウェア等を引き続き使用することができます。

1. 手順 3) で「エミュレート」を選択する
2. 〈ENTER〉 ボタンを押す
3. ▲▼ボタンで設定したい項目を選択する
4. 〈ENTER〉 ボタンを押して決定する

● デフォルト	DZ8700 系、DS8500 系、DW8300 系、D5000 系、D6000 系、DW6300 系、DZ6700 系、DZ6710 系
D9610 シリーズ	D9510 系、D9610 系、D9500 系、D9600 系、D8500 系、D8600 系
D7700 シリーズ	D7500 系、D7600 系、D7700 系、DW7000 系
L6500 シリーズ	L6500 系、L6510 系、L6600 系

■「エミュレート設定」について

エミュレート機能で特定機種のプロジェクターを使用する際に、入力信号切り換えコマンドによってどの入力信号に切り換えるかを設定します。

1. 手順 3) で「エミュレート設定」を選択する
2. 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 「エミュレート設定」画面を表示します。

●D9610 シリーズ選択時

1. ▲▼ボタンで入力信号「VIDEO」、
「S-VIDEO」、
「RGB1」、
「DVI-D」、
「SDI」
のいずれかを選択する
 - 「RGB2」、
「HDMI」は選択できません。
 - PT-DW8300 では「SDI」は表示されません。
2. ◀▶ボタンで、選択した入力信号に割り当てる入力信号切り換えコマンドを選択する
 - 選択できる入力信号切り換えコマンド
RGB1 選択時：
「INPUT1」、
「INPUT2」、
「INPUT3」、
「INPUT RGB」、
「なし」
それ以外：
「INPUT1」、
「INPUT2」、
「INPUT3」、
「なし」
 - 複数の入力信号に同じ入力信号切り換えコマンドを割り当てることはできません。

●D7700 シリーズ選択時

1. ▲▼ボタンで入力信号「DVI-D」、
「SDI」
のいずれかを選択する
 - 「RGB1」、
「RGB2」、
「VIDEO」、
「S-VIDEO」、
「HDMI」は選択できません。
「RGB1」、
「RGB2」、
「VIDEO」、
「S-VIDEO」
入力は、すでにプロジェクターに備わっているため、それ以外の入力信号切り換えコマンドを割り当てることはできません。
 - PT-DW8300 では「SDI」は表示されません。
2. ◀▶ボタンで、選択した入力信号に割り当てる入力信号切り換えコマンドを選択する
 - 選択できる入力信号切り換えコマンドは「AUX」、
「なし」のいずれかです。
 - 「DVI-D」と「SDI」の両方に同じ入力信号切り換えコマンドを割り当てることはできません。

ステータス

本機の状態を表示します。

- 1) ▲▼ボタンで「ステータス」を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ◀▶ボタンを押してページを移動することができます

入力	現在選択されている入力端子を表示します
信号名	入力信号名を表示します
信号周波数	入力信号の周波数を表示します
プロジェクター使用時間	プロジェクターの稼働時間を表示します
ランプ 1 *1	ランプ 1 の点灯時間を表示します
ランプ 2 *1	ランプ 2 の点灯時間を表示します
吸気温度	プロジェクターの吸気温度状態を表示します
光学モジュール温度	プロジェクターの内部温度状態を表示します
ランプ周辺温度	プロジェクターのランプ周辺温度状態が表示されます
フィルター残量 *2	ACF ユニットのフィルター残量を表示します
プロジェクタータイプ	プロジェクターの種類を表示します
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します
ランプ品番	ランプユニットの品番を表示します

「プロジェクターセットアップ」について (つづき)

ランプ 1 シリアル番号	ランプ 1 のシリアル番号を表示します
ランプ 2 シリアル番号	ランプ 2 のシリアル番号を表示します
メインバージョン	本機のファームウェアのメインバージョンを表示します
サブバージョン	本機のファームウェアのサブバージョンを表示します
ネットワークバージョン	本機のネットワークバージョンを表示します
エミュレート	設定されているエミュレートのモードを表示します
オンカウント	<ul style="list-style-type: none"> ● パワーオン： 電源を入れた回数を表示します ● ランプ 1 オン： ランプ 1 の点灯回数を表示します ● ランプ 2 オン： ランプ 2 の点灯回数を表示します
ランプ 1	使用時間の詳細を表示します
ランプ 2	使用時間の詳細を表示します
登録信号数	登録信号数を表示します
REMOTE2 ステータス	REMOTE2 の制御状態を表示します
AC 電圧	AC 電圧の状態を表示します

- *1: 表示されるランプ時間は実時間です。
ランプ交換の目安を算出するには、以下のような換算式が必要になります。
- $$\left[\begin{array}{l} \text{ランプ交換の時間} = \\ \text{ランプ出力「高」使用時間} + \\ (\text{ランプ出力「低」使用時間} \times 3 \div 4) \end{array} \right]$$
- *2: フィルター残量
ステータスの残量表示は、ACF の残量が 8 % になると黄色になり、0 % になると赤色になります。
残量表示が黄色になると、使用できる時間は残り約 200 時間です。200 時間は目安です。
使用環境により異なります。

無信号自動オフ

設定時間までに入力信号がないと、自動的に本機の電源をスタンバイ状態にします。

- ▲▼ボタンで「無信号自動オフ」を選択する
- ◀▶ボタンで「無信号自動オフ」を切り換える

無効	無信号自動オフ無効
10分～90分	10分間隔で設定可能

REMOTE2 端子モード

REMOTE2 端子を設定します。

- ▲▼ボタンで「REMOTE2 端子モード」を選択する
- ◀▶ボタンで「REMOTE2 端子モード」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



標準	REMOTE2 端子のピン配列を本機標準の設定で使用します (114 ページ)
ユーザー	REMOTE2 端子の設定を変更する場合に使用します 〈ENTER〉ボタンで 2 番ピンから 8 番ピンまでの設定を変更することができます
L6500 シリーズ	L6500 シリーズ互換の REMOTE2 端子の設定を使用します

ファンクションボタン

リモコンの〈FUNCTION〉ボタンの機能を設定します。

- ▲▼ボタンで「ファンクションボタン」を選択する
- 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「ファンクションボタン」画面を表示します。
- ▲▼ボタンで機能を選択する

無効	〈FUNCTION〉ボタンを無効にします
PINP	PINP のオフ / ユーザー 1 / ユーザー 2 / ユーザー 3 を切り換えます (82 ページ)
サブメモリー	サブメモリーの切り換えをして、サブメモリー一覧を表示します (85 ページ)
システムセレクター	システムセレクターの設定を切り換えます (54 ページ)
システムデイトビュー	システムデイトビューの設定を切り換えます (53 ページ)
フリーズ	映像を一時的に静止画の状態にします
波形モニター ※	入力信号の波形を表示します

※: PT-DZ8700 のみ

- 〈ENTER〉ボタンを押す

「プロジェクターセットアップ」について (つづき)

日付と時刻

本機内蔵時計のタイムゾーンと日時を設定します。

■ タイムゾーンの設定

- 1) ▲▼ボタンで「日付と時刻」を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで「タイムゾーン」を選択する
- 4) ◀▶ボタンで「タイムゾーン」を切り換える

■ 手動で日時を設定する場合

- 1) ▲▼ボタンで「日付と時刻」を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで「時刻設定」を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 「時刻設定」 画面を表示します。
- 5) ▲▼ボタンで設定したい項目を選択し、◀▶ボタンでローカル日時を設定する
- 6) ▲▼ボタンで「設定」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - 時刻設定が完了します。

■ 自動で日時を設定する場合

- 1) ▲▼ボタンで「日付と時刻」を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで「時刻設定」を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 「時刻設定」 画面を表示します。
- 5) ▲▼ボタンで「NTP 同期」を選択し、◀▶ボタンで「オン」に切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ



オン

- 6) ▲▼ボタンで「設定」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - 時刻設定が完了します。

お知らせ

- 自動で日時を設定するには、ネットワークへの接続が必要です。
- 「NTP 同期」を「オン」にした直後の NTP サーバーとの同期に失敗したときや、NTP サーバーの設定がされていない状態で「NTP 同期」を「オン」にした場合、「NTP 同期」は「オフ」に戻ります。
- NTP サーバーの設定は Web ブラウザから本機にアクセスして実行してください。(100 ページ)

レンズキャリブレーション

本機のレンズシフトの限界値とホームポジション位置の自動設定を行います。

- 1) ▲▼ボタンで「レンズキャリブレーション」を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 確認メッセージが表示されます。
- 3) ◀▶ボタンで「実行」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - 中止する場合は「中止」を選んでください。
 - レンズが上下左右に移動して、レンズシフトの限界値とホームポジションの位置を自動的に設定します。
 - レンズが停止して終了します。

お知らせ

- レンズキャリブレーション実行中はメニューに「実行中」と表示されます。途中でキャンセルすることはできません。
- レンズキャリブレーションが正しく実行された場合は「正常終了」、正しく実行できなかった場合は「異常終了」と表示されます。

フィルター残量リセット

ACF ユニットの交換後、◀▶ボタンで「実行」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押すとフィルター残量がリセットされます。

お知らせ

- ACF ユニットの交換する場合は、『■ ACF ユニットの交換手順』(103 ページ)をご覧ください。
- フィルターが取り付けられていない場合には「実行」を選択することができません。
- リセット中にフィルターの巻き取り動作を行います。巻き取り中は動作音がすることがあります。

「プロジェクターセットアップ」について (つづき)

全ユーザーデータ保存

各種設定値をプロジェクター内部のメモリーにバックアップとして保存します。

- 1) ▲▼ボタンで「全ユーザーデータ保存」を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「セキュリティパスワード」画面を表示します。
- 3) 「セキュリティパスワード」を入力する
 - 確認画面が表示されます。
- 4) ◀▶ボタンで「実行」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

全ユーザーデータロード

プロジェクター内部のメモリーにバックアップとして保存した各種設定値を読み込みます。

- 1) ▲▼ボタンで「全ユーザーデータロード」を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「セキュリティパスワード」画面を表示します。
- 3) 「セキュリティパスワード」を入力する
 - 確認画面が表示されます。
- 4) ◀▶ボタンで「実行」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- 実行すると、設定値を反映させるためにプロジェクターはスタンバイ状態になります。

初期化

各種設定値を工場出荷時の値に戻します。

- 1) ▲▼ボタンで「初期化」を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「セキュリティパスワード」画面を表示します。
- 3) 「セキュリティパスワード」を入力する
 - 「初期化」画面を表示します。
- 4) ▲▼ボタンで初期化したい項目を選択する


全ユーザーデータ	「登録信号」、「ネットワーク設定」、「Eメール設定」、「ロゴイメージ」を含めた全設定値を工場出荷時の値に戻します 設定値を反映させるために、プロジェクターはスタンバイ状態になります
登録信号	入力信号ごとに保存している設定値をすべて消去します 登録信号の一部分だけを消去する場合は、『登録した信号を削除する』(P.84 ページ)を行ってください
ネットワーク / Eメール	「ネットワーク設定」、「Eメール設定」を工場出荷時の値に戻します
ロゴイメージ	「ロゴ 1」に登録された画像を工場出荷時の画像に戻します

- 5) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 確認画面が表示されます。
- 6) ◀▶ボタンで「実行」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

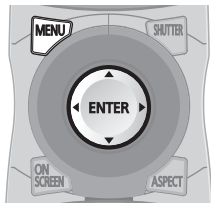
サービスパスワード

サービスマンが使用します。

「P IN P」について

『メニュー画面の操作方法』（ 47 ページ）のメインメニューから「P IN P」を選び、サブメニューを表示させます。

- ◀▶▲▼ボタン、〈ENTER〉ボタンで設定してください。



P IN P 機能を使用する

メイン画面中に別の小さなサブ画面を配置することで、2つの映像を同時に投写することができます。

- 1) ▲▼ボタンで「P IN P」を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「P IN P」画面を表示します。
- 3) ▲▼ボタンで「P IN P モード」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「P IN P モード」画面を表示します。
- 4) ▲▼ボタンで機能を選択する

オフ	P IN P 機能を使用しません
ユーザー 1	『P IN P 機能を設定する』で設定した内容で P IN P 機能を使用します
ユーザー 2	
ユーザー 3	

- 5) 〈ENTER〉ボタンを押す

P IN P 機能を設定する

P IN P 機能の設定を「ユーザー 1」、「ユーザー 2」、「ユーザー 3」に保存することができます。


- 1) 『P IN P 機能を使用する』の手順 4) で「ユーザー 1」、「ユーザー 2」、「ユーザー 3」の中から好みのモードを選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - 選択したモードの設定画面を表示します。

- 2) ▲▼ボタンで設定したい項目を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- 選択した項目のサブメニューを表示します。

メイン ウィンドウ	メインウィンドウとして表示する入力端子を表示（▲▼ボタンで選択し〈ENTER〉ボタンで切り換えます） サイズ： メインウィンドウの表示サイズの設定（10%～100%の間で設定） 位置： メインウィンドウの表示位置を画面内で設定
サブ ウィンドウ	サブウィンドウとして表示する入力端子を表示（▲▼ボタンで選択し〈ENTER〉ボタンで切り換えます） サイズ： サブウィンドウの表示サイズの設定（10%～100%の間で設定） 位置： サブウィンドウの表示位置を画面内で設定 クロックフェーズ： サブウィンドウが RGB1 または RGB2 のとき、画像のちらつきや輪郭のにじみがみられる場合に設定（0～63の間で設定）
フレーム ロック	フレームロックを適用するウィンドウを選択（◀▶ボタンで切り換えます） 「メインウィンドウ」： メインウィンドウに設定されている入力信号に対してフレームロックを設定 「サブウィンドウ」： サブウィンドウに設定されている入力信号に対してフレームロックを設定
タイプ	ウィンドウが重なった場合に優先的に表示するウィンドウを選択（◀▶ボタンで切り換えます） 「メインウィンドウ」： メインウィンドウを優先的に表示 「サブウィンドウ」： サブウィンドウを優先的に表示

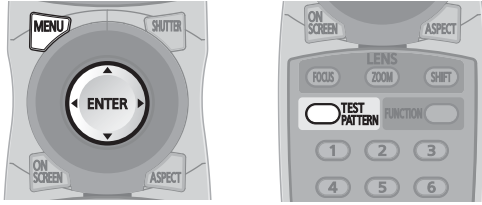
お知らせ

- 入力されている信号および選択されている入力端子によっては P IN P 機能を使用することができません。詳しくは、『2 画面表示組み合わせ一覧』（ 115 ページ）をご覧ください。
- 「映像モード」、「ガンマ選択」、「色温度設定」などの映像調整値はメインウィンドウの設定値が適用されます。
- 通常画面（メニューが表示されていない状態）において、P IN P 動作中に◀▶ボタンでメインウィンドウとサブウィンドウのサイズと位置を入れ換えることができます。

「テストパターン」について

『メニュー画面の操作方法』（ 47 ページ）のメインメニューから「テストパターン」を選びます。

- ◀▶ ボタンで切り換えてください。



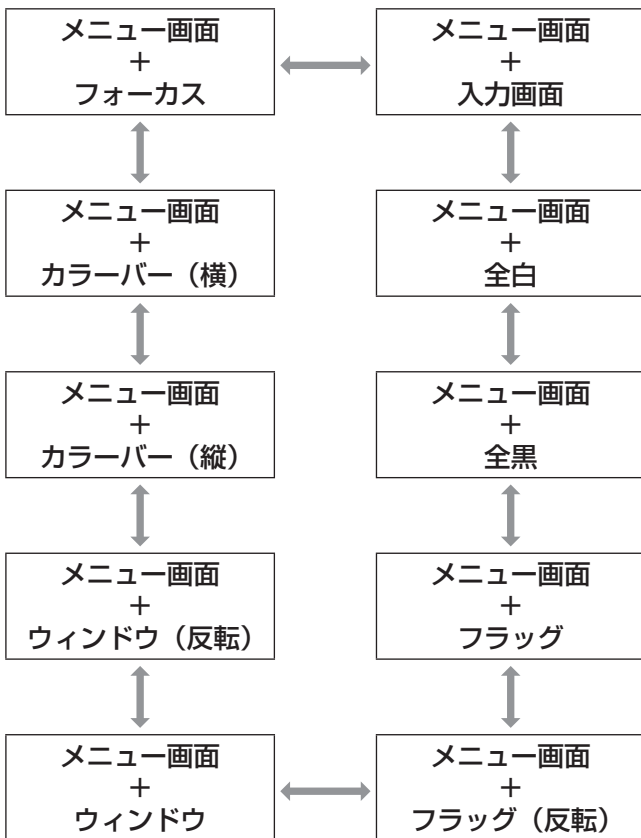
テストパターン

位置、サイズなどの調整内容はテストパターンには反映されません。必ず入力信号を表示させた状態で各種設定を行ってください。

1) ◀▶ ボタンで各種テストパターンを切り換える

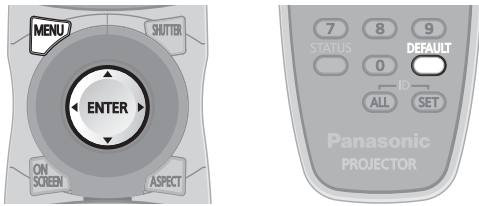
■ 内蔵テストパターンの表示チャート

◀▶ ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



「登録信号一覧」について

『メニュー画面の操作方法』（ 47 ページ）のメインメニューから「登録信号一覧」を選びます。



登録信号詳細

- 名前は、サブメモリーごとに設定可能です。
- メモリー番号：A1 (1-2)

↑ ↑
サブメモリー番号

アドレス番号 (A1、A2、…H7、H8)
信号が登録されている場合

新規登録

新規信号が入力され、リモコンまたは本体操作部の〈MENU〉ボタンを押すと登録が完了し、「メインメニュー」画面が表示されます。

お知らせ

- 本機に対して登録できるサブメモリーは基本信号を含めて 96 個までです。
- メモリー番号は 12 ページ (A ~ L の各ページに 8 個登録が可能) あり、空いているメモリーの中で若い番号に登録されます。メモリーの空きがない場合は古い信号から順番に上書きされます。
- 登録の名前は入力信号とメモリー番号により自動で決定されます。
- メニューが表示されている場合は、新規信号が入力された時点で登録が完了します。

登録信号の名前の変更

- 1) ▲▼◀▶ ボタンで詳細を表示したい信号を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 「登録信号詳細」画面を表示します。
 - 入力信号の名前、メモリー番号、入力端子、周波数、同期信号などが表示されます。
 - 〈MENU〉 ボタンを押すと「登録信号一覧」画面に戻ります。
- 3) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 「登録信号名変更」画面を表示します。
- 4) ▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、〈ENTER〉 ボタンを押して入力する
- 5) 名前の変更を完了後 ▲▼◀▶ ボタンで「OK」を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 登録が完了し「登録信号詳細」画面に戻ります。
 - ▲▼◀▶ ボタンで「CANCEL」を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押すと変更した信号名は登録されず、自動登録された信号名のままになります。

登録した信号を削除する

- 1) ▲▼◀▶ ボタンで削除する信号を選択する
- 2) 〈DEFAULT〉 ボタンを押す
 - 「登録信号削除」画面を表示します。
 - 削除しない場合は〈MENU〉ボタンを押すと「登録信号一覧」画面に戻ります。
- 3) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 選択した信号が削除されます。

サブメモリーについて

本機は同期信号源の周波数や形態により同一信号と判断した場合でも画像調整データを複数登録できるサブメモリー機能を持っています。
同一信号源によるアスペクト切り換えやホワイトバランス等、画質調整が必要な場合にご使用ください。サブメモリーには画面アスペクト比、「映像」項目で調整したデータ（「ピクチャー」、「黒レベル」等）など、信号ごとに調整できるデータすべてを含みます。

■サブメモリーへの登録方法

- 1) 通常画面（メニューが表示されていない状態）において◀▶ボタンを押す
 - サブメモリーが登録されていない場合はサブメモリー登録確認画面を表示します。
 - 現在入力している信号に対して登録されているサブメモリーの一覧が表示されます。
 - 「プロジェクターセットアップ」の「ファンクションボタン」メニューで「サブメモリー」を選択すると、◀▶ボタンの代わりに〈FUNCTION〉ボタンを使用することができます。（☞ 45、79 ページ）
- 2) 「サブメモリー一覧」において▲▼◀▶ボタンで登録するサブメモリー番号を選択する
- 3) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「登録信号名変更」画面を表示します。
- 4) 〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- 登録信号の名前を変更する場合は、『登録信号の名前の変更』（☞ 84 ページ）の手順 4)、5)を行ってください。

■サブメモリーへの切り換え方法

- 1) 通常画面（メニューが表示されていない状態）において◀▶ボタンを押す
 - 現在入力している信号に対して登録されているサブメモリーの一覧が表示されます。
- 2) 「サブメモリー一覧」において▲▼◀▶ボタンで切り換える信号を選択する
- 3) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 手順 2) で選択した信号に切り換わります。

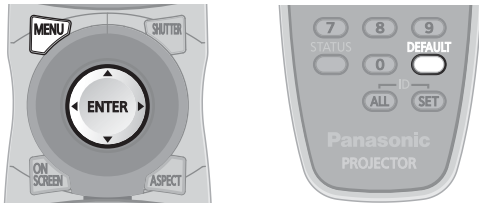
■サブメモリーの削除方法

「登録信号一覧」画面で〈DEFAULT〉ボタンを押すことにより、現在選択されているサブメモリーを削除します。

「セキュリティ」について

『メニュー画面の操作方法』（P.47 ページ）のメインメニューから「セキュリティ」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- はじめてご使用になる場合
初期パスワード：▲▶▼◀▲▶▼◀ ボタンを順に押し、〈ENTER〉 ボタンを押してください。
- 項目を選んだら◀▶▲▼ボタンで設定してください。



お願い

- 「セキュリティ」画面を表示してから行ってください。
- 以前にパスワードを変更した場合、変更後のパスワードを入力し、〈ENTER〉 ボタンを押してください。

お知らせ

- 入力したパスワードは画面上では、*印で表示されます。

セキュリティパスワード

電源を入れたときに「セキュリティパスワード」画面を表示させます。このとき正しくパスワードを入力しないと、電源〈STANDBY (⏻)〉ボタン、〈SHUTTER〉ボタン、レンズ調整以外の操作ができなくなります。

1) ▲▼ボタンで「セキュリティパスワード」を選択する

2) ◀▶ボタンで「セキュリティパスワード」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



オフ	セキュリティパスワード入力を無効
オン	セキュリティパスワード入力を有効

お知らせ

- お買い上げ時、または全ユーザーデータの初期化をしたあと、パスワード設定は「オフ」になっています。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。
- セキュリティパスワードは、セキュリティパスワードの設定を「オン」にしたあと、主電源〈MAIN POWER〉スイッチを切ると有効になります。

セキュリティパスワード変更

セキュリティパスワードを変更します。

1) ▲▼ボタンで「セキュリティパスワード変更」を選択する

2) 〈ENTER〉 ボタンを押す

- 「セキュリティパスワード変更」画面を表示します。

3) ▲▼◀▶ボタンや、数字（〈0〉～〈9〉）ボタンでパスワードを設定する

- 最大8つのボタン操作を設定できます。

4) 〈ENTER〉 ボタンを押す

5) 確認のため、再度パスワードを入力する

6) 〈ENTER〉 ボタンを押す

お知らせ

- 入力したパスワードは画面上では、*印で表示されます。
- パスワードを間違えると、画面上にエラーメッセージが表示されます。再度正しいパスワードを入力してください。
- セキュリティパスワードに数字を用いた場合、リモコンを紛失すると、セキュリティパスワードの初期化が必要になります。初期化方法については、販売店にご相談ください。

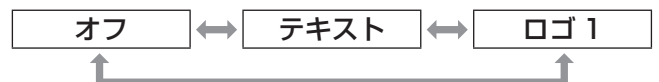
表示設定

投写中の映像に、文字や画像を重ねて表示させます。

1) ▲▼ボタンで「表示設定」を選択する

2) ◀▶ボタンで「表示設定」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



オフ	テキスト表示を無効
テキスト	テキスト表示を有効
ロゴ1	ユーザーが登録した画像を表示

お知らせ

- 「ロゴ1」の画像作成には、別途ソフトウェア『ロゴ転送ソフトウェア』が必要です。販売店にご相談ください。

テキスト変更

「表示設定」で「テキスト」を選択し、テキスト表示を有効にしたときに表示する文字を変更します。

- 1) ▲▼ボタンで「テキスト変更」を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「テキスト変更」画面を表示します。
- 3) ▲▼◀▶ボタンで文字を選び、〈ENTER〉ボタンを押して入力する
- 4) ▲▼◀▶ボタンで「OK」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - テキストが変更されます。

メニューロック

〈MENU〉ボタンでメニューを表示し、メニュー操作できるかを設定します。

- 1) ▲▼ボタンで「メニューロック」を選択する
- 2) ◀▶ボタンで「メニューロック」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ		オン
オフ		メニューのロック解除
オン		メニューのロック

お知らせ

- 「メニューロック」を「オン」に設定後、正しくパスワードを入力しないと〈MENU〉ボタンの操作ができなくなります。
- お買い上げ時、または全ユーザーデータ初期化後、パスワード設定は「オフ」になっています。
- ロック解除の状態は、本機がスタンバイ状態になるまで維持されます。

メニューロックパスワード

メニューロックパスワードを変更します。

- 1) ▲▼ボタンで「メニューロックパスワード」を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「メニューロックパスワード」画面を表示します。
- 3) ▲▼◀▶ボタンで文字を選び、〈ENTER〉ボタンを押して入力する
- 4) ▲▼◀▶ボタンで「OK」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - 中止する場合は「CANCEL」を選んでください。

お願い

- はじめてご使用になるとき、または全ユーザーデータ初期化後、初期のパスワードは「AAAA」です。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。

操作設定

本体操作部とリモコンのボタン操作の有効 / 無効を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで「操作設定」を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「操作設定」画面を表示します。
- 3) ▲▼ボタンで「本体操作部」または「リモコン」を選択する
- 4) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「本体操作部」画面または「リモコン」画面を表示します。

■本体操作部

- 本体操作部からの制御の制限を設定できます。

有効	本体ボタン操作有効
無効	本体ボタン操作無効

■リモコン

- リモコンからの制御の制限を設定できます。


有効	リモコンボタン操作有効
無効	リモコンボタン操作無効

- 5) ▲▼ボタンで「有効」または「無効」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - 確認画面が表示されます。
- 6) ◀▶ボタンで「実行」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

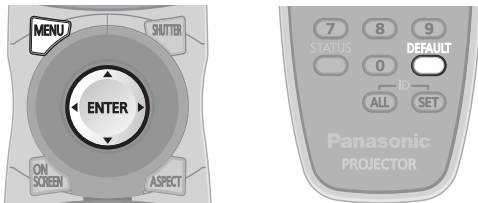
お知らせ

- 「無効」に設定した側のボタンで操作を行うと、「セキュリティパスワード」画面が表示されます。「セキュリティ」で設定したパスワードを入力してください。
- 「セキュリティパスワード」画面は〈MENU〉ボタンを押すか、約10秒何も操作しなければ消えます。
- 「本体操作部」と「リモコン」の操作を両方とも「無効」にした場合、本体操作部のボタンとリモコンボタン操作のすべてが効かなくなるため、電源を「切」（スタンバイ状態）にできなくなります。
- 設定が反映されるとオンスクリーンメニューが消えます。継続して操作を行う場合は、〈MENU〉ボタンを押してメインメニューを表示させてください。

「ネットワーク」について

『メニュー画面の操作方法』（ 47 ページ）のメインメニューから「ネットワーク」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶ ボタン、リモコンの数字 (<0> ~ <9>) ボタンで設定してください。



ネットワーク設定

ネットワーク機能を使用する前に、ネットワークの初期設定を行ってください。

- 1) ▲▼ボタンで「ネットワーク設定」を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 「ネットワーク設定」画面を表示します。
- 3) ▲▼ボタンで各項目を選択し、メニューの操作指示に従って設定を変更する

プロジェクター名 (プロジェクター名の表示および設定)	DHCP サーバーを利用する場合などに変更してください。
DHCP (DHCP クライアント機能)	DHCP サーバーを利用し自動的に IP アドレスを取得する場合は DHCP 項目をオンにします。DHCP サーバーを利用しない場合はオフにします。
IP アドレス (IP アドレスの表示および設定)	DHCP サーバーを利用しない場合は IP アドレスを入力します。
サブネットマスク (サブネットマスクの表示および設定)	DHCP サーバーを利用しない場合はサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ (デフォルトゲートウェイアドレスの表示および設定)	DHCP サーバーを利用しない場合はデフォルトゲートウェイアドレスを入力します。
保存	現在のネットワーク設定を保存します。

- 4) ▲▼ボタンで「保存」を選択し、<ENTER> ボタンを押す


お知らせ

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ネットワークコントロール

ネットワークコントロール方法を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで「ネットワークコントロール」を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 「ネットワークコントロール」画面を表示します。
- 3) ▲▼ボタンで各項目を選択し、◀▶ ボタンで設定を変更する

WEB コントロール	Web ブラウザで制御したい場合「オン」に設定します。
PJLink コントロール	PJLink プロトコルで制御したい場合「オン」に設定します。
コマンド コントロール*	シリアル端子の制御コマンド形式 ( 111 ページ) で制御したい場合「オン」に設定します。
コマンドポート	コマンドコントロールで使用するポート番号を設定します。
保存	現在のネットワークコントロール設定を保存します。

※: WEB コントロールのアドミニストレータ権限のパスワードをなしに設定している場合は、STX の代わりに 2 バイトの "00"、ETX の代わりに改行コード (0Dh) を付加してください。WEB コントロールのアドミニストレータ権限のパスワードをありに設定している場合は、STX の代わりに 32 バイトのハッシュ値と "00"、ETX の代わりに改行コード (0Dh) を付加してください。ハッシュ値は "admin1:" とパスワードと ":" と乱数を結合し MD5 で生成したものです。乱数は接続時にプロジェクターから送信される 8 バイトの数値です。

ネットワークステータス

本体のネットワーク状態を表示します。

- 1) ▲▼ボタンで「ネットワークステータス」を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 「ネットワークステータス」画面を表示します。

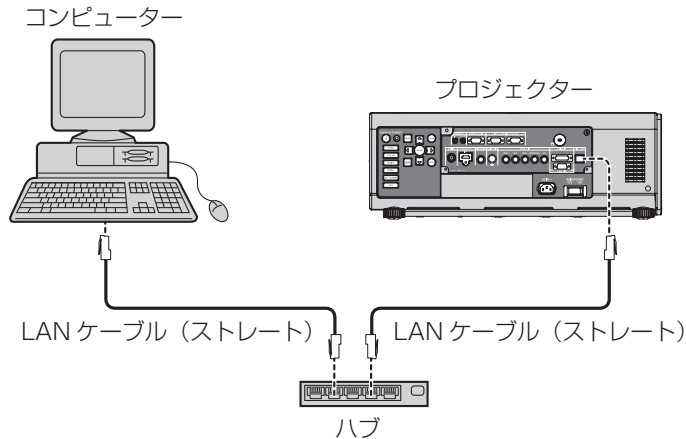
ネットワーク接続

本機はネットワーク機能を備えており、Web ブラウザを使用してコンピューターから下記のような操作ができます。

- プロジェクターの設定と調整
- プロジェクターの状態表示
- プロジェクターが異常時に E メールメッセージを送信

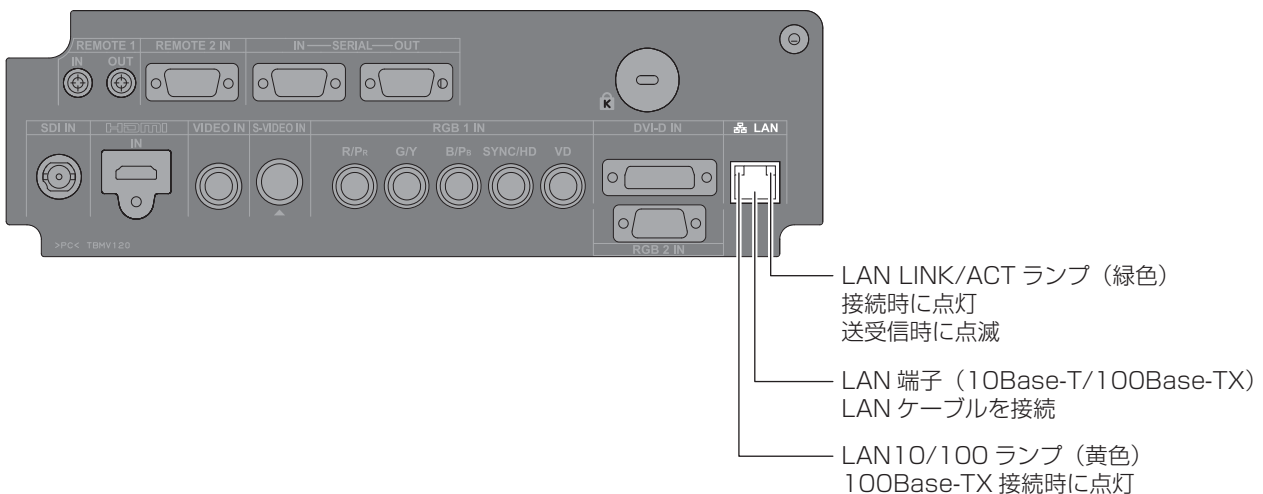
お知らせ

- ネットワーク機能を使用する場合は、LAN ケーブルが必要です。



- 本機能をご使用になる場合は、Web ブラウザが必要です。あらかじめ Web ブラウザが利用できることを確認してください。
- 対応 OS : Windows XP/Windows Vista/Windows 7, Mac OS X v10.4/v10.5/v10.6
- 対応ブラウザ : Internet Explorer 6.0/7.0/8.0, Safari 2.0/3.0/4.0 (Mac OS)
- E メール機能をご使用になる場合は、E メールサーバーと通信する必要があります。あらかじめ E メールが利用できることを確認してください。
- LAN ケーブルはカテゴリ 5 以上対応のものをご使用ください。
- LAN ケーブル長は 100 m 以下のものをご使用ください。

■ ネットワーク機能の各部の名称とはたらき



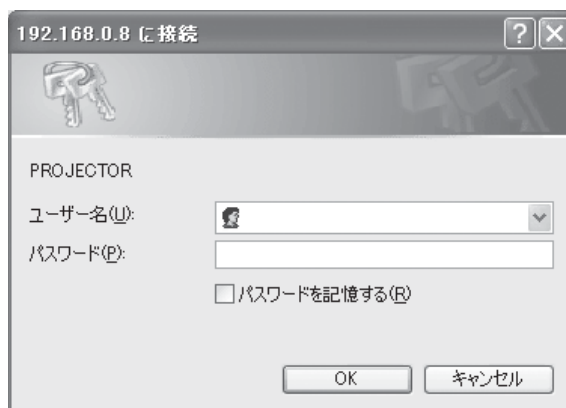
お願い

- 静電気を帯びた手 (体) で LAN 端子に触れると、静電気の放電により故障の原因になります。LAN 端子および LAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。
- LAN は屋内の機器に接続してください。

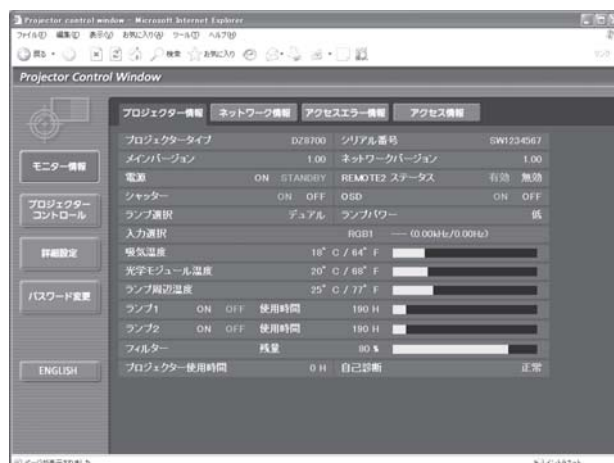
「ネットワーク」について (つづき)

Web ブラウザからのアクセスのしかた

- 1) コンピューターの Web ブラウザを起動します。
- 2) Web ブラウザの URL 入力欄に本機で設定した IP アドレスを入力します。
- 3) ユーザー名とパスワードを入力します。
 - 出荷時の設定は、ユーザー名：user1（ユーザー権限）/admin1（アドミニストレータ権限）、パスワード：panasonic（小文字）です。



- 4) [OK] をクリックすると「プロジェクター情報」ページが表示されます。

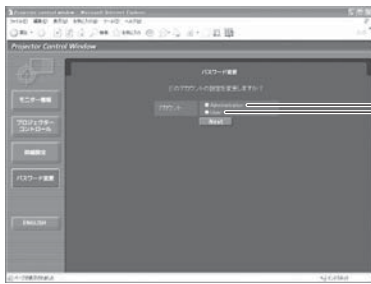


お知らせ

- Web ブラウザを同時に複数立ち上げて設定や制御を行うのは避けてください。
- 最初にパスワードの変更を行ってください。
- アドミニストレータ権限は、全機能を使用できます。ユーザー権限は、「プロジェクター情報」、「エラー情報」、「ネットワーク情報」、「基本制御」、「パスワード変更」のみ使用できます。
- パスワードを 3 回続けて間違えると、数分間ロックされます。

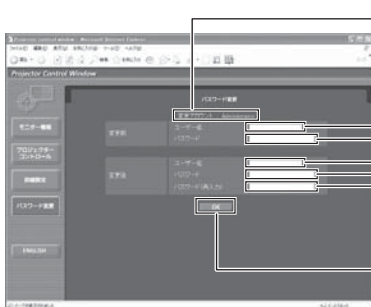
■ ユーザー名パスワード変更ページ

[パスワード変更] をクリックします。



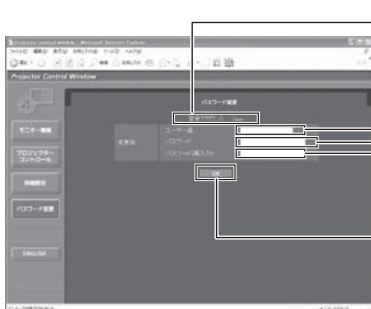
- Administrator (アドミニストレータ) を選択
- User (ユーザー) を選択

● Administrator (アドミニストレータ) について



- 変更を行うアカウントの表示
- 変更前のユーザー名入力欄
- 変更前のパスワード入力欄
- 変更後のユーザー名入力欄
- 変更後のパスワード入力欄
- 変更後のパスワード (確認) 入力欄
- パスワード変更実行ボタン

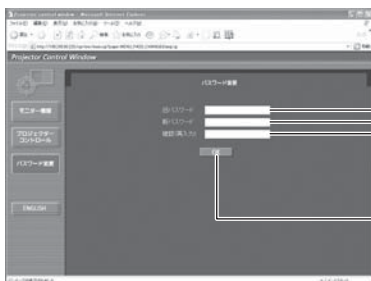
● User (ユーザー) について



- 変更を行うアカウントの表示
- 変更後のユーザー名入力欄
- 変更後のパスワード入力欄
- 変更後のパスワード (確認) 入力欄
- パスワード変更実行ボタン

● パスワード変更 (ユーザー権限)

ユーザー権限時はパスワードの変更のみ有効です。



- 旧パスワード入力欄
- 新パスワード入力欄
- 新パスワード (確認) 入力欄
- パスワード変更実行ボタン

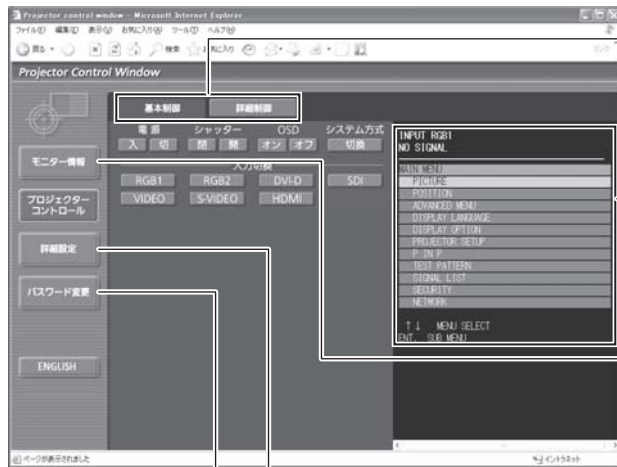
お知らせ

- 管理者アカウント変更時は「変更前のユーザー名」、「変更前のパスワード」の入力が必要です。

「ネットワーク」について (つづき)

■基本制御ページ

他のページから移行するときは、[プロジェクターコントロール] → [基本制御] をクリックします。



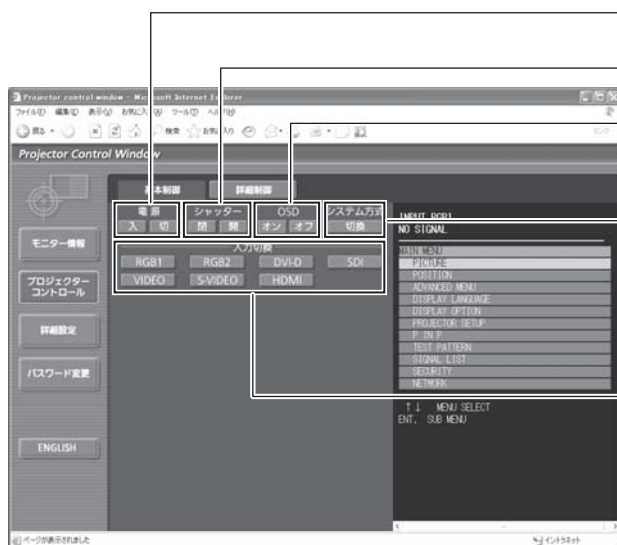
ページ切り換えタブ
クリックすると、ページが切り換わります。

オンスクリーン状態を表示します。プロジェクターのオンスクリーン表示が非表示（オフ）に設定されていても表示します。

モニター情報ボタン
この項目をクリックすると、プロジェクターの状態が表示されます。

詳細設定ボタン
この項目をクリックすると、詳細設定ページが表示されます。

パスワード変更ボタン



電源の「入」/「切」操作

シャッターの操作

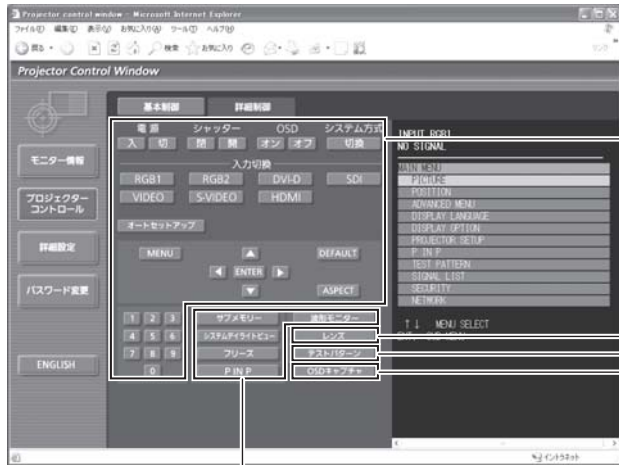
オンスクリーン表示 (OSD) の表示 (オン) / 非表示 (オフ) の切り換え

システム方式の切り換え

入力切り換え

■ 詳細制御ページ

[プロジェクターコントロール] → [詳細制御] をクリックします。



リモコンのボタンと同じように各ボタンをクリックすることによりプロジェクターを制御します。制御後に制御ページ右側のオンスクリーンを更新します。

レンズの調整

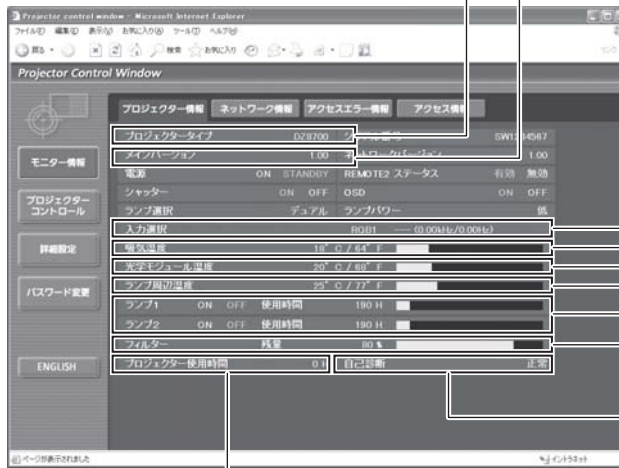
テストパターンの表示

制御ページ右側のオンスクリーンを最新の状態に更新します。

各メニューの表示

■ プロジェクター情報ページ

[モニター情報] → [プロジェクター情報] をクリックします。
以下の項目における本機の状態を表示します。



プロジェクターの種類を表示します。

プロジェクター本体のファームウェアバージョンを表示します。

入力切り換えの状態を表示します。

プロジェクターの吸気温度状態を表示します。

プロジェクターの庫内温度状態を表示します。

プロジェクターのランプ周辺温度状態を表示します。

ランプの点灯状態、使用時間を表示します。

フィルターの残量を表示します。

自己診断情報を表示します。

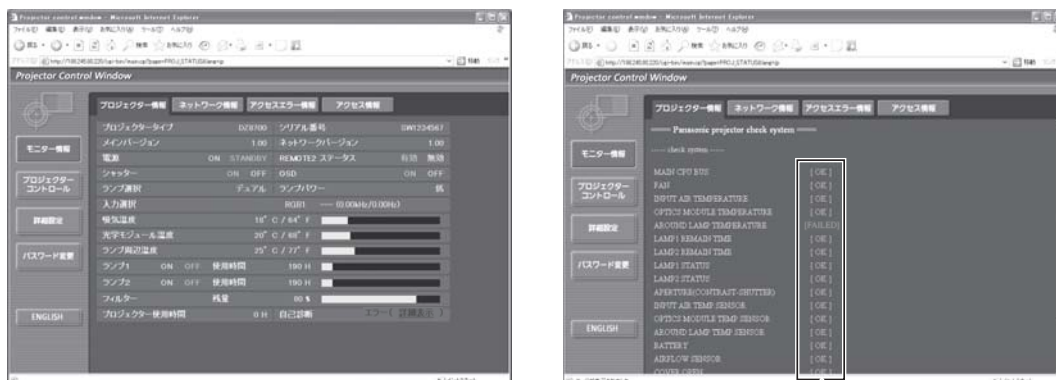
プロジェクターの稼働時間を表示します。

「ネットワーク」について (つづき)

■ エラー情報ページ

「モニター情報」画面で「エラー（詳細表示）」が表示されたとき、その部分をクリックするとエラー内容が表示されます。

- エラーの内容によっては、プロジェクター保護のためスタンバイ状態になります。



OK : 正常動作
FAILED : 異常発生

● 異常発生 [FAILED] の項目説明 :

項目	説明
MAIN CPU BUS	マイコン回路に異常があります。販売店にご相談ください。
FAN	ファンやファン駆動回路に異常があります。販売店にご相談ください。
INPUT AIR TEMPERATURE	吸気温度が高くなっています。暖房機器の近くなど、使用環境温度の高い環境で使用している可能性があります。
OPTICS MODULE TEMPERATURE	本機内部の温度が高くなっています。暖房機器の近くなど、使用環境温度の高い環境で使用している可能性があります。
AROUND LAMP TEMPERATURE	ランプ周辺の温度が高くなっています。排気孔がふさがれている可能性があります。
LAMP1 REMAIN TIME	ランプ使用時間が所定の時間を超えており、ランプを交換する時期になっています。
LAMP2 REMAIN TIME	
LAMP1 STATUS	ランプ点灯に失敗しています。光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。
LAMP2 STATUS	
APERTURE (CONTRAST-SHUTTER)	コントラストシャッター回路に異常があります。販売店にご相談ください。
INPUT AIR TEMP. SENSOR	吸気温度感知用センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
OPTICS MODULE TEMP. SENSOR	本機内部の温度感知センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
AROUND LAMP TEMP. SENSOR	排気温度感知用センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
BATTERY	電池交換が必要です。販売店にご相談ください。
AIRFLOW SENSOR	風量センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
COVER OPEN	ランプユニット収納扉の取り付けが不完全です。ランプユニット収納扉の取り付けを確認してください。
ACF UNIT	ACFユニットが装着されていないか、正しく動作していません。(103 ページ)
FILTER REMAIN	フィルター残量が少なくなっています。(102 ページ)
BRIGHTNESS SENSOR	輝度センサーに異常があります。電源を入れ直しても直らない場合は販売店にご相談ください。
AC POWER	AC 入力の電圧が低下しています。本機の消費電流に対し、余裕のある電気配線にしてください。

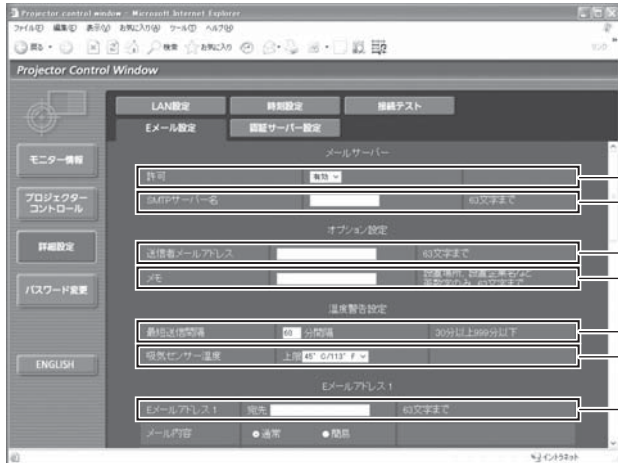
お知らせ

- アクセスエラー情報 / アクセス情報は、過去数千回分のアクセス / リクエストを表示します。一度に多量のアクセス / リクエストが発生した場合は情報から漏れる可能性があります。
- アクセスエラー情報 / アクセス情報は、定期的に確認してください。

■ E メール設定ページ

エラー発生時やランプの使用時間が設定値になったとき、あらかじめ設定しておいた E メールアドレス（最大 2 か所）にメールを送信することができます。

[詳細設定] → [E メール設定] をクリックします。



Eメール機能を使用する場合は有効を選択してください。

Eメールサーバー(SMTP)のIPアドレスかサーバー名を入力してください。サーバー名を入力する場合はDNSサーバーの設定が必要です。

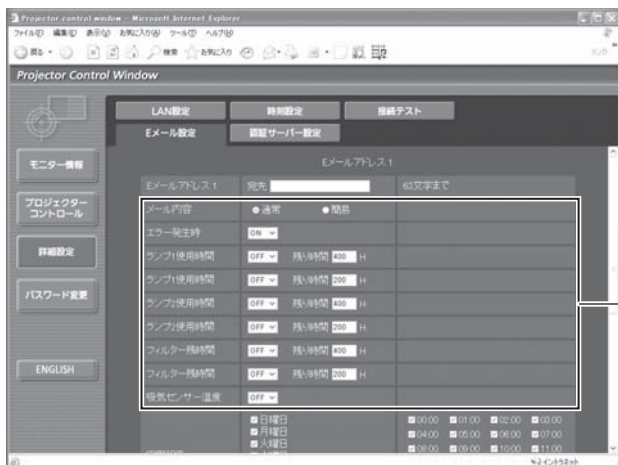
プロジェクターのEメールアドレスを入力してください。(半角で63文字まで)

Eメールの発信元がわかりやすいようにプロジェクターの設置場所などを入力することができます。(半角で63文字まで)

温度警告メールの最短時間間隔を変更できません。初期値は60分です。この場合、温度警告メールを送信後60分間は、再び警告温度になってもメールを送信できません。

温度警告メール用の設定温度を変更できます。この値を超えた場合、温度警告メールを送信します。

送信する宛先のEメールアドレスを入力してください。



Eメールを送信する条件を選択します。

メール内容：

「通常」か「簡易」を選択します。

エラー発生時：

自己診断でエラーが発生した場合

ランプ 1 使用時間：

ランプ 1 の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ 2 使用時間：

ランプ 2 の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

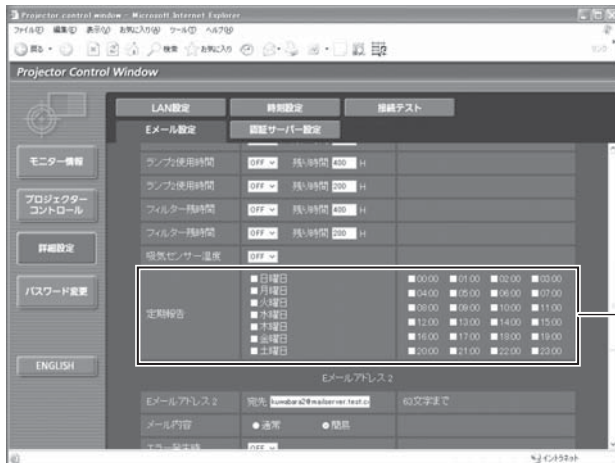
フィルター残時間：

フィルターの残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

吸気センサー温度：

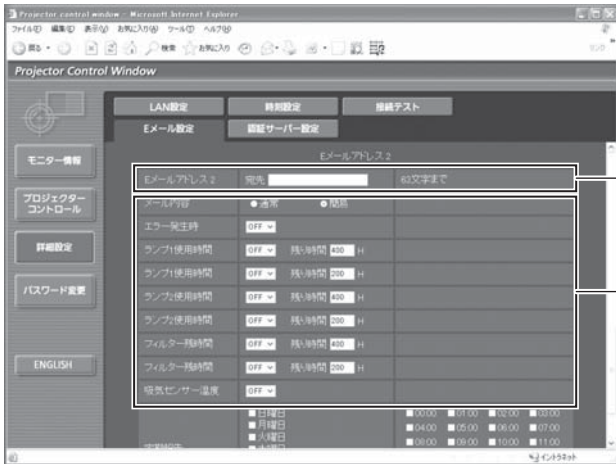
吸気温度が上欄に設定された値になった場合

「ネットワーク」について (つづき)



Eメールを定期的送信する場合はチェックします。チェックの付いている曜日・時間にメールを送信します。

■ Eメール設定ページ (つづき)



2つのEメールアドレスを使う場合に、送信する宛先のEメールアドレスを入力します。2つのEメールアドレスを使わない場合は未記入にします。

2つ目のEメールアドレスにEメールを送信する条件を選択します。

メール内容：

「通常」か「簡易」を選択します。

エラー発生時：

自己診断でエラーが発生した場合

ランプ1使用時間：

ランプ1の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ2使用時間：

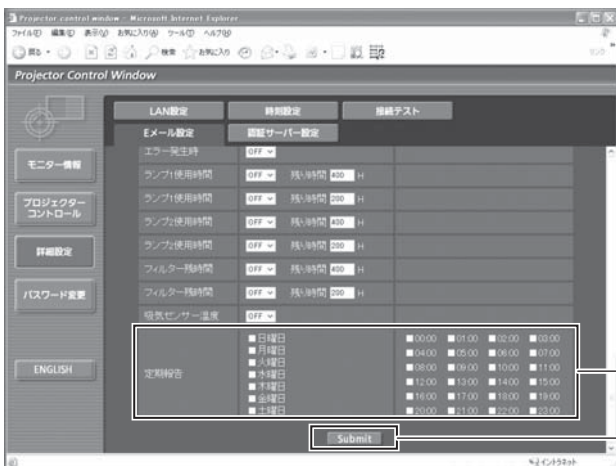
ランプ2の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

フィルター残時間：

フィルターの残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

吸気センサー温度：

吸気温度が上欄に設定された値になった場合



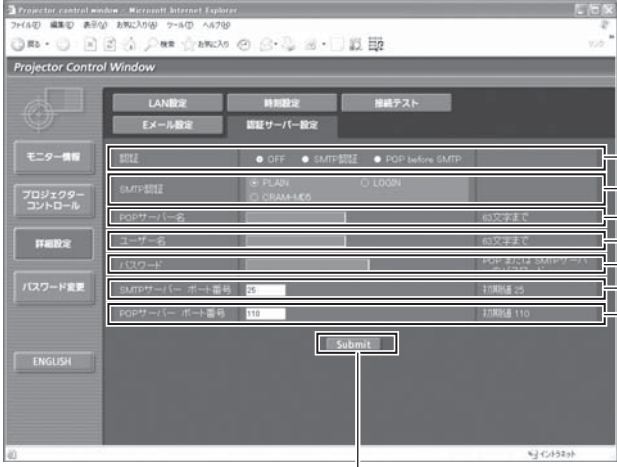
2つ目のEメールアドレスにEメールを定期的に送信する場合はチェックします。チェックの付いている曜日・時間にメールを送信します。

すべての入力を終わったら、[Submit] ボタンをクリックします。変更メールが送信されます。

「ネットワーク」について (つづき)

■ 認証サーバー設定ページ

メール送信に POP 認証または SMTP 認証が必要な場合は認証項目を設定します。
[詳細設定] → [認証サーバー設定] をクリックします。



インターネットプロバイダー側が指示する認証方式を選択します。

SMTP 認証を選択した場合に設定します。

POP サーバー名の入力
使用可能文字：
英数字 (A ~ Z, a ~ z, 0 ~ 9)
マイナス記号 (-) ピリオド (.)

POP サーバーまたは SMTP サーバーのユーザー名の入力

POP サーバーまたは SMTP サーバーのパスワードの入力

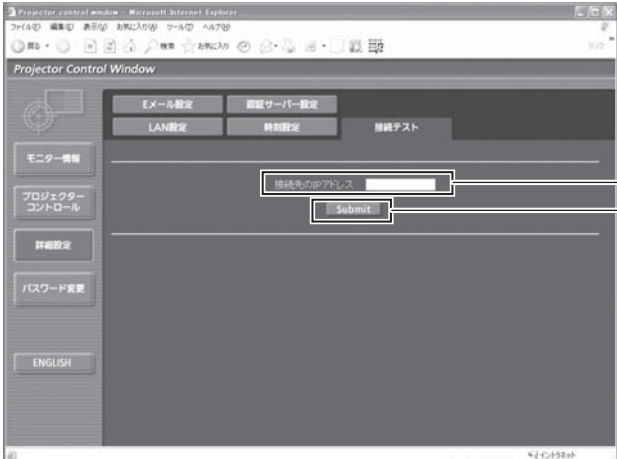
SMTP サーバーのポート番号の入力 (通常は 25 番です)

POP サーバーのポート番号の入力 (通常は 110 番です)

設定の更新ボタン

■ 接続テストページ

メールサーバー、POP サーバー、DNS サーバーなどとネットワークが接続しているかを確認できます。
[詳細設定] → [接続テスト] をクリックします。



テストするサーバーの IP アドレスの入力

テストの実行ボタン

```
PING 198.245.80.10 (198.245.80.10): 56 data bytes
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=0 ttl=255 time=0.7 ms
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=1 ttl=255 time=0.4 ms
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=2 ttl=255 time=0.4 ms
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=3 ttl=255 time=0.4 ms
```

接続できた場合の表示例

```
--- 198.245.80.10 ping statistics ---
4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.4/0.4/0.7 ms
```

```
PING 198.245.80.100 (198.245.80.100): 56 data bytes
--- 198.245.80.100 ping statistics ---
4 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
```

接続できなかった場合の表示例

■送信するメール内容

●Eメール設定を行ったときはこのようなメールを発信します。

```

=== Panasonic projector report(CONFIGURE) ===
Projector Type      : DZ****
Serial No           : SW1234567

----- E-mail setup data -----
TEMPERATURE WARNING SETUP
MINIMUM TIME       at [ 60 ] minutes interval
INPUT AIR TEMPERATURE Over [ 45C / 113F ]

ERROR              [ OFF ]
LAMP1 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 400 ] H
LAMP1 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 200 ] H
LAMP2 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 400 ] H
LAMP2 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 200 ] H
FILTER REMAIN      [ OFF ] at REMAIN [ 400 ] H
FILTER REMAIN      [ OFF ] at REMAIN [ 200 ] H
INPUT AIR TEMPERATURE [ OFF ]

PERIODIC REPORT
Sunday [ OFF ] Monday [ OFF ] Tuesday [ OFF ] Wednesday [ OFF ]
Thursday [ OFF ] Friday [ OFF ] Saturday [ OFF ]

00:00 [ OFF ] 01:00 [ OFF ] 02:00 [ OFF ] 03:00 [ OFF ]
04:00 [ OFF ] 05:00 [ OFF ] 06:00 [ OFF ] 07:00 [ OFF ]
08:00 [ OFF ] 09:00 [ OFF ] 10:00 [ OFF ] 11:00 [ OFF ]
12:00 [ OFF ] 13:00 [ OFF ] 14:00 [ OFF ] 15:00 [ OFF ]
16:00 [ OFF ] 17:00 [ OFF ] 18:00 [ OFF ] 19:00 [ OFF ]
20:00 [ OFF ] 21:00 [ OFF ] 22:00 [ OFF ] 23:00 [ OFF ]

----- check system -----
MAIN CPU BUS       [ OK ]
FAN                 [ OK ]
INPUT AIR TEMPERATURE [ OK ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE [ OK ]
AROUND LAMP TEMPERATURE [ OK ]

```

●エラーになったときはこのようなメールを発信します。

```

=== Panasonic projector report(ERROR) ===
Projector Type      : DZ****
Serial No           : SW1234567

----- check system -----
MAIN CPU BUS       [ OK ]
FAN                 [ OK ]
INPUT AIR TEMPERATURE [ OK ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE [ OK ]
AROUND LAMP TEMPERATURE [ OK ]
LAMP1 REMAIN TIME  [ OK ]
LAMP2 REMAIN TIME  [ FAILED ]
LAMP1 STATUS       [ OK ]
LAMP2 STATUS       [ OK ]
APERTURE(CONTRAST-SHUTTER) [ OK ]
INPUT AIR TEMP.SENSOR [ OK ]
OPTICS MODULE TEMP.SENSOR [ OK ]
AROUND LAMP TEMP.SENSOR [ OK ]
BATTERY            [ OK ]
AIRFLOW SENSOR     [ OK ]
COVER OPEN         [ OK ]
BRIGHTNESS SENSOR [ OK ]
ACF UNIT           [ OK ]
FILTER REMAIN      [ OK ]
AC POWER           [ OK ]
(Error code 01 00 00 00 00 00 00)

Input air temperature      : 18 degC / 64 degF
Optics module temperature : 20 degC / 68 degF
Around lamp temperature    : 25 degC / 77 degF
SET RUNTIME                2000 H
POWER ON                   100 times
LAMP1 ON                   100 times
LAMP1 LOW                  0 H
LAMP1 HIGH                 2000 H
LAMP1 REMAIN               0 H
LAMP2 ON                   0 times
LAMP2 LOW                  0 H
LAMP2 HIGH                 0 H
LAMP2 REMAIN              2000 H

----- Remaining filter -----
QUANTITY                   100 %
APPROX. TIME               10000 H

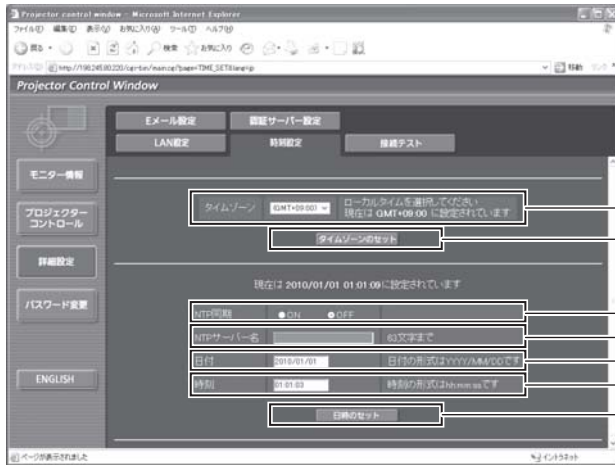
----- Current status -----
MAIN VERSION                1.00
NETWORK VERSION             1.00

```

「ネットワーク」について (つづき)

■時刻設定ページ

[詳細設定] → [時刻設定] をクリックします。



タイムゾーンを選択します。
(日本は GMT + 09 : 00)

タイムゾーンの設定更新ボタン

自動で日時を設定する場合は ON にします。

自動で日時を設定する場合は NTP サーバーの IP アドレスかサーバー名を入力します。(サーバー名を入力する場合は DNS サーバーの設定が必要です。)

日付の入力欄

時間の入力欄

日時設定の更新ボタン

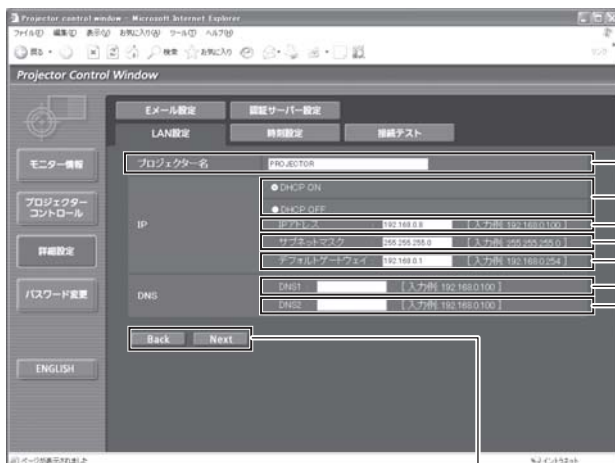
お知らせ

- 時刻を設定してもすぐに時刻が合わなくなる場合は、本機内部の電池交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

■LAN 設定ページ

[詳細設定] → [LAN 設定] をクリックします。

- [LAN 設定] をクリックすると、「CAUTION!」画面が表示されます。
- [Next] ボタンをクリックすると、現在の設定内容が表示されます。
- [Change] ボタンをクリックすると、下図の設定変更画面が表示されます。



プロジェクトの名前を入力します。DHCP サーバーを利用する場合などにホスト名が必要であれば入力してください。

DHCP クライアント機能を有効にする場合は ON にします。

DHCP サーバーを利用しない場合は IP アドレスを入力します。

DHCP サーバーを利用しない場合はサブネットマスクを入力します。

DHCP サーバーを利用しない場合はゲートウェイアドレスを入力します。

DNS1 サーバーアドレス (プライマリー) の入力
使用可能文字：
数字 (0 ~ 9)、ピリオド (.)
(例：192.168.0.253)

DNS2 サーバーアドレス (セカンダリー) の入力
使用可能文字：
数字 (0 ~ 9)、ピリオド (.)
(例：192.168.0.254)

[Next] ボタンをクリックすると設定の更新確認画面に移行します。
[Submit] ボタンをクリックすると更新されます。

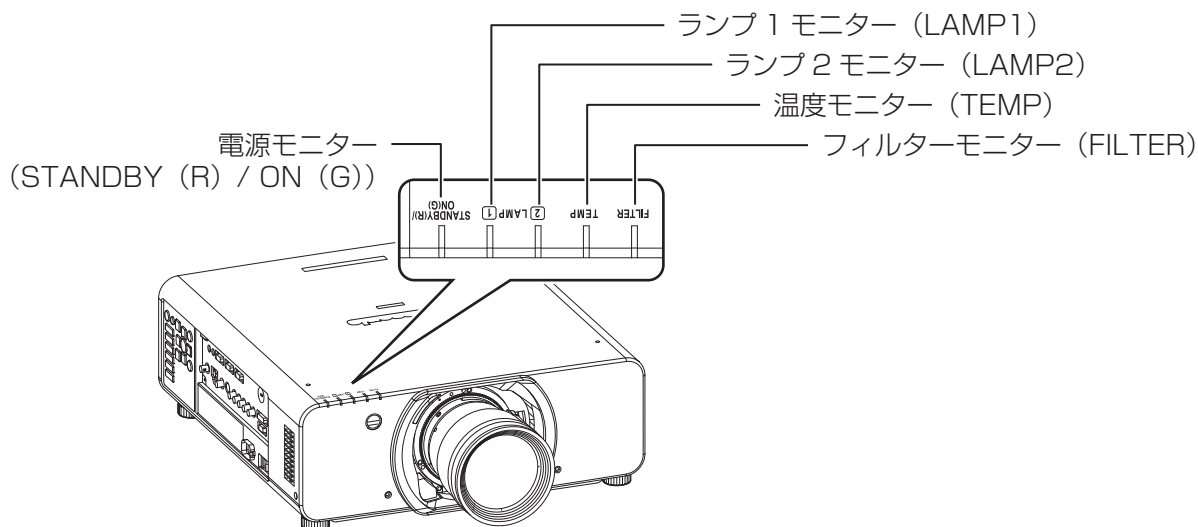
ランプ / 温度 / フィルターモニター

モニターが点灯したら

本機内部に異常が発生すると、ランプ・温度・フィルターのモニターランプが点灯や点滅でお知らせします。モニターの状態を調べて、次の処置を行ってください。

お願い

- 処置を行う際に電源を切るときは『電源を切る』の手順を必ずお守りください。(P.38 ページ)



■ ランプモニター

モニター表示	現象	ここをお調べください	処置のしかた
赤色点灯	ランプユニットの交換時期を表示している	● 本機の電源を入れたときに「ランプを交換してください。」という表示がでませんでしたか。	● ランプユニットの使用時間が2800時間（ランプ出力「高」設定時）に達すると点灯します。 ● ランプユニットの交換を実施してください。
赤色点滅 (1回)	ランプユニットが装着されていない	● ランプユニットが装着されているかご確認ください。	● ランプユニットが装着されていない場合は、ランプユニットを装着してください。 ● ランプユニットが装着されているのに赤色点滅をしている場合は、販売店にご相談ください。
赤色点滅 (3回)	ランプまたはランプ用電源の異常を検知している	● 電源を切ってからすぐに電源を入れ直していませんか。 ● ランプ回路に異常が発生しています。 ● 電源電圧が変動（低下）していませんか。	● 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。 ● 38ページの手順で主電源〈MAIN POWER〉スイッチを切り、販売店にご相談ください。

お知らせ

- 上記の処置をしても〈ランプモニター〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

ランプ / 温度 / フィルターモニター (つづき)

■ 温度モニター

モニター表示	現象	ここをお調べください	処置のしかた
赤色点灯	ウォームアップ状態	● 気温が低い (0℃付近) 状態で電源を「入」にしませんでしたか。	● このままの状態でも 5 分ほどお待ちください。 ● 周囲温度 0℃～45℃の場所に設置してください。
	内部が高温になっている (警告)	● 吸気孔 / 排気孔がふさがれていませんか。 ● 気温の高い所で使用していませんか。	● 吸気孔 / 排気孔をふさいでいるものを取り除いてください。 ● 周囲温度 0℃～45℃、周囲湿度 20%～80% (非結露) の場所に設置してください。
赤色点滅 (1 回)	フィルターがめづまりしている	● 〈フィルターモニター〉が点灯していませんか。	● 38 ページの手順で主電源〈MAIN POWER〉スイッチを切り、ACF ユニットの交換してください。
赤色点滅 (2 回)	内部が高温になっている (スタンバイ状態)	—	● 38 ページの手順で主電源〈MAIN POWER〉スイッチを切り、販売店にご相談ください。
赤色点滅 (3 回)	ファンが止まっている	—	● 38 ページの手順で主電源〈MAIN POWER〉スイッチを切り、販売店にご相談ください。

お知らせ

- 上記の処置をしても〈温度モニター〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

■ フィルターモニター

モニター表示	現象	ここをお調べください	処置のしかた
赤色点灯	フィルターがすべて巻き取られ、新しい面がありません	● 「プロジェクターセットアップ」メニューの「ステータス」でフィルターの残量をご確認ください。(P.78 ページ)	● ACF ユニットの交換してください。
赤色点滅	ACF ユニットの新しい面が装着されていません	● ACF ユニット収納部をご確認ください。	● ACF ユニットの装着してください。
オレンジ色点灯	ACF の新しい面が残りわずかです セット使用残り約 200 時間です	● 「プロジェクターセットアップ」メニューの「ステータス」でフィルターの残量をご確認ください。(P.78 ページ)	● 新しい ACF ユニットをご用意ください。
オレンジ色点滅	ACF ユニットが正しく動作していません	● フィルターに異物がはさまっていないかご確認ください。	● 異物がある場合は取り除いてください。 ● 異物が見当たらない場合は、販売店にご相談ください。

お知らせ

- 上記の処置をしても〈フィルターモニター〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。
- 電源「入」時に ACF ユニットの新しい面が装着されていない場合、〈フィルターモニター〉が赤色点滅し、10 分経過すると電源が切れます。
- フィルターが巻き取られている間は、緑色点滅します。
- フィルターが巻き取られているときに、動作音が聞こえることがあります。
- ほこりの多い環境では、オレンジ色点灯開始後の使用可能な残り時間が短くなる場合があります。約 200 時間は目安です。お早めに新しい ACF ユニットをご用意ください。
- 海拔 1400 m 以上で「高地モード」の設定を「オフ」で使用した場合、寿命が短くなります。
- ACF ユニットが正しく動作しない場合、〈フィルターモニター〉がオレンジ色に点滅する前に、ACF ユニット部分からフィルター巻き取り機構のクラッチの動作音がすることがあります。
- スモークカットフィルターを取り付けている場合は、通常よりも点灯 / 消灯の時間が長い緑色点滅します。
- フィルター残量がなくなると、「デュアル」を選択していてもランプ 1 灯のみの点灯状態になります。新品のフィルターと交換後、フィルター残量リセットを行うと解除されます。

部品交換

部品交換の前に

- 部品交換を行うときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。(☞ 38、36 ページ)
- 電源を切るときは『電源を切る』の手順を必ずお守りください。(☞ 38 ページ)

部品交換

■ ACF (オートクリーニングフィルター) ユニット

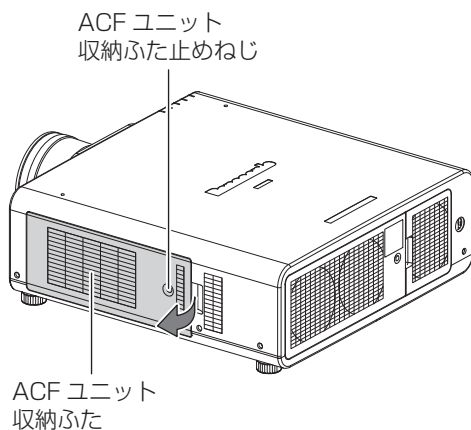
ACF ユニットは交換部品 (別売り) です。ACF ユニットは巻き取り方式を採用しており、自動的に汚れた面を巻き取ります。

「プロジェクターセットアップ」メニューの「ステータス」(☞ 78 ページ) でフィルターの残量の確認を行い、フィルターの残量が少なくなってきたら、交換用の ACF ユニットをご用意ください。

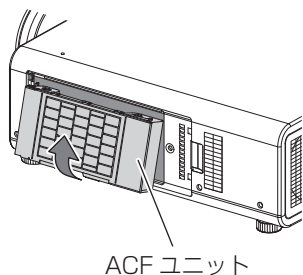
- 交換用フィルターカートリッジ (品番: ET-ACF310 (サービス部品扱い)) をご購入の際は、販売店にご相談ください。

■ ACF ユニットの交換手順

- 1) 「ACF ユニット収納ふた止めねじ」(1 本) を空回りするまで回し、「ACF ユニット収納ふた」を取り外す



- 2) プロジェクター本体から「ACF ユニット」を取り外す

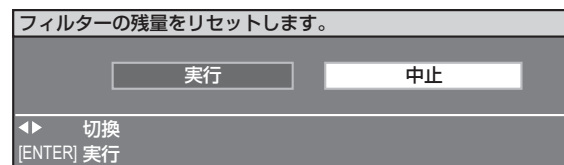


- 「ACF ユニット」を取り出したあとに、ACF ユニット収納部および本体側吸気孔に大きなごみ、ほこりがある場合は、取り除いてください。

- 3) 新しい「ACF ユニット」をプロジェクター本体にしっかりと押し込む

- 4) 「ACF ユニット収納ふた」を取り付け、「ACF ユニット収納ふた止めねじ」(1 本) でしっかりと締めつける

- 5) 「ACF ユニット」交換後、「プロジェクターセットアップ」メニューの「フィルター残量リセット」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す (☞ 80 ページ)



- 6) ◀▶ ボタンで「実行」を選び、〈ENTER〉ボタンを押す

- フィルターの残量がリセットされます。

お願い

- ACF ユニットを取り付ける際は、フィルター面をさわらないようにご注意ください。
- ACF ユニットは必ず取り付けてご使用ください。ACF ユニットが装着されていない場合、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因になるため 10 分後に電源が切れます。(電源が切れるまでの時間が、1 分刻みで表示されます。)
- ACF ユニットは必ず未使用品と交換してください。

お知らせ

- ACF ユニットの交換時期は、使用環境により異なります。
- リセットを実行するとフィルターの巻き取りを行います。
- 付属品や別売り部品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

部品交換 (つづき)

■ ランプユニット

ランプユニットは消耗部品です。「プロジェクター
セットアップ」メニューの「ステータス」(👁️ 78
ページ) でランプの使用時間を確認し、定期的
に交換を行ってください。

ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼
することをお勧めします。販売店にご相談くださ
い。

また、ランプユニット(品番:ET-LAD310(1 灯)、
ET-LAD310W(2 灯))をご購入の際は、販売店
にご相談ください。



警告

■ ランプユニットの交換は、ランプが冷えて
から(1 時間以上待ってから) 行う



カバー内部は高温になっているため、
やけどの原因になります。

■ ランプユニットの交換上のお願

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅いものに当てたり落下させたりすると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- ランプユニットを交換する際は、必ずランプユニットの取っ手を持って取り扱ってください。
- ランプは破裂することがあります。ランプのガラス破片が飛散しないように、ランプユニットは慎重に交換してください。また本機を天井に取り付けている場合は、ランプユニットの真下で交換作業をしたり、顔を近づけたりしないでください。
- 取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

お 願 い

- 指定のランプユニット以外は使用しないでください。
- 付属品や別売り部品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

■ ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。交換の目安は 3 000 時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境などの影響を受けて、3 000 時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めのランプユニットの準備をお勧めします。3 000 時間を過ぎても交換しないまま使用すると、本機故障の原因になるため約 10 分後に自動消灯します。

	オンスクリーン表示	ランプモニター
2 800 時間以降	30 秒間表示されます。30 秒以内にいずれかのボタンを押せば、表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。
3 000 時間以降	いずれかのボタンを押さない限り、表示は消えません。	

お 知 ら せ

- 3 000 時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については『保証とアフターサービス』(👁️ 121 ページ) をご覧ください。

■ ランプユニットの交換手順

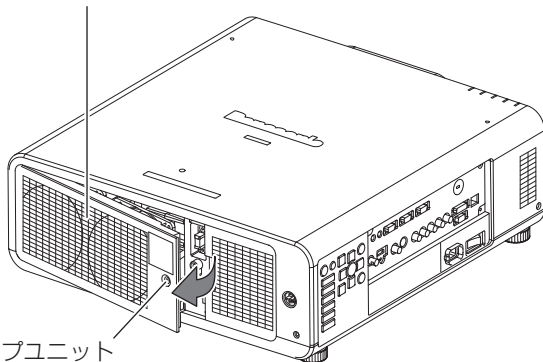
お願い

- 本機を天井に取り付けている場合、ランプユニットの近辺で顔を近づけて作業をしないでください。
- ランプユニットや、ランプユニット収納扉は確実に取り付けてください。ランプユニットやランプユニット収納扉の取り付けが不完全な場合、保護回路が作動して電源が入りません。
- ランプユニットが取り付けにくいときは、いったん取り外してから入れ直してください。無理に押し込むとコネクタ部分が破損する場合があります。

1) 『電源を切る』(☞ 38 ページ)の手順を守り、主電源〈MAIN POWER〉スイッチを切ったあと、コンセントから電源プラグを抜き、1 時間以上待ってランプユニット近辺が冷えていることを確認する

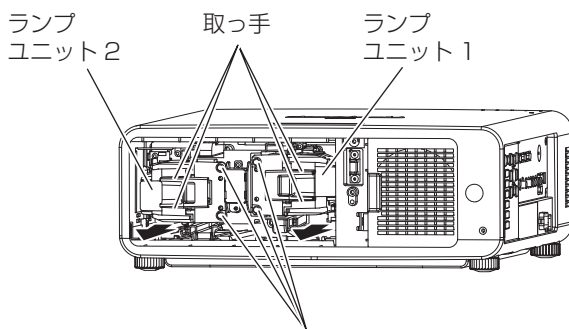
2) 「ランプユニット収納扉固定ねじ」(1 本)をプラスドライバーで空回りするまで回し、「ランプユニット収納扉」をしっかりと保持しながら矢印方向に開く

ランプユニット収納扉



ランプユニット
収納扉固定ねじ

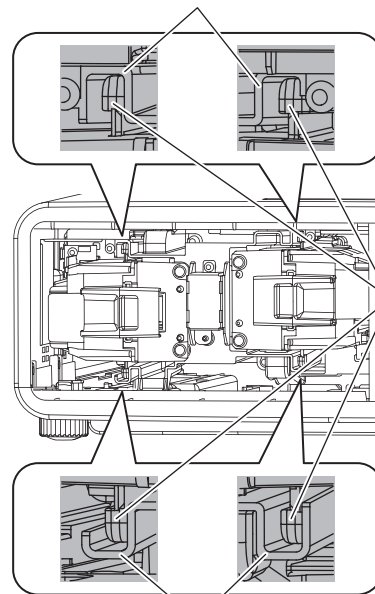
3) 「ランプユニット固定ねじ」(それぞれ 2 本ずつ)をプラスドライバーで外し、取っ手をつまんで「ランプユニット」を水平方向に取り出す



ランプユニット固定ねじ

4) 新しいランプユニットを挿入位置に注意して押し込む

ランプユニット取り付けガイド用溝



ランプユニット取り付けガイド用溝

5) 「ランプユニット固定ねじ」(それぞれ 2 本ずつ)をプラスドライバーでしっかりと締めつける

6) 手順 2) と逆の操作で「ランプユニット収納扉」を閉じ、「ランプユニット収納扉固定ねじ」(1 本)をプラスドライバーでしっかりと締めつける

お知らせ

- 新しいランプユニットに交換した場合、本機側でランプユニットの積算時間が自動的にリセットされます。

故障かな!?

もう一度次の点をお調べください。詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	—
	● 主電源〈MAIN POWER〉スイッチを「切」にしていますか。	38
	● コンセントに電源がきていますか。	—
	● ブレーカーが落ちていませんか。	—
	● 〈ランプモニター〉または〈温度モニター〉が点灯または点滅していませんか。	101、102
映像がでない	● ランプユニット収納扉は確実に取り付けられていますか。	105
	● 映像（出力）機器との接続は正しく行われていますか。	32
	● 入力切り換えは正しく選択されていますか。	44
	● 「黒レベル」の調整が最小になっていませんか。	51
	● 本機に接続している外部機器は、正常に動作していますか。	—
	● シャッター機能を使用していませんか。	44
映像がボヤけている	● 〈電源モニター〉が赤色に点滅している場合は、販売店にご相談ください。	—
	● レンズのフォーカスは合っていますか。	39
	● 投写距離は適切ですか。	20
	● レンズが汚れていませんか。	13
	● 本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。	—
色が薄い/ 色あいが悪い	● 「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。	51
	● 本機に接続している機器は正しく調整されていますか。	—
	● RGB ケーブルが切れていませんか。	—
リモコンが働かない	● 乾電池が消耗していませんか。	—
	● 乾電池の極性は正しくセットされていますか。	15
	● リモコンと本機のリモコン受信部の間に障害物はありませんか。	15
	● リモコン操作有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。	15
	● 蛍光灯などの影響を受けていませんか。	15
	● 「操作設定」の「リモコン」の設定が「無効」になっていませんか。	87
	● リモート2（REMOTE2）端子を使って外部制御を行っていませんか。	114
● ID 設定の操作を間違えていませんか。	18、71	
メニュー画面がでない	● オンスクリーン表示機能を非表示（オフ）にしていますか。	44
本体操作部のボタンが働かない	● 「操作設定」の「本体操作部」の設定が「無効」になっていませんか。	87
	● リモート2（REMOTE2）端子を使って外部制御を行っていませんか。	114
正常な映像が映らない	● 「システムセレクター」の選択は正しく行われていますか。	54
	● ビデオテープなど、映像ソース側に異常はありませんか。	—
	● 本機が対応できない信号を入力していませんか。	116
コンピューターからの映像が映らない	● ケーブルが長くありませんか。（10 m 以下にしてください。）	—
	● ノート型コンピューターの外部映像出力が、正しく設定されていますか。（例：[Fn] + [F3] あるいは [Fn] + [F10] キーを同時に押すと、外部出力設定が切り替わる場合があります。コンピューターの機種によって異なりますので、コンピューター付属の説明書をご覧ください。）	—

症状	ここをお調べください	ページ
コンピューターの DVI-D 出力の絵が でない	● 「DVI-D IN」 の設定が 「EDID3」 ・ 「EDID2 : PC」 になっていますか。	68
	● コンピューターのグラフィックアクセラレーターのドライバーを最新バージョンにすることで改善する可能性があります。	—
	● 「DVI-D IN」 の設定を行ってから、コンピューターの電源を入れ直すことで改善する可能性があります。	68
映像が急に 暗くなった	● フィルターを使い切っていませんか。 (フィルターを使い切ると、シャットダウンせずに 1 灯のランプ出力「低」モードに強制的に変更されます。)	102

お願い

- 表の内容を確認後、正常に動作しない場合は販売店にご相談ください。(👉 121 ページ)

PJLink プロトコルを使用する

本機のネットワーク機能は PJLink クラス 1 に対応しており、PJLink プロトコルを使用してコンピューターからプロジェクターの設定やプロジェクターの状態問い合わせの操作ができます。

■対応コマンド

PJLink プロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容	備考
POWR	電源制御	パラメーター 0 = スタンバイ 1 = 電源「入」
POWR ?	電源状態問い合わせ	パラメーター 0 = スタンバイ 1 = 電源「入」 2 = クーリング中 3 = ウォームアップ中
INPT	入力切り換え	パラメーター 11 = RGB1 12 = RGB2 21 = VIDEO 22 = S-VIDEO 31 = DVI-D 32 = HDMI 33 = SDI (PT-DZ8700、PT-DS8500 のみ)
AVMT	シャッター制御	パラメーター 30 = シャッターモード オフ (映像ミュート解除) 31 = シャッターモード オン (映像ミュート)
AVMT ?	シャッター状態問い合わせ	
ERST ?	エラー状態問い合わせ	パラメーター 1 バイト目：ファンエラーを意味し、0～2 のいずれか 2 バイト目：ランプエラーを意味し、0～2 のいずれか 3 バイト目：温度エラーを意味し、0～2 のいずれか 4 バイト目：カバーオープンエラーを意味し、0～2 のいずれか 5 バイト目：フィルター警告を意味し、0～2 のいずれか 6 バイト目：その他のエラーを意味し、0～2 のいずれか 0～2 の各意味は以下の通り 0 = エラーを検知していない 1 = 警告 2 = エラー
LAMP ?	ランプ状態問い合わせ	パラメーター 1 つ目の数字 (1～5 桁)：ランプ 1 使用時間 2 つ目の数字：0 = ランプ 1 消灯、1 = ランプ 1 点灯 3 つ目の数字 (1～5 桁)：ランプ 2 使用時間 4 つ目の数字：0 = ランプ 2 消灯、1 = ランプ 2 点灯
INST ?	入力切り換え一覧問い合わせ	パラメーターは下記の値を応答します 「11 12 21 22 31 32」(PT-DW8300 のみ) 「11 12 21 22 31 32 33」(PT-DZ8700、PT-DS8500 のみ)
NAME ?	プロジェクター名問い合わせ	「ネットワーク設定」の「プロジェクター名」で設定した名称を応答します
INF1 ?	メーカー名問い合わせ	「Panasonic」と応答します
INF2 ?	機種名問い合わせ	「DZ8700」「DS8500」「DW8300」と機種名を応答します
INFO ?	その他情報問い合わせ	バージョン番号などを応答します
CLSS ?	クラス情報問い合わせ	「1」と応答します

■PJLink セキュリティ認証

PJLink で使用するパスワードは Web ブラウザコントロールで設定したパスワードと同じです。認証なしで使用する場合は、Web ブラウザコントロールのパスワードをなしに設定してください。

- PJLink に関する仕様については (社) ビジネス機械・情報システム産業協会の WEB サイトを参照してください。

URL <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

LAN 経由の制御コマンドについて

■ WEB コントロール アドミニストレータ権限パスワード設定時
(プロテクトモード)

〈接続方法〉

1) プロジェクターの IP アドレスとポート番号 (初期設定値 = 1024) を取得してプロジェクターへ接続を要求してください。

IP アドレス、ポート番号は共にプロジェクター本体メニュー画面から取得できます。

IP アドレス： メインメニュー⇒「ネットワーク」⇒「ネットワークステータス」から取得

ポート番号： メインメニュー⇒「ネットワーク」⇒「ネットワークコントロール」⇒「コマンドポート」から取得

2) プロジェクターからの応答があります。

応答データ

データ部	空白	モード	空白	乱数部	終端記号
"NTCONTROL" (ASCII 文字列)	' '	'1'	' '	"zzzzzzzz" (ASCII コード 16 進数)	(CR) 0x0d
9 bytes	1 byte	1 byte	1 byte	8 bytes	1 byte

モード： 1 = プロテクトモード

3) MD5 アルゴリズムを用いて以下のデータから 32 バイトのハッシュ値を生成してください。

"xxxxxx:yyyyy:zzzzzzzz"

xxxxxx： WEB コントロールのアドミニストレータ権限ユーザー名
(デフォルトのユーザー名は "admin1")

yyyyy： 上記アドミニストレータ権限ユーザーのパスワード
(デフォルトのパスワードは "panasonic")

zzzzzzzz： 手順 2) で取得した 8 バイトの乱数

〈コマンド送信方法〉

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー		データ部	終端記号
ハッシュ値 (上記〈接続方法〉参照)	'0' 0x30	'0' 0x30	制御コマンド (ASCII 文字列)
32 bytes	1 byte	1 byte	不定長
			(CR) 0x0d
			1 byte

受信データ

ヘッダー		データ部	終端記号
'0' 0x30	'0' 0x30	制御コマンド (ASCII 文字列)	(CR) 0x0d
1 byte	1 byte	不定長	1 byte

エラー応答

エラーメッセージ	終端記号
"ERR1" 未定義の制御コマンド	(CR)
"ERR2" パラメーター範囲外	0x0d
"ERR3" ビジー状態または受け付け不可期間	
"ERR4" タイムアウトまたは受け付け不可期間	
"ERR5" データ長不正	
"ERRA" パスワード不一致	
4 bytes	1 byte

■ WEB コントロール アドミニストレータ権限パスワード非設定時 (非プロテクトモード)

〈接続方法〉

1) プロジェクターの IP アドレスとポート番号 (初期設定値 = 1024) を取得してプロジェクターへ接続を要求してください。

IP アドレス、ポート番号は共にプロジェクター本体メニュー画面から取得できます。

IP アドレス: メインメニュー ⇒ 「ネットワーク」 ⇒ 「ネットワークステータス」 から取得

ポート番号: メインメニュー ⇒ 「ネットワーク」 ⇒ 「ネットワークコントロール」 ⇒ 「コマンドポート」 から取得

2) プロジェクターからの応答があります。

応答データ

データ部	空白	モード	終端記号
"NTCONTROL" (ASCII 文字列)	' '	'0'	(CR)
9 bytes	0x20 1 byte	0x30 1 byte	0x0d 1 byte

モード: 0 = 非プロテクトモード

〈コマンド送信方法〉

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー		データ部	終端記号
'0'	'0'	制御コマンド (ASCII 文字列)	(CR)
0x30 1 byte	0x30 1 byte	不定長	0x0d 1 byte

受信データ

ヘッダー		データ部	終端記号
'0'	'0'	制御コマンド (ASCII 文字列)	(CR)
0x30 1 byte	0x30 1 byte	不定長	0x0d 1 byte

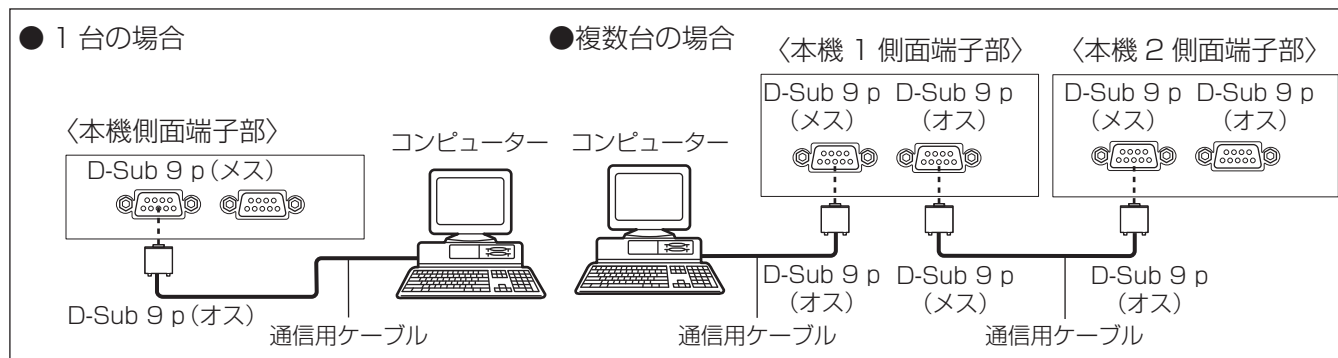
エラー応答

エラーメッセージ	終端記号
"ERR1" 未定義の制御コマンド	(CR)
"ERR2" パラメーター範囲外	0x0d
"ERR3" ビジー状態または受け付け不可期間	
"ERR4" タイムアウトまたは受け付け不可期間	
"ERR5" データ長不正	
"ERRA" パスワード不一致	
4 bytes	1 byte

シリアル端子について

本機接続端子部のシリアル端子は RS-232C に準拠しており、コンピューターと接続して本機をコンピューターで制御することができます。

■ 接続



■ ピン配列と信号名

D-Sub 9 ピン (メス) 外側から見た図	ピン No.	信号名	内容
		①	—
②		TXD	送信データ
③		RXD	受信データ
④		—	内部で接続されています
⑤		GND	グラウンド
⑥		—	NC
⑦		CTS	内部で接続されています
⑧		RTS	
⑨		—	NC

D-Sub 9 ピン (オス) 外側から見た図	ピン No.	信号名	内容
		①	—
②		RXD	受信データ
③		TXD	送信データ
④		—	NC
⑤		GND	グラウンド
⑥		—	NC
⑦		RTS	内部で接続されています
⑧		CTS	
⑨		—	NC

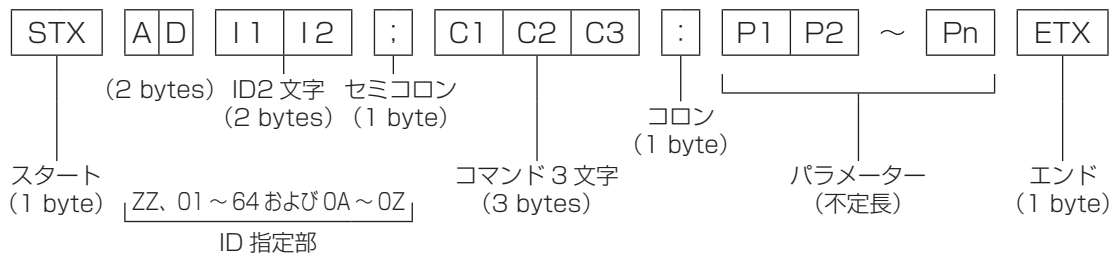
■ 通信条件 (工場出荷設定)

信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600 bps
パリティ	なし

キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

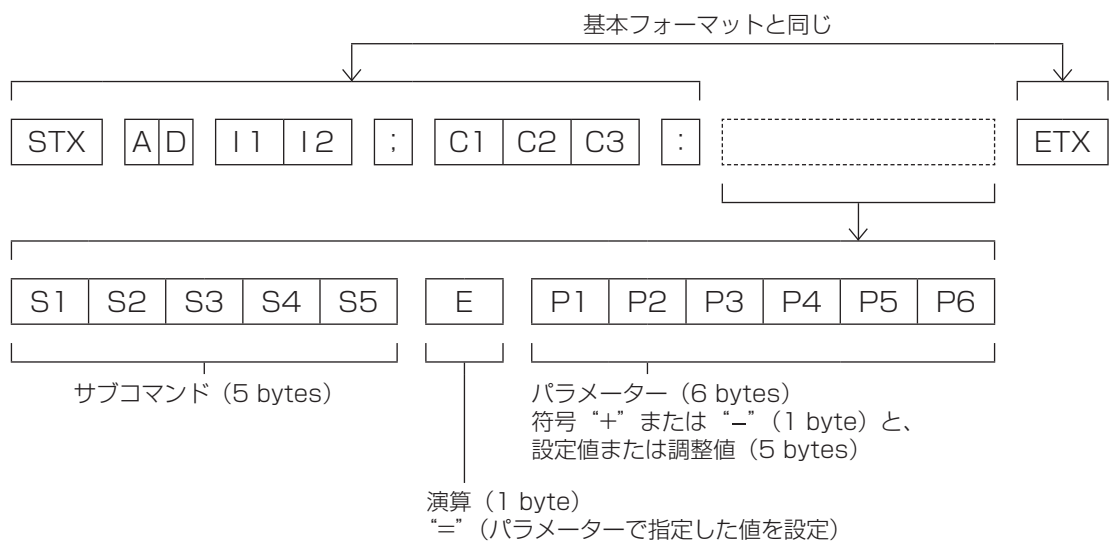
■基本フォーマット

コンピューターからの伝送は STX で開始され、続いて ID、コマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



※: パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン (:) は必要ありません。

■基本フォーマット (サブコマンドあり)



※: パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、演算 (E) とパラメーターは必要ありません。

お願い

- ランプ点灯開始直後、約 60 秒経過前にコマンドを送信すると、応答が遅く帰って来たり、コマンドが実行できなかつたりすることがあります。60 秒経過後に送受信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから 0.5 秒以上経過後に次のコマンドを送信してください。

お知らせ

- コマンドが実行できない場合、本機から「ER401」という応答がコンピューター側に送信されます。
- 無効なパラメーターを送信すると、本機から「ER402」という応答がコンピューター側に送信されます。
- RS-232C での ID 送信は ZZ (オール) と 01 ~ 64 および 0A ~ 0Z のグループの対応になっています。
- ID 指定でコマンドを送信した場合、以下のときのみコンピューターへの応答を返します。
本機 ID と一致した場合
ID 指定がオールかつ応答 (ID オール) が「オン」の場合
ID 指定がグループかつ応答 (ID グループ) が「オン」の場合
- STX は 16 進数で 02、ETX は 16 進数で 03 のキャラクターコードです。

■ ケーブル仕様

〈コンピューターと接続する場合〉

本機側	1	NC	NC	1	コンピューター側 (DTE仕様)
	2			2	
	3			3	
	4	NC	NC	4	
	5			5	
	6	NC	NC	6	
	7			7	
	8			8	
	9	NC	NC	9	

■ 制御コマンド

コンピューターで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

〈操作コマンド〉

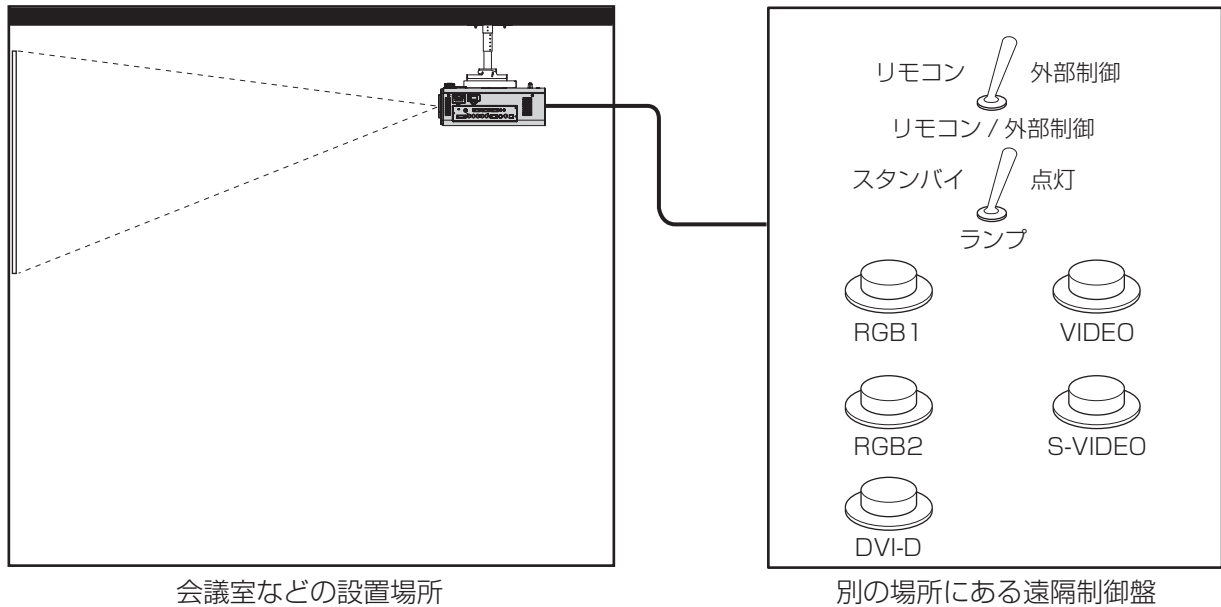
コマンド	内容	備考
PON	電源「入」	電源「入」になっているかを確認する場合は、「電源問い合わせ」コマンドを使用してください。
POF	電源「スタンバイ」	
QPW	電源問い合わせ	000 = スタンバイ 001 = 電源「入」
IIS	入力信号切り換え	VID = VIDEO SVD = S-VIDEO RG1 = RGB1 RG2 = RGB2 DVI = DVI-D SDI = SDI (PT-DZ8700、PT-DS8500のみ) HD1 = HDMI
QSL	使用ランプモード 問い合わせ	0 = デュアル 1 = シングル 2 = ランプ1 3 = ランプ2 ※「シングル」はランプ1、ランプ2のうち使用時間の短い方を使用する。
LPM	使用ランプモード	0 = デュアル 1 = シングル 2 = ランプ1のみオン 3 = ランプ2のみオン ※「シングル」はランプ1、ランプ2のうち使用時間の短い方を使用する。
OLP	ランプ出力設定	0 = 高 1 = 低
QLP	ランプ出力設定 問い合わせ	0 = 高 1 = 低
Q\$L	ランプ使用時間 問い合わせ	1 = ランプ1 2 = ランプ2 応答は0000～3000 (単位は時間：ランプ出力「高」での換算時間)
OSH	シャッター	0 = 終了 1 = 実行
QSH	シャッター状態 問い合わせ	0 = 終了 1 = 実行
VSE	アスペクト切り換え	0 = 標準 /VID 自動 /VID 自動 (優先) 1 = 4:3 2 = 16:9 5 = 等倍 6 = HV フィット 9 = H フィット 10 = V フィット 20 = S1 自動 30 = VID 自動
QSE	アスペクト設定 問い合わせ	0 = 標準 /VID 自動 /VID 自動 (優先) 1 = 4:3 2 = 16:9 5 = 等倍 6 = HV フィット 9 = H フィット 10 = V フィット 20 = S1 自動 30 = VID 自動
OPP	P IN P 実行	0 = オフ 1 = ユーザー1 2 = ユーザー2 3 = ユーザー3
QPP	P IN P 設定 問い合わせ	0 = オフ 1 = ユーザー1 2 = ユーザー2 3 = ユーザー3
QFI	フィルター問い合わせ	6 = 残量 (割合)、応答は000～100 (単位は%)
OCS	サブメモリ 切り換え	01～96 = サブメモリ番号
QSB	サブメモリ状態 問い合わせ	01～96 = サブメモリ番号

〈レンズ制御コマンド〉

コマンド	サブコマンド	内容	備考
VXX	LNSI2	レンズHシフト	+00000=微調整1+、+00001=微調整1-、 +00100=微調整2+、+00101=微調整2-、 +00200=粗調整+、+00201=粗調整-
VXX	LNSI3	レンズVシフト	
VXX	LNSI4	レンズフォーカス	
VXX	LNSI5	レンズズーム	

リモート端子について

本体側面端子部のリモート 2 入力 (REMOTE 2 IN) 端子を使用することで、設置場所から離れたリモコンの信号が届かない場所にある制御盤などから、本体を遠隔制御 (接点制御) することができます。



■ ピン配列と信号名

D-Sub 9ピン(外側から見た図)	ピン No.	信号名	オープン (H)	ショート (L)
	①	GND	—	GND
	②	POWER	OFF	ON
	③	RGB 1	その他	RGB 1
	④	RGB 2	その他	RGB 2
	⑤	VIDEO	その他	VIDEO
	⑥	S-VIDEO	その他	S-VIDEO
	⑦	DVI	その他	DVI
	⑧	SHUTTER	OFF	ON
	⑨	RST/SET	リモコン制御	外部接点制御

お願い

- 制御を行う場合は必ず、①番、⑨番ピンを短絡させてください。
- ①番、⑨番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの以下のボタンが使用できなくなります。
電源〈POWER ON (|)〉ボタンや〈SHUTTER〉ボタンと、これらの機能に相当する RS-232C 用コマンドやネットワーク機能も使用できなくなります。
- ①番、⑨番ピンを短絡させて、さらに③～⑦番ピンのいずれかと①番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの以下のボタンが使用できなくなります。
〈POWER ON (|)〉、〈RGB 1〉、〈RGB 2〉、〈DVI-D/HDMI〉、〈VIDEO〉、〈S-VIDEO〉、〈SDI〉、〈SHUTTER〉ボタン、これらの機能に相当する RS-232C 用コマンドやネットワーク機能も使用できなくなります。
- 上記は、「プロジェクターセットアップ」メニューの「REMOTE2 端子モード」(79 ページ) を「標準」に設定した場合の説明です。

2画面表示組み合わせ一覧

サブウィンドウ メインウィンドウ		RGB1		RGB2		VIDEO 入力	S-VIDEO 入力	DVI		HDMI		SDI ^{*3}
		RGB 入力	YPbPr 入力	RGB 入力	YPbPr 入力			^{*1} 動画系	^{*2} RGB系	^{*1} 動画系	^{*2} RGB系	
RGB1	RGB入力			○	○	○	○	○	○	○	○	○
	YPbPr入力			○	×	×	×	×	○	×	○	×
RGB2	RGB入力	○	○			○	○	○	○	○	○	○
	YPbPr入力	○	×			×	×	×	○	×	○	×
VIDEO入力		○	×	○	×		×	×	○	×	×	×
S-VIDEO入力		○	×	○	×	×		×	○	×	×	×
DVI	動画系 ^{*1}	○	×	○	×	×	×			×	○	×
	RGB系 ^{*2}	○	○	○	○	○	○			○	○	○
HDMI	動画系 ^{*1}	○	×	○	×	×	×	×	○			×
	RGB系 ^{*2}	○	○	○	○	×	×	○	○			×
SDI ^{*3}		○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	

○：P IN P (ピクチャインピクチャ) 組み合わせが可能

×

*1: 480p、576p、720/60p、720/50p、1 080/60i、1 080/50i、1 080/24sF、1 080/24p、1 080/25p、1 080/30p、1 080/50p、1 080/60p のみ対応

*2: VGA (640 × 480) ~ WUXGA (1 920 × 1 200)

ノンインターレース信号、ドットクロック周波数：25 MHz ~ 162 MHz

(WUXGA 信号は VESA CVT RB (Reduced Blanking) 信号のみ対応しています。)

*3: PT-DZ8700、PT-DS8500 のみ

お知らせ

- サブウィンドウの入力信号の解像度が水平 1 280 画素を超えると、サブウィンドウの画質が劣化する場合があります。

メニューロックパスワードについて

パスワードをお買い上げ時の設定 (AAAA) に戻すには、メニューロックパスワード要求画面の表示中に以下の操作を行ってください。

- ① リモコンまたは、本体操作部の〈AUTO SETUP〉ボタンを 2 秒以上押す
- ② ▼ボタンを 2 秒以上押す

対応信号リスト

本機が投写できる映像信号は下表の通りです。

フォーマット： V：ビデオ、S：Sビデオ、D：DVI、H：HDMI、R：RGB、Y：YPbPr、SDI※

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	フォーマット	プラグアンドプレイ対応 ^{*1}				
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			RGB2	DVI-D EDID1	DVI-D EDID2	DVI-D EDID3	HDMI
NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	720 × 480i	15.7	59.9	—	V/S					
PAL/PAL-N/SECAM	720 × 576i	15.6	50.0	—	V/S					
525i (480i)	720 × 480i	15.7	59.9	13.5	R/Y/SDI					
625i (576i)	720 × 576i	15.6	50.0	13.5	R/Y/SDI					
525p (480p)	720 × 483	31.5	59.9	27.0	D/H/R/Y		○		○	○
625p (576p)	720 × 576	31.3	50.0	27.0	D/H/R/Y		○		○	○
1 125 (1 080)/60i ^{*2}	1 920 × 1 080i	33.8	60.0	74.3	D/H/R/Y/SDI		○		○	○
1 125 (1 080)/50i	1 920 × 1 080i	28.1	50.0	74.3	D/H/R/Y/SDI		○		○	○
1 125 (1 080)/24p	1 920 × 1 080	27.0	24.0	74.3	D/H/R/Y/SDI		○		○	○
1 125 (1 080)/24sF	1 920 × 1 080i	27.0	24.0	74.3	D/H/R/Y/SDI					
1 125 (1 080)/25p	1 920 × 1 080	28.1	25.0	74.3	D/H/R/Y/SDI		○		○	
1 125 (1 080)/30p	1 920 × 1 080	33.8	30.0	74.3	D/H/R/Y/SDI					
1 125 (1 080)/60p	1 920 × 1 080	67.5	60.0	148.5	D/H/R/Y		○		○	○
1 125 (1 080)/50p	1 920 × 1 080	56.3	50.0	148.5	D/H/R/Y		○		○	○
750 (720)/60p	1 280 × 720	45.0	60.0	74.3	D/H/R/Y/SDI		○		○	○
750 (720)/50p	1 280 × 720	37.5	50.0	74.3	D/H/R/Y/SDI		○		○	○
VESA400	640 × 400	31.5	70.1	25.2	D/H/R					
	640 × 400	37.9	85.1	31.5	D/H/R					
VGA480	640 × 480	31.5	59.9	25.2	D/H/R	○	○	○	○	○
	640 × 480	35.0	66.7	30.2	D/H/R					
	640 × 480	37.9	72.8	31.5	D/H/R	○		○	○	○
	640 × 480	37.5	75.0	31.5	D/H/R	○		○	○	○
	640 × 480	43.3	85.0	36.0	D/H/R					
SVGA	800 × 600	35.2	56.3	36.0	D/H/R	○		○	○	○
	800 × 600	37.9	60.3	40.0	D/H/R	○		○	○	○
	800 × 600	48.1	72.2	50.0	D/H/R	○		○	○	○
	800 × 600	46.9	75.0	49.5	D/H/R	○		○	○	○
	800 × 600	53.7	85.1	56.3	D/H/R					
MAC16	832 × 624	49.7	74.6	57.3	D/H/R	○		○	○	○
XGA	1 024 × 768	39.6	50.0	51.9	D/H/R					
	1 024 × 768	48.4	60.0	65.0	D/H/R	○		○	○	○
	1 024 × 768	56.5	70.1	75.0	D/H/R	○		○	○	○
	1 024 × 768	60.0	75.0	78.8	D/H/R	○		○	○	○
	1 024 × 768	65.5	81.6	86.0	D/H/R					
	1 024 × 768	68.7	85.0	94.5	D/H/R					
	1 024 × 768	80.0	100.0	105.0	D/H/R					
	1 024 × 768	96.7	120.0	130.0	D/H/R					
MXGA	1 152 × 864	53.7	60.0	81.6	D/H/R					
	1 152 × 864	64.0	71.2	94.2	D/H/R					
	1 152 × 864	67.5	74.9	108.0	D/H/R					
	1 152 × 864	76.7	85.0	121.5	D/H/R					
MAC21	1 152 × 870	68.7	75.1	100.0	D/H/R	○		○	○	○
1 280 × 720	1 280 × 720	37.1	49.8	60.5	D/H/R					
	1 280 × 720	44.8	59.9	74.5	D/H/R					
1 280 × 768	1 280 × 768	39.6	49.9	65.3	D/H/R					
	1 280 × 768	47.8	59.9	79.5	D/H/R					
	1 280 × 768 ^{*3}	47.4	60.0	68.3	D/H/R					
	1 280 × 768	60.3	74.9	102.3	D/H/R					
	1 280 × 768	68.6	84.8	117.5	D/H/R					

※：PT-DZ8700、PT-DS8500のみ

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	フォーマット	プラグアンドプレイ対応 ^{*1}				
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			RGB2	DVI-D EDID1	DVI-D EDID2	DVI-D EDID3	HDMI
1 280 × 800	1 280 × 800	41.3	50.0	68.0	D/H/R					
	1 280 × 800	49.7	59.8	83.5	D/H/R					
	1 280 × 800 ^{*3}	49.3	59.9	71.0	D/H/R					
	1 280 × 800	62.8	74.9	106.5	D/H/R					
	1 280 × 800	71.6	84.9	122.5	D/H/R					
MSXGA	1 280 × 960	60.0	60.0	108.0	D/H/R					
SXGA	1 280 × 1 024	52.4	50.0	88.0	D/H/R					
	1 280 × 1 024	64.0	60.0	108.0	D/H/R	○		○	○	○
	1 280 × 1 024	72.3	66.3	125.0	D/H/R					
	1 280 × 1 024	78.2	72.0	135.1	D/H/R					
	1 280 × 1 024	80.0	75.0	135.0	D/H/R	○		○	○	○
1 366 × 768	1 366 × 768	47.7	59.8	84.8	D/H/R	○ ^{*4}		○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}
	1 366 × 768	39.6	49.9	69.0	D/H/R					
SXGA+	1 400 × 1 050	54.1	50.0	99.9	D/H/R					
	1 400 × 1 050	64.0	60.0	108.0	D/H/R					
	1 400 × 1 050	65.2	60.0	122.6	D/H/R	○		○	○	○
	1 400 × 1 050	65.3	60.0	121.8	D/H/R					
	1 400 × 1 050	78.8	72.0	149.3	D/H/R					
	1 400 × 1 050	82.2	75.0	155.9	D/H/R					
WXGA+	1 440 × 900	55.9	59.9	106.5	D/H/R					
	1 440 × 900	46.3	49.9	86.8	D/H/R					
UXGA60	1 600 × 1 200	75.0	60.0	162.0	D/H/R	○		○	○	○
WSXGA+	1 680 × 1 050	65.3	60.0	146.3	D/H/R					
	1 680 × 1 050	54.1	50.0	119.5	D/H/R					
1 920 × 1 080	1 920 × 1 080	55.6	49.9	141.5	D/H/R					
	1 920 × 1 080 ^{*3}	66.6	59.9	138.5	D/H/R					
	1 920 × 1 080 ^{*6}	67.2	60.0	173.0	R					
WUXGA	1 920 × 1 200	61.8	49.9	158.3	D/H/R					
	1 920 × 1 200 ^{*3}	74.0	60.0	154.0	D/H/R	○		○	○ ^{*5}	○ ^{*5}
	1 920 × 1 200 ^{*6}	74.6	59.9	193.3	R					

*1: プラグアンドプレイ対応に○がある信号は、プロジェクターのEDID（拡張ディスプレイ識別データ）に記載している信号です。プラグアンドプレイ対応に○がない信号でもフォーマット欄に記載があれば入力可能です。プラグアンドプレイ対応に○がない信号は、コンピューターが対応していても解像度の選択ができない場合があります。

*2: 1 125 (1 035)/60i の信号が入力された場合、1 125 (1 080)/60i の信号として表示します。

*3: VESA CVT-RB (Reduced Blanking) 準拠

*4: PT-DW8300 のみ

*5: PT-DZ8700 のみ

*6: 画像処理回路で画素を間引いて投写します。

お知らせ

● PT-DZ8700 の表示ドット数は 1 920 × 1 200、PT-DS8500 の表示ドット数は 1 400 × 1 050、PT-DW8300 の表示ドット数は 1 366 × 768 です。

解像度が異なる信号は表示ドット数に変換されて表示されます。

● 解像度のドット数の後ろにある「i」はインターレース信号を意味します。

● インターレース信号接続時は映像にちらつきが発生することがあります。

仕様

本機の仕様は下表の通りです。

品番		PT-DZ8700	PT-DS8500	PT-DW8300
使用電源		AC100 V 50 Hz/60 Hz		
消費電力		990 W	940 W	
		(スタンバイモード「エコ」設定時 0.2 W、「ノーマル」設定時 6 W)		
DLP チップ	サイズ	0.96 型 (アスペクト比 16 : 10)	0.95 型 (アスペクト比 4 : 3)	0.85 型 (アスペクト比 16 : 9)
	表示方式	表示方式 DLP チップ 3 枚 DLP 方式		
	画素数	2 304 000 画素 (1 920 × 1 200 ドット) × 3 枚	1 470 000 画素 (1 400 × 1 050 ドット) × 3 枚	1 049 088 画素 (1 366 × 768 ドット) × 3 枚
レンズ		オプション		
光源ランプ		355 W UHM ランプ × 2		
光出力 *1		10 600 lm (ANSI)		9 600 lm (ANSI)
対応走査 *2 周波数	RGB 信号時	水平 15 kHz ~ 100 kHz 垂直 24 Hz ~ 120 Hz PIAS (Panasonic Intelligent Auto Scanning) 方式		
		ドットクロック周波数 162 MHz 以下		
	YPbPr 信号時	[480i] 水平 15.73 kHz 垂直 59.94 Hz、 [576i] 水平 15.63 kHz 垂直 50 Hz [480p] 水平 31.5 kHz 垂直 59.94 Hz、 [576p] 水平 31.25 kHz 垂直 50 Hz [720/50p] 水平 37.5 kHz 垂直 50 Hz、 [720/60p] 水平 45 kHz 垂直 60 Hz [1 035/60i] 水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz、 [1 080/50i] 水平 28.13 kHz 垂直 50 Hz [1 080/60i] 水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz、 [1 080/24p] 水平 27 kHz 垂直 24 Hz [1 080/25p] 水平 28.13 kHz 垂直 25 Hz、 [1 080/24sF] 水平 27 kHz 垂直 48 Hz [1 080/30p] 水平 33.75 kHz 垂直 30 Hz、 [1 080/60p] 水平 67.5 kHz 垂直 60 Hz [1 080/50p] 水平 56.25 kHz 垂直 50 Hz ●HD/SYNC、VD 端子は、3 値 SYNC には対応していません。		
	ビデオ信号時 (S ビデオ含む)	水平 15.75 kHz/15.63 kHz 垂直 50 Hz/60 Hz		
	DVI-D 信号時 HDMI 信号時	480p、576p、720/60p、720/50p、1 080/60p、1 080/50p、1 080/60i、 1 080/50i、1 080/24sF、1 080/30p、1 080/25p、1 080/24p ●表示可能解像度：VGA ~ WUXGA (ノンインターレース) ●ドットクロック周波数：25 MHz ~ 162 MHz		
SDI 信号時	SMPTE259M 規格準拠：[480i]、[576i] SMPTE292M 規格準拠：[720/60p]、[720/50p]、 [1 035/60i]、[1 080/60i]、 [1 080/50i]、[1 080/25p]、 [1 080/24p]、[1 080/24sF]、 [1 080/30p]		—	
カラー方式		7 方式 (NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-N/PAL-M/SECAM/PAL60)		
投写画面サイズ		70 ~ 600 型 *3		
画面アスペクト比		16 : 10	4 : 3	16 : 9
投写方式		フロント/リア/天つり/床置 (メニュー設定方式)		
コントラスト比		10 000 : 1 (「ダイナミックアイリス」の設定が「3」のとき)		
接続端子	RGB1 入力端子	1 系統 (BNC × 5) [RGB 信号] 0.7 V [p-p] 75 Ω (G-SYNC 時 1.0 [p-p] 75 Ω) HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 [YPbPr 信号] Y : 1.0 V [p-p] 同期信号を含む、PbPr : 0.7 V [p-p] 75 Ω		
	RGB2 入力端子	1 系統 高密度 D-Sub 15 p (メス) [RGB 信号] 0.7 V [p-p] 75 Ω (G-SYNC 時 1.0 [p-p] 75 Ω) HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 [YPbPr 信号] Y : 1.0 V [p-p] 同期信号を含む、PbPr : 0.7 V [p-p] 75 Ω		

品番		PT-DZ8700	PT-DS8500	PT-DW8300
接続端子	VIDEO 入力端子	1 系統 BNC 1.0 V [p-p] 75 Ω		
	S-VIDEO 入力端子	1 系統 Mini DIN 4 p Y 1.0 V [p-p]、C 0.286 V [p-p] 75 Ω S1 信号に対応		
	DVI-D 入力端子	1 系統 DVI-D 24 p シングルリンク DVI1.0 準拠 HDCP 対応		
	HDMI 入力端子	1 系統 HDMI 19 ピン (HDCP、Deep color 対応)		
	SDI 入力端子	1 系統 (BNC) Y・CB・CR 4:2:2 10ビット SMPTE259M・SMPTE292M 規格準拠	—	
	シリアル入出力端子	D-Sub 9 p 各 1 系統 RS-232C 準拠 コンピューター制御用		
	リモート 1 入出力端子	M3 ステレオミニジャック 各 1 系統 ワイヤードリモコン、連結制御用		
	リモート 2 入力端子	1 系統 D-Sub 9 p 外部制御用 (接点制御)		
	LAN 端子	1 系統 RJ-45 ネットワーク接続用 PLink 対応 10Base-T/100Base-TX		
電源コードの長さ		3.0 m		
キャビネット		樹脂成型品		
外形寸法		横幅: 530 mm 高さ: 200 mm (脚最小時) 奥行: 548.5 mm (540 mm: 突起部含まず)		
質量		約 24.0 kg *4		
使用環境条件		使用環境温度 *5: 0 °C ~ 45 °C 使用環境湿度: 10 % ~ 80 % (結露のないこと)		
リモコン	使用電源	DC 3 V (単 3 形乾電池 2 個)		
	操作距離	約 30 m (受信部正面)		
	質量	134 g (乾電池含む)		
	外形寸法	横幅: 51 mm 高さ: 176 mm 奥行: 28 mm		
別売品	天つり金具	高天井用: ET-PKD310H 低天井用: ET-PKD310S 天つり金具用プロジェクター取り付け金具: ET-PAD310		
	投写レンズ	ET-D75LE6、ET-D75LE1、ET-D75LE2、ET-D75LE3、ET-D75LE4 ET-D75LE5、ET-D75LE8 ET-D75LE10、ET-D75LE20、ET-D75LE30		
	レンズモーター カバー	ET-D75MC1		
	交換用ランプ ユニット	ET-LAD310 (1 灯)、ET-LAD310W (2 灯)		
	交換用フィルター カートリッジ	ET-ACF310		
	スモークカット フィルター	ET-SFD310		
	フレーム	ET-PFD310		

*1: 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については付属書 2 に基づいています。

*2: 本機が投写できる映像信号について詳しくは、『対応信号リスト』(P.116 ページ)をご覧ください。

*3: ET-D75LE5 装着時は 70 ~ 300 型です。

*4: 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。

*5: 高地 (1 400 m ~ 2 700 m) で使用する場合、使用環境温度は 0 °C ~ 40 °C になります。
スモークカットフィルター使用時は、使用周囲温度は 0 °C ~ 35 °C になります。ただし、高地で使用する
ことはできません。

● 付属品や別売り部品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

● 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

商標について

商標について

- Microsoft® とそのロゴ、Windows®、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Internet Explorer® は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OS、Safari は、米国およびほかの国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録または出願商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では®や TM マークは明記していません。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

■ ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で正しい廃棄方法をお問い合わせください。



■ 中国域内での環境に関する情報



このシンボルマークは中国国内でのみ有効です。

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。


■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと保管してください。

■保証期間

お買い上げ日から本体 1 年間。ただし光源ランプは 6 ヶ月または 600 時間の早い方。

■修理を依頼されるとき

『故障かな!?』（ 106 ページ）の表や、組み合わせをされた機器の取扱説明書もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により有料で修理させていただきます。ただし、プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
注）補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名	
ご住所	付近の見取図、目印など。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番・お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	101、102 ページのモニターランプの表示状態も含め、できるだけ詳しくお願いします。
訪問希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

パナソニックプロジェクターサポートセンター

設定や操作でご不明なことがございましたら
なんなりとお問い合わせください。

お電話の方はこちら

0120-872-601

受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9：00～12：00 13：00～17：00

URL：<http://panasonic.biz/projector/>

※書面や電話 / FAX でお答えする場合や、返事を差しあげるお時間を頂くこともございます。

※お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違のないようにおかけください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

天つり金具取り付け時の注意事項

本製品に天つり金具を取り付けてご使用になる場合は、付属の天つり用落下防止具（ワイヤーロープ）をプロジェクター本体に取り付けてご使用ください。

（安全性には問題ありませんが、ねじがゆるんでいた場合に起きる落下などの不慮の事故を防止することができます。）

天つり金具品番：高天井用：ET-PKD310H、低天井用：ET-PKD310S、
天つり金具用プロジェクター取り付け金具：ET-PAD310

工事は専門技術者に依頼し、下記の取り付け手順に従ってください。

- 当社製以外の天つり金具の使用、ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバーなどを使用し、電動ドライバーやインパクトドライバーを使用しないでください。
- ご使用を終了した製品は、工事の専門技術者にご依頼のうえ、速やかに撤去してください。
- アジャスター脚を取り外して、その取り付けねじ穴をセットの固定に使用しないでください。
- 盗難防止用フックに落下防止用のワイヤーロープを取り付けたり、つり下げたりしないでください。
- 天井にワイヤーロープを取り付ける方法については、天つり金具の工事説明書をよくお読みください。
- 付属品や別売り部品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

取り付け手順

1) やわらかい布などの上に、プロジェクター本体の底面を上にして置く

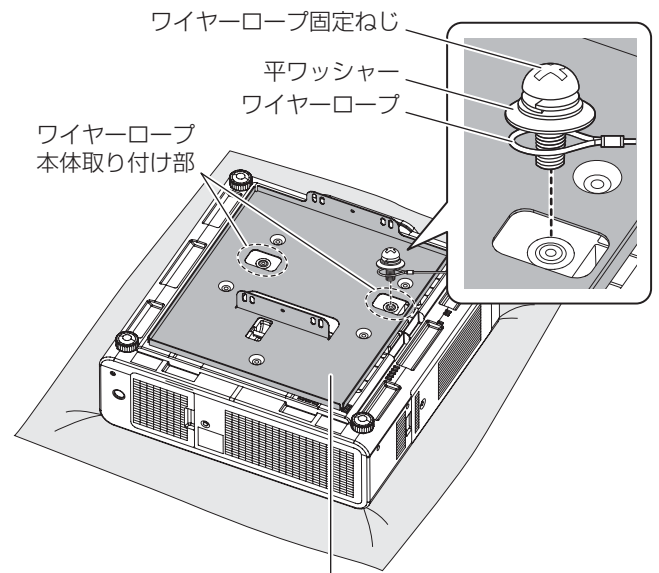
2) ワイヤーロープ固定ねじに、平ワッシャーを通す

3) ワイヤーロープ固定ねじに、ワイヤーロープを通す

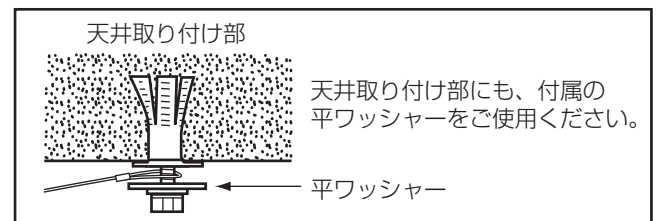
4) ワイヤーロープ固定ねじを本体に取り付けて締めつける

- 2か所とも同じ手順で取り付けてください。

ワイヤーロープ固定ねじ：M6 × L20
固定ねじの締めつけトルク：4 ± 0.5 N・m



天つり金具（天つり金具に付属の取り付け金具、または天つり金具用プロジェクター取り付け金具）



お願い

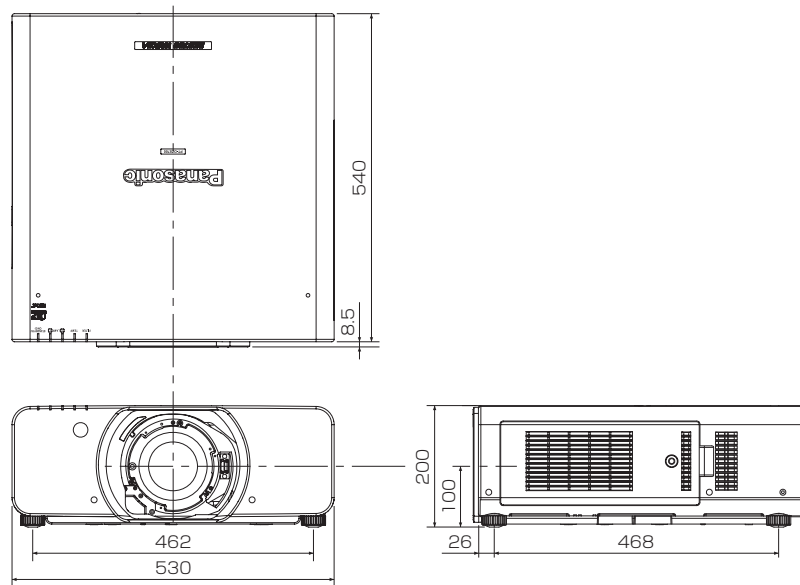
- 必ず付属のワイヤーロープ固定ねじ（2個）、平ワッシャー（4個）、ワイヤーロープ（2本）をご使用ください。
- ワイヤーロープは、本体取り付け部と天井取り付け部の間にたるみがないように取り付けてください。

さくいん

数字			
2画面表示組み合わせ	115	故障かな!?	106
D		コンピューターとの接続	34
DVI-D IN	68	さ	
H		サービスパスワード	81
HDMI IN	69	サブメニュー	48
L		サブメモリー	85
LAN 経由の制御コマンド	109	し	
P		システムセレクター	54
P IN P 機能	82	システムデイトビュー	53
「P IN P」メニュー	82	自動調整	67
PJLink プロトコル	108	シフト	39, 56
R		シャープネス	53
REMOTE2 端子モード	79	シャッター機能	44
RGB IN	68	仕様	118
RS-232C	77	使用上の留意点	13
S		商標	120
SDI IN	69	初期化	81
sRGB に準拠した映像	55	シリアル端子	111
W		す	
Web ブラウザからのアクセス	90	ズーム	39, 57
あ		スクリーン設定	66
アジャスター脚の調整	31	スケジュール	77
アスペクト	56	スタートアップロゴ	70
「アドバンスドメニュー」メニュー	60	スタンバイモード	76
安全上のご注意	6	ステータス	44, 78
い		せ	
「位置調整」メニュー	56	セキュリティに関するお願い	12
色あい	51	セキュリティパスワード	86
色温度設定	51	「セキュリティ」メニュー	86
色の濃さ	51	接続する	32
う		接続の前に	32
運搬上の留意点	10	設置する	19
え		設置設定	71
映像機器との接続	33	設置に関する留意点	10
映像の縦横比	46	全ユーザーデータ	81
「映像」メニュー	50	そ	
映像モード	50	操作設定	87
エッジブレンディング	61	た	
お		対応信号リスト	116
オートセットアップ機能	45	大画面色補正	66
お手入れ	14	台形補正	59
オンスクリーン表示	44, 69	ダイナミックアイリス	53
オンスクリーンメニュー	47	ダイレクトパワーオフ機能	38
温度モニター	102	て	
か		デジタルシネマリアリティー	60
外形寸法図	裏表紙	テストパターン	83
カラーマッチング	65	「テストパターン」メニュー	83
ガンマ選択	52	電源コードを接続	36
き		電源を入れる	37
幾何学歪補正	58	電源を切る	38
輝度コントロール	73	天つり金具	122
く		と	
クランプ位置	61	投写関係	20
クロックフェーズ	58	投写する	39
黒レベル	51	投写する映像を選択	39
け		投写方式	19
ケーブルで本体と接続	18	投写レンズ	35
こ		「登録信号一覧」メニュー	84
高地モード	71	な	
		内蔵テストパターン	45
		に	
		入力解像度	61
		入力自動セットアップ	67
		入力信号	44
		ね	
		「ネットワーク」メニュー	88
		の	
		ノイズリダクション	53
		は	
		廃棄について	13
		波形モニター	66
		バックカラー	70
		ひ	
		ピクチャー	50
		日付と時刻	80
		「表示オプション」メニュー	65
		表示言語	64
		「表示言語 (LANGUAGE)」	
		メニュー	64
		表示設定	86
		ふ	
		ファンクションボタン	45, 79
		ファン制御	72
		フィルター残量リセット	80
		フィルターモニター	102
		フォーカス調整	39
		付属品	14
		部品交換	103
		ブランキング	60
		フリーズ	70
		フレーム遅延	63
		プロジェクター ID	71
		「プロジェクターセットアップ」	
		メニュー	71
		ほ	
		保証とアフターサービス	121
		本体 各部の名称とはたらき	16
		む	
		無信号自動オフ	79
		め	
		メインメニュー	48
		メニュー画面の操作方法	47
		メニューロック	87
		メニューロックパスワード	115
		も	
		モニターが点灯したら	101
		ら	
		ラストポジション	63
		ランプ出力	73
		ランプ選択	72
		ランプモニター	101
		ランプリレー	72
		り	
		リモート端子	114
		リモコン 各部の名称とはたらき	15
		リモコンの ID ナンバー	18
		れ	
		レンズ位置	40
		レンズキャリブレーション	80

外形寸法図

〈単位：mm〉



※：各製品で寸法は異なる場合があります。

愛情点検		長年ご使用のプロジェクターの点検を！	
	こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none"> ● 変なおいがしたり、煙が出たりする。 ● 電源「入」時以外にジージー・パチパチと異常な音がする。 ● 電源スイッチを入れても映像がでない。 ● 映像が連続してチラついたり、ユレたりする。 ● 電源スイッチを切っても、映像が消えない。 ● 内部に水や異物が入った。 	ご使用中止 故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。
		▶	

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年 月 日	品番	PT-DZ8700/PT-DS8500/ PT-DW8300
販売店名	電話 ()	-	
お客様ご相談窓口	電話 ()	-	

パナソニック株式会社 システムAVビジネスユニット

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 電話 ☎ 0120-872-601

© Panasonic Corporation 2010

P0710-10710
TQBH0223